

EPSON

Endeavor TN30E



ユーザーズマニュアル

Windows 8.1

ご使用前に

- コンピューターをご使用の際は、必ず「マニュアル」をよくお読みの上、正しくお使いください。

情報マップ (知りたい情報はどこにある?)

本機に関する情報は、次の場所で見ることができます。

やりたいこと

購入時

- 本機の添付品を知りたい
- Windowsをセットアップしたい
- 本機を設置したい

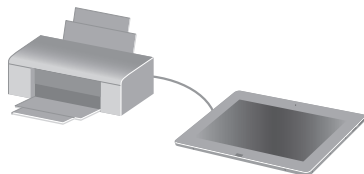
使いはじめ

- インターネット/メールをしたい
- Windowsの操作方法を知りたい
- 用語を調べたい
- アプリの操作方法を知りたい
- 周辺機器(プリンター、デジタルカメラなど)を使いたい

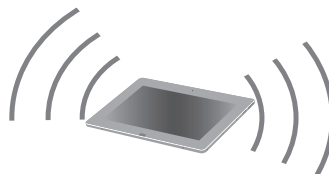
使いこなしたいとき

- オプション製品(マウス、アプリなど)を使いたい

- USB機器を接続したい **p.60**



- 無線LANに接続したい **p.80**



- メモリーカードを使いたい **p.57**

- 添付アプリを知りたい **p.23**

- 省電力で使いたい **p.99**

- 本機の仕様を知りたい **p.145**

- 再インストールをしたい **p.123**

- UEFIの設定を変更したい **p.105**

- セキュリティー設定をしたい **p.94**

- Bluetooth機器を使いたい **p.89**

- カメラを使いたい **p.103**

- 画面表示やサウンドの設定をしたい **p.62、75**

困ったとき

- トラブルを解決したい **p.129**

- システム診断をしたい **p.139**

故障したとき

- サポート・サービス情報を知りたい

- 修理を依頼したい



紙マニュアル

紙で添付されている情報です。



PC お役立ちナビ

コンピューターの画面で見る電子の情報です。

情報の場所



『スタートアップガイド』



【お役立ち】



オプション製品のマニュアル



ユーザーズマニュアル(本書)



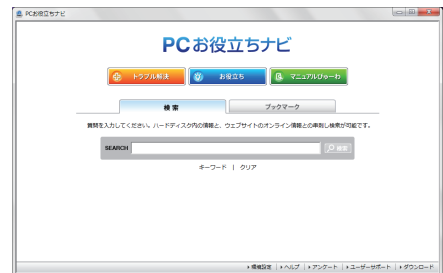
【トラブル解決】



『サポート・サービスのご案内』

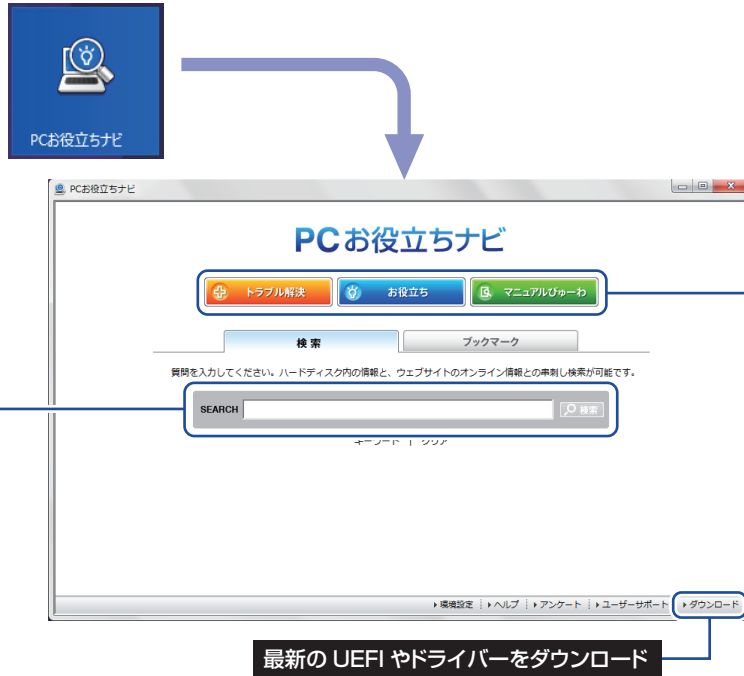


PCお役立ちナビ p.4



知りたい情報はこれで検索！ PC お役立ちナビ

本機には、知りたい情報を簡単に検索できるサポートツール「PC お役立ちナビ」が搭載されています。困ったときや、役立つ情報を知りたいときなどにお使いください。最新のUEFIやドライバーもダウンロードできます。



① 検索をする

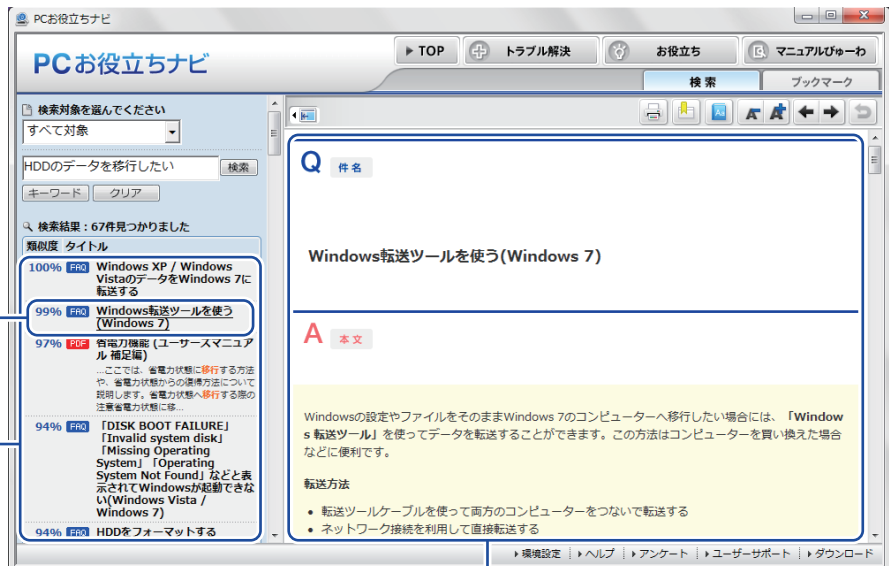
TOPページから
検索実行

本機に収録されている情報+ユーザーサポート
ページのオンライン情報を一度に検索

※本機に収録されている情報 = サポートコンテンツ・マニュアル (PDF)・ヘルプなど
※インターネットに接続していない場合は、本機に収録されている情報のみを検索します。

① 見たい項目
を選択

検索結果



② 内容が表示される

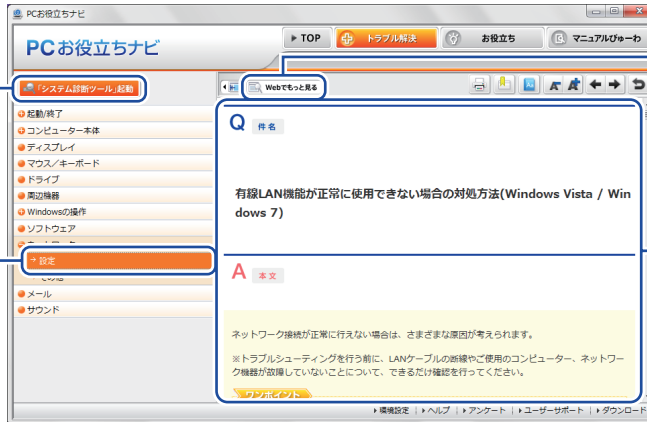
② おすすめコンテンツ・マニュアルを見る

トラブル解決

トラブル解決に役立つ情報や、システム診断ツールを収録しています。

システム診断
を実行

①トラブルの種類
を選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

②内容が表示される

お役立ち

コンピューターの便利な使い方や、役立つ情報を収録しています。

①情報の分類を
選択

②見たい項目を
選択



もっと情報が見たい
とき→Webへ

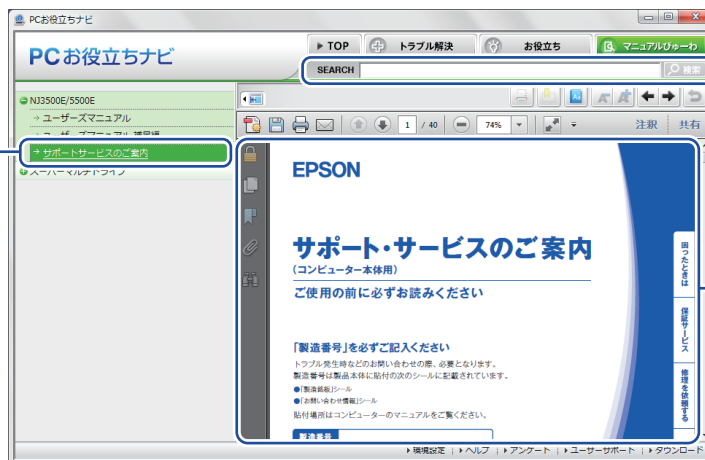
[お役立ち]内の
情報を検索

③内容が表示される

マニュアルびゅーわ

本機に添付されているマニュアルのPDFデータを収録しています。

①見たいマニュアル
を選択



[マニュアルびゅーわ]
内の情報を検索

②マニュアル(PDF)
が表示される

<イメージ>

目次

ご使用の前に

製品保護上の注意.....	10
無線 LAN 使用時のセキュリティーに関する注意.....	13
マニュアルの読み方.....	14
各部の名称.....	21
添付されているアプリ.....	23

1 コンピューターの基本操作

Windows 8.1 の基本操作.....	26
AC アダプターで使う / バッテリーで使う.....	37
タッチパネルを操作する.....	44
タッチパッドを使う.....	46
ソフトウェアキーボードを使う.....	50
キーボードを使う.....	52
eMMC/HDD の概要.....	56
メモリーカードを使う.....	57
USB 機器を使う.....	60
画面表示機能.....	62
外付けディスプレイを使う.....	67
サウンド機能.....	75
無線 LAN 機能.....	80
Bluetooth 機能.....	89
インターネットを使用する際のセキュリティー対策.....	94
省電力機能.....	99
カメラを使う.....	103

2 UEFI の設定

UEFI の設定を始める前に.....	106
UEFI Setup ユーティリティーの操作.....	107
UEFI Setup ユーティリティーの設定項目.....	118

3 再インストール

再インストールの前に.....	124
PC をリフレッシュする.....	125
すべてを削除して Windows を再インストールする... ..	126

4

困ったときは

.....	130
.....	132
.....	136

付録

.....	142
.....	143
.....	145



ご使用前に

本機を使い始める前に知っておいていただきたい事項や、取り扱い上の注意などを説明します。

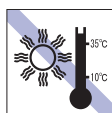
製品保護上の注意.....	10
無線 LAN 使用時のセキュリティーに関する注意...	13
マニュアルの読み方.....	14
各部の名称.....	21
添付されているアプリ.....	23

製品保護上の注意

使用・保管時の注意

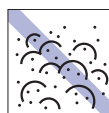
コンピューター（本機）は精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

特に指定のない限り、注意事項は、本体および AC アダプターなどの同梱品に適用されます。

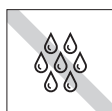


温度が高すぎる所や、低すぎる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。適切な温度の目安は 10℃～35℃です。



ホコリの多い所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



温度が低い場所から温度が高い場所へ本機を急に移動させると、結露が発生する場合があります。

結露したまま本機を使用すると、故障、誤動作の原因となります。

結露が発生した場合は、本機が室温と同じくらいの温度になるのを待ってから、使用してください。



直射日光の当たる所や、発熱器具（暖房器具や調理器具など）の近くなど、高温・多湿となる所には置かないでください。

故障、誤動作の原因となります。

また、直射日光などの紫外線は、変色の原因になります。

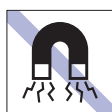


不安定な所には設置しないでください。

落下したり、振動したり、倒れたりすると、本機が壊れ、故障することがあります。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しやすい場所には置かないでください。故障、誤動作の原因となります。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものの近くに置かないでください。

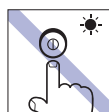
誤動作やデータ破損の原因となることがあります。逆に、本機の影響でテレビやラジオに雑音が入ることもあります。



電源コードが抜けやすい所（コードに足が引っかかりやすい所や、コードの長さがぎりぎりの所など）に本機を置かないでください。



無停電電源装置（UPS）を使用する場合は、正弦波出力の UPS を使用してください。正弦波出力以外の UPS を使用すると、本機が起動できなくなったり、動作が不安定になったりする場合があります。



データ書き込み中は、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



本機を落としたり、ぶつけたりして、衝撃を与えないでください。持ち運ぶときは、電源を切り、バッグに入れるなどして衝撃から守るようにしてください。



本機の汚れを取るときは、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。

変色や変形の可能性があります。

柔らかい布に中性洗剤を適度に染み込ませて、軽く拭き取ってください。



本機を梱包しない状態で、遠隔地への輸送や保管をしないでください。

衝撃や振動、ホコリなどから本機を守るため、専用の梱包箱に入れてください。



本機の上に重い物を載せたり、強く押さえ付けたりしないでください。

LCD やバックライトが破損したり、表示異常となることがあります。



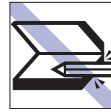
LCD 画面の表面を先の尖ったもので引っかいたり、無理な力を加えたりしないでください。



＜キーボードドック接続時＞
タブレット部（本機）を開けた状態で、タブレットを持って移動しないでください。また、開閉可能な最大角度を超えてタブレットを開かないでください。ヒンジ部分が破損します。



AC アダプターの上に乗ったり、踏みついたり、重い物を載せるなどして、ケースを破損しないでください。



＜キーボードドック接続時＞
キーボードの上などに、物（ボールペンなど）をはさんだまま、タブレット部（本機）を閉じないでください。



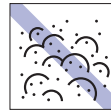
AC アダプターはコードを持って抜き差ししないでください。
コードの断線や接触不良の原因となります。

メモリーカード

メモリーカードは、次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、メモリーカードに収録されているデータが破損するおそれがあります。



直射日光が当たる所、発熱器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。



ゴミやホコリの多い所では、使用したり保管したりしないでください。



上に物を載せないでください。



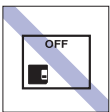
キズを付けしないでください。



クリップで挟む、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。



データ書き込み中は、記録メディアを取り出したり、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。



使用後は、本機にセットしたままにしたり、ケースに入れずに放置したりしないでください。



金属端子には触れないでください。



テレビやラジオ、磁石など、磁界を発生するものに近づけないでください。



金属端子にホコリや水を付けしないでください。
シンナーやアルコールなどの溶剤を近づけないでください。

マウス

マウスは精密な機械です。次の注意事項を確認して正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。



ゴミやホコリの多いところで使用したり、保管したりしないでください。レンズにゴミやホコリが付いたまま使用すると、誤動作の原因になります。



レンズ部分に触れないでください。



落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。



持ち運びの際はマウス本体を持ってください。ケーブルを持って運ばないでください。

無線 LAN 使用時の セキュリティに関する注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。無線 LAN を使用する前に、必ずお読みください。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。


本来、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN や無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※ セキュリティ対策を施さず、または、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

マニュアルの読み方

本製品の仕様とカスタマイズ

本製品は、ご購入時にお客様が選択されたオプションによって、仕様がカスタマイズされています。

仕様によって必要なマニュアル

本製品の操作に必要なマニュアルは、お客様が選択された仕様によって、「ユーザーズマニュアル」（本書）とは別に提供されている場合があります。



お使いになる仕様によって必要となるマニュアルは、下記のとおり別冊や電子マニュアルなどの形式で提供されていますので、ご確認ください。

- 本製品に同梱されている別冊マニュアル
- [PC お役立ちナビ] - [マニュアルびゅーわ] に収録されている電子マニュアル

マニュアル中の表記








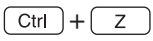
安全に関する記号

本書では次のような記号を使用しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。





一般情報に関する記号

本書では、次のような一般情報に関する記号を使用しています。

	制限事項です。 機能または操作上の制限事項を記載しています。
	参考事項です。 覚えておくと便利なことを記載しています。
 	操作手順です。 ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。
	手順が次ページに続くことを示します。
	<input type="checkbox"/> で囲んだマークはキーボード上のキーを表します。  は Enter キーを表します。また、 <input type="checkbox"/> N は <input type="checkbox"/> N _み のことです。このように必要な部分のみを記載しているため、キートップに印字された文字とは異なる場合があります。
	+の前のキーを押したまま+の後のキーを押します。 この例では、 <input type="checkbox"/> Ctrl を押したまま <input type="checkbox"/> Z を押します。

参照先に関する記号

本書では、次のような参照先に関する記号を使用しています。

	本書内の参照ページを示します。
	別冊子を示します。
	冊子の名称を示します。 例) 『サポート・サービスのご案内』
	サポートツール [PC お役立ちナビ] を示します。

名称の表記

本書では、本機で使用する製品の名称を次のように表記しています。

eMMC	embedded MultiMediaCard
HDD	ハードディスクドライブ
メモリーカード	Micro SD カード

オペレーティングシステム（OS）に関する表記

本書では、オペレーティングシステム（OS）の名称を次のように略して表記します。

Windows 8.1	Windows [®] 8.1 64 bit 版 Windows [®] 8.1 Pro 64 bit 版
-------------	--

eMMC/HDD 容量の記載

本書では、eMMC/HDD 容量を 1GB（ギガバイト）=1000MB として記載しています。

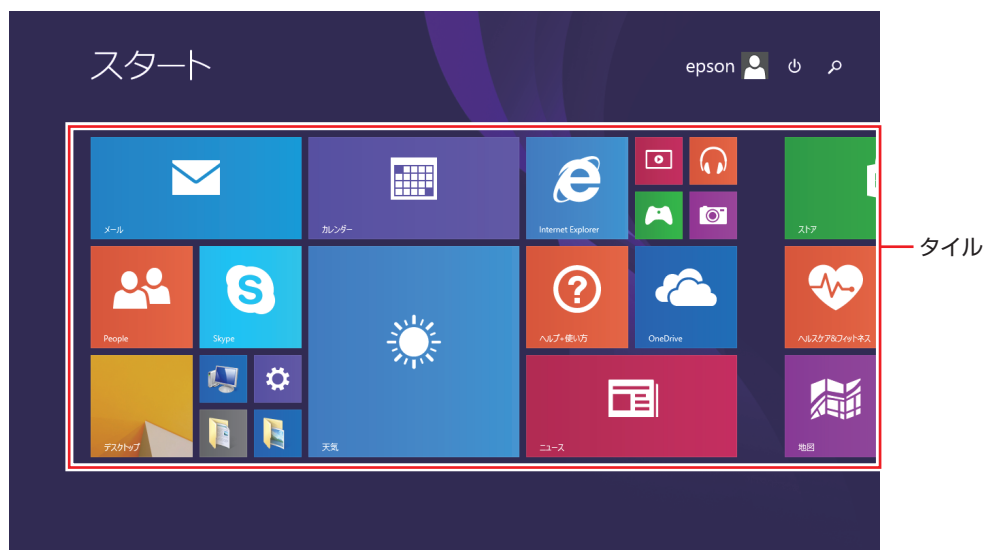
メモリー容量の記載

本書では、メモリー容量を 1GB（ギガバイト）=1024MB として記載しています。

Windows の画面表示に関する記載

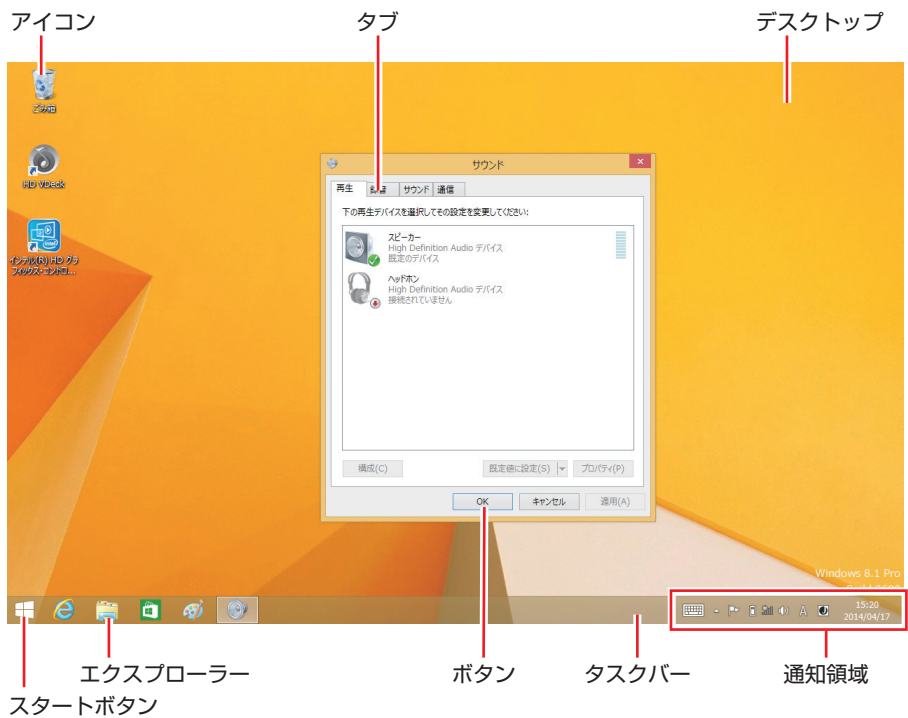
本書では、Windows の画面に表示される各箇所の名称を次のように記載しています。

スタート画面



<イメージ>

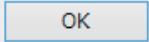
デスクトップ画面



タイル / ボタン

タイルやボタンは [] で囲んで記載しています。

例)  : [PC お役立ちナビ]

例)  : [OK]

コントロール パネル

本書では、コントロール パネルの表示が、「カテゴリ」であることを前提に記載しています。



<表示方法：カテゴリ>

画面操作の記載

本書では、Windows の画面上で行う操作手順を次のように記載しています。

● 記載例

[デスクトップ] – [設定チャーム] – [コントロール パネル] – [デスクトップのカスタマイズ] – [画面の解像度の調整]

● 実際の操作

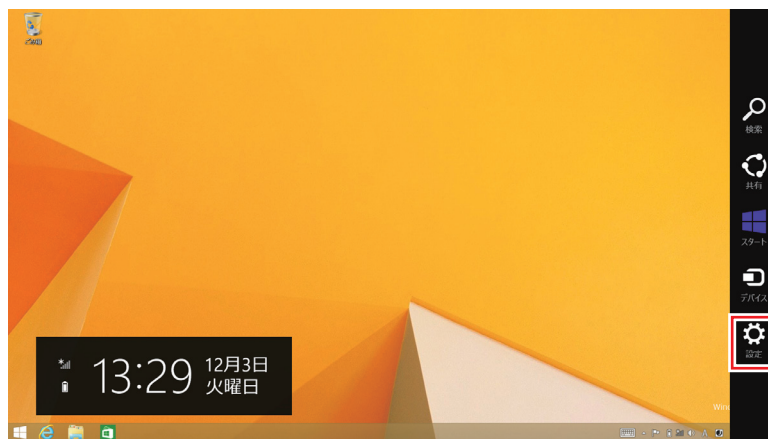
- 1 スタート画面で「デスクトップ」タイルをタップします。



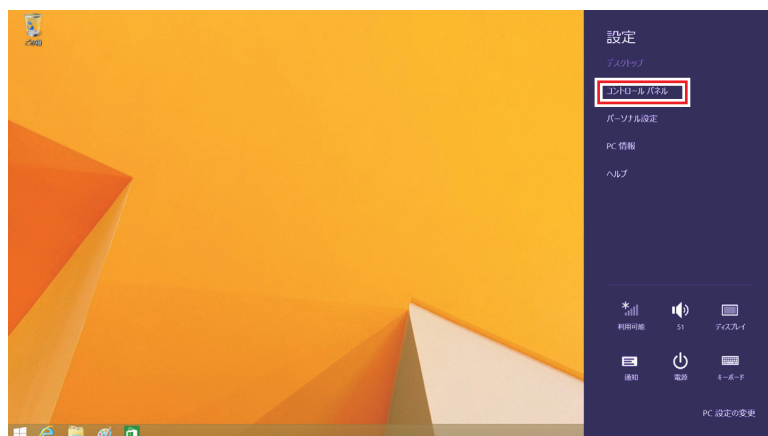
- ② デスクトップ画面が表示されたら、画面外右端から左へスワイプし、チャームを表示します。



- ③ 設定チャームをタップします。



- ④ 設定メニューが表示されたら、「コントロール パネル」をタップします。



- 5 表示された画面内の「デスクトップのカスタマイズ」をタップします。



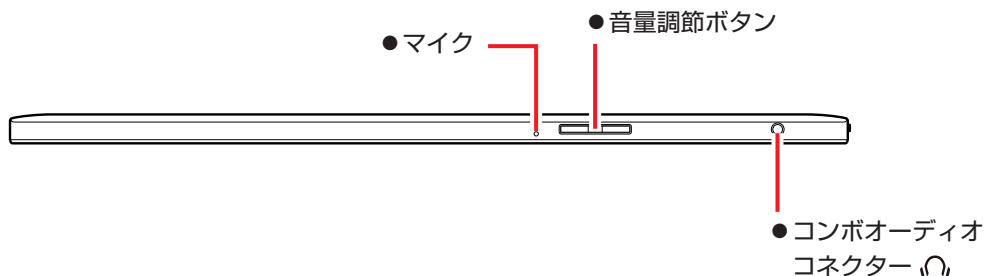
- 6 表示された画面内の「画面の解像度の調整」をタップします。



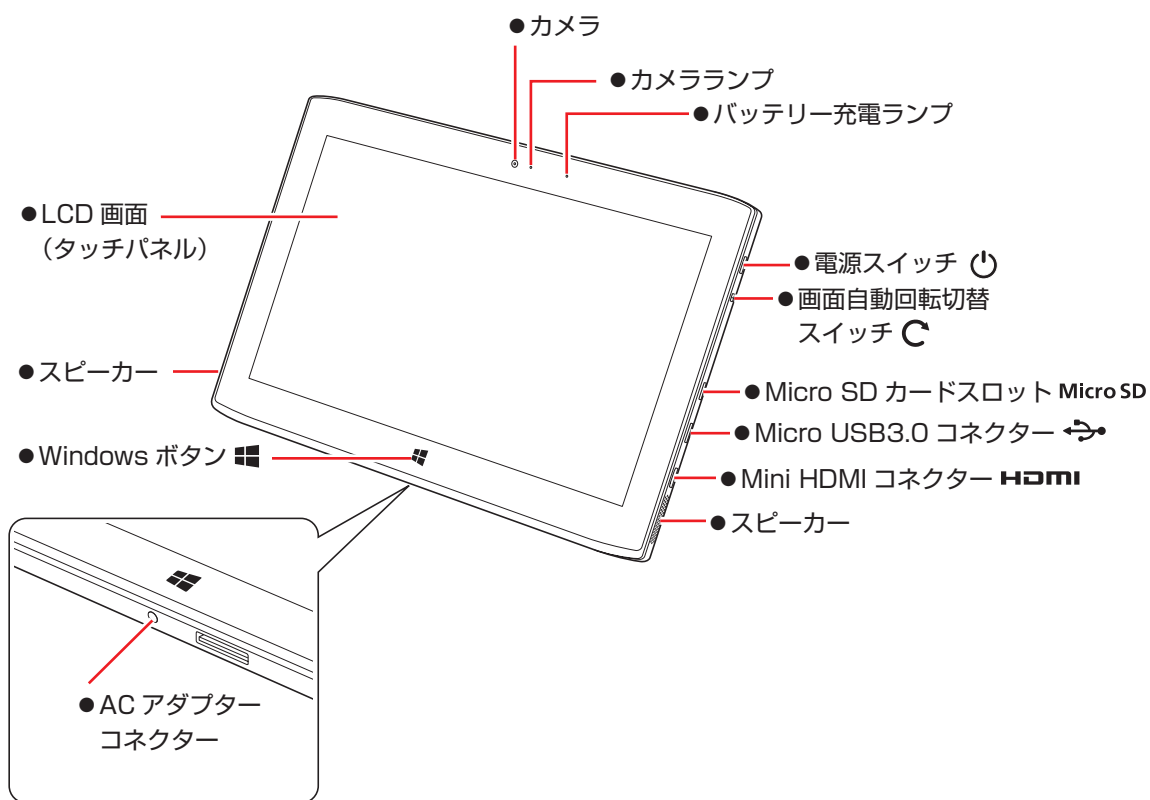
各部の名称

※キーボードドックは、本機の各部の名称を記載します。

タブレット上面

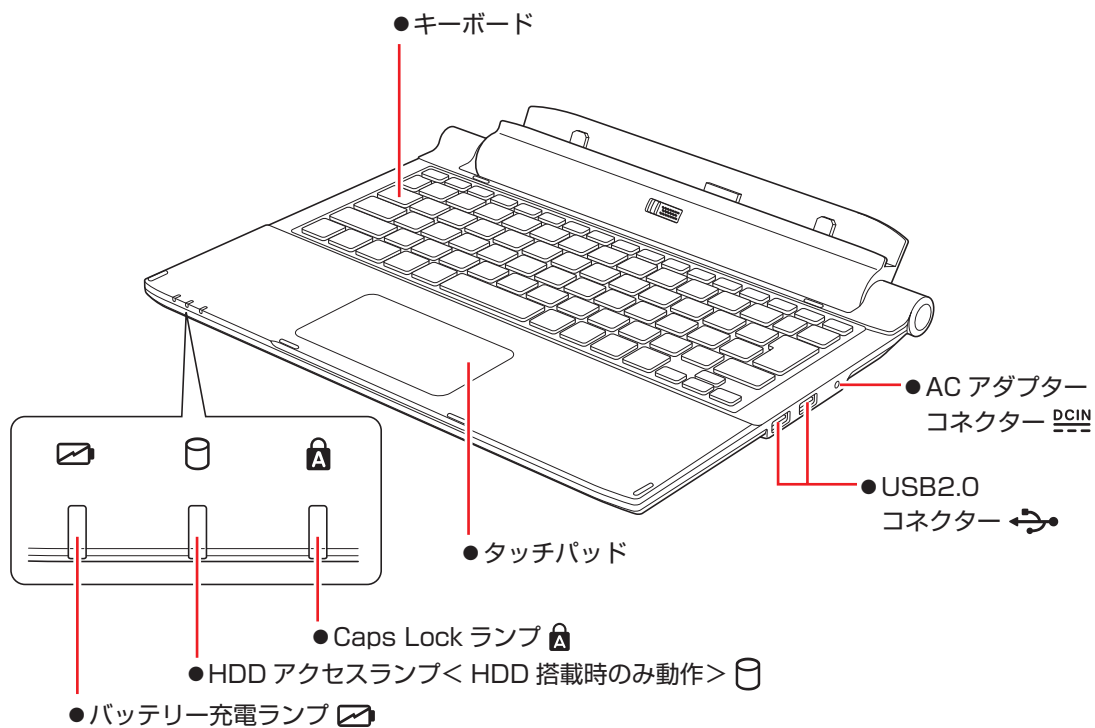


タブレット正面・右側面



キーボードドック

※キーボードドックは、購入時の選択により、添付されていない場合があります。



添付されているアプリ

本機に添付されているアプリについて説明します。

本機にインストールされているアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされています。





本機にインストールされているアプリ
<ul style="list-style-type: none">●Windows 8.1 本機のオペレーティングシステム (OS) です。
<ul style="list-style-type: none">●本体ドライバー<ul style="list-style-type: none">•チップセットドライバー マザーボード上のデバイスを使用するためのドライバーです。•ビデオドライバー CPUのビデオ機能を使用するためのドライバーです。•メモリーカードドライバー メモリーカードスロットを使用するためのドライバーです。•サウンドドライバー 音を鳴らしたり、録音するためのドライバーです。•タッチパッドドライバー タッチパッドを使用するためのドライバーです。•Intel Trusted Execution Engine ドライバー Intel Trusted Execution Engine を制御するためのドライバーです。•Intel Virtual Buttons ドライバー Intel Virtual Buttons を制御するためのドライバーです。•Intel GPIO Controller ドライバー Intel GPIO Controller を制御するためのドライバーです。•無線 LAN ドライバー 無線 LAN を使用するためのドライバーです。•Bluetooth ドライバー Bluetooth を使用するためのドライバーです。•ホットキードライバー  と組み合わせて使用する機能キーを使用するためのドライバーです。•センサードライバー 加速度センサー、ジャイロセンサーを使用するためのドライバーです。•Microsoft .Net Framework 4.5 .Net Framework 4.5 で作成されたアプリケーションなどを使用するためのプログラムです。
<ul style="list-style-type: none">●PC お役立ちナビ  p.4、p.130 コンピューターの情報を簡単に検索できるサポートツールです。 システム診断ツールも含まれています。
<ul style="list-style-type: none">●Adobe Reader PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示したり、印刷したりするためのアプリです。

本機にインストールされているアプリ
<ul style="list-style-type: none"> ●Windows Essentials ムービーメーカーやフォトギャラリーなど、複数のアプリを含むパッケージです。
<ul style="list-style-type: none"> ●楽天 Gateway 楽天サービスへの入り口となるアプリです。
<ul style="list-style-type: none"> ●NAVITIME 地図で音声案内や乗換ができるナビアプリです。
<ul style="list-style-type: none"> ●Bing 翻訳 テキストや音声などを翻訳するアプリです。
<ul style="list-style-type: none"> ●Yahoo! 天気・災害 各地の天気予報や災害情報などを確認できるアプリです。
<ul style="list-style-type: none"> ●Fresh Paint 油彩画などの絵を描くためのペイントアプリです。

必要に応じてインストールするアプリ

次のアプリは、購入時、本機にインストールされていません。必要に応じて次の場所からインストールしてください。

アプリ一覧 (p.31) の「おすすめアプリケーションのインストール」

必要に応じてインストールするアプリ
<ul style="list-style-type: none"> ●ウイルスバスター クラウド 90 日版  p.95 ウイルス駆除機能、不正アクセス防止機能などを備えたセキュリティーアプリです。
<ul style="list-style-type: none"> ●i-フィルター 6 30 日版  p.97 インターネット上の有害な Web ページへのアクセスを制限する Web フィルタリングアプリです。
<ul style="list-style-type: none"> ●Endeavor 電源プラン設定ツール  p.102 本機に節電設定を行うためのアプリです。
<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワーク切替えツール  p.86 ネットワークの設定を切り替えるためのユーティリティです。

1







コンピューターの基本操作

コンピューターの基本的な操作方法について記載しています。

Windows 8.1 の基本操作	26
AC アダプターで使う / バッテリーで使う	37
タッチパネルを操作する	44
タッチパッドを使う	46
ソフトウェアキーボードを使う	50
キーボードを使う	52
eMMC/HDD の概要	56
メモリーカードを使う	57
USB 機器を使う	60
画面表示機能	62
外付けディスプレイを使う	67
サウンド機能	75
無線 LAN 機能	80
Bluetooth 機能	89
インターネットを使用する際のセキュリティー対策	94
省電力機能	99
カメラを使う	103

Windows 8.1 の基本操作

ここでは、Windows 8.1 の基本的な操作方法を説明します。

- 起動と終了  p.26
- スタート画面  p.28
- チャーム  p.29
- アプリ  p.30
- デスクトップ  p.31
- キーボードドック接続時の操作  p.35

詳細な操作方法は、次の場所をご覧ください。

- スタート画面の [ヘルプ+使い方]
- PC お役立ちナビの「お役立ち」
 p.4 「PC お役立ちナビ」

起動と終了


Windows 8.1 の起動方法 / 終了方法を説明します。

起動方法

本機の電源を入れ、Windows を起動する方法は、次のとおりです。

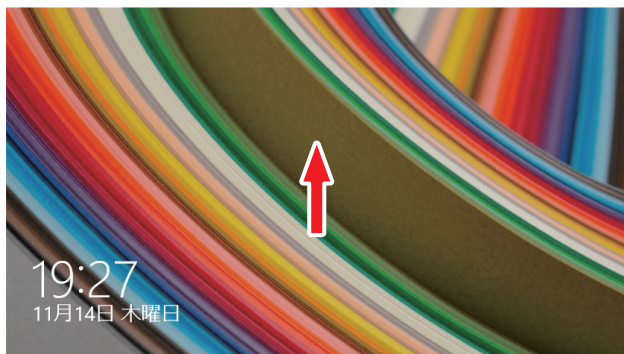


- 周辺機器の電源をいつ入れるかは、周辺機器のマニュアルで確認してください。電源を入れるタイミングがコンピューターより先か後かは、周辺機器により決まっています。
- 電源を入れなおすときは、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。電気回路に与える電氣的な負荷を減らして、eMMC などの動作を安定させます。


- 1** 電源スイッチ（）を押して、本機の電源を入れます。
- 2** パスワードを設定していると、ロック画面が表示されます。

ロック画面が表示された場合は、次の操作を行います。

- 1** 画面を下から上へスワイプします。



<イメージ>

- 2** パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力して  をタップします。Windows が起動し、スタート画面が表示されます。

 p.28 「スタート画面」

終了方法

Windows の終了方法を説明します。終了方法には次の 2 つがあります。

●シャットダウン

通常の終了方法です。システムは完全には終了しません。次回 Windows の起動が速くなります。

●PC の電源を切る

システムを完全に終了する方法です。次回 Windows の起動には時間がかかります。

周辺機器を接続・交換する場合は、「シャットダウン」ではなく、「PC の電源を切る」で終了してください。「シャットダウン」で終了した状態で機器を変更すると、機器が認識されなくなる場合があります。

また、ドライバーやアプリをインストールした場合や、Windows Update を行った場合、「シャットダウン」では更新内容が適用されません。「再起動」または「PC の電源を切る」を行って、一度システムを完全に終了してください。



[PC お役立ちナビ] – [マニュアルびゅうわ] – [機種名] – [ユーザーズマニュアル] – [トラブル時に効果的な対処方法] – [再起動]



制限

キーボードドックに HDD 搭載時、HDD アクセスランプ点滅中に本機の電源を切ると、HDD に収録されているデータが破損するおそれがあります。



参考

終了時の注意

複数のユーザーがサインインしている状態で終了しようとする時、「まだ他のユーザーがこの PC を使っています。…」と表示されます。この場合は、ほかのユーザーがサインアウトしてから終了してください。

電源スイッチで終了する


電源スイッチを押してシャットダウンするように設定したい場合は、次の場所で行ってください。

[デスクトップ] – [設定チャーム] – [コントロール パネル] – [システムとセキュリティ] – [電源オプション] – [電源ボタンの動作を選択する] – [電源ボタンを押したときの動作] を「シャットダウン」に設定

シャットダウン

シャットダウン方法は、次のとおりです。

1

スタート画面右上の  をタップし、表示された項目から「シャットダウン」をタップします。

Windows が終了します。

PCの電源を切る

システムを完全に終了する方法は、次のとおりです。

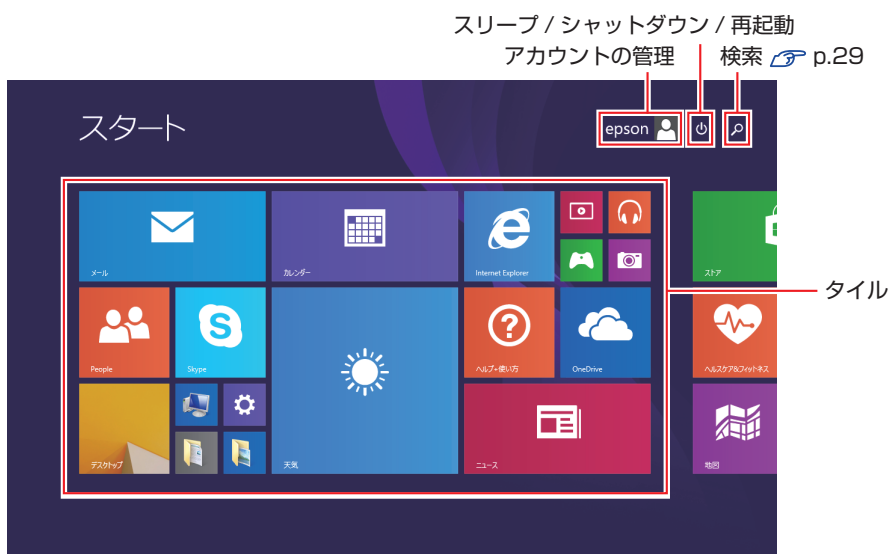
1 チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「保守と管理」 - 「回復」 - 「PC の起動をカスタマイズする」の [今すぐ再起動する] をタップします。

2 表示されたメニューで「PC の電源を切る」をタップします。

Windows が終了します。

スタート画面

本機の電源を入れ、Windows が起動すると、スタート画面が表示されます。これが Windows 8.1 の基本画面です。画面上の各タイルをタップすると、アプリ (p.30) やデスクトップ (p.31) が起動します。



<イメージ>

画面右上のボタンを押すと、アカウントの管理や検索、スリープ/シャットダウン/再起動を行うことができます。





参考

キーボード入力で検索する

キーボードドックに接続しているときに、スタート画面が表示されている状態でキーボードで文字入力を始めると、自動的に検索メニューへ遷移することができます。

チャーム

画面外右端から左へスワイプすると、画面右側にチャームが表示されます。
※キーボードdockを接続しているときは、 +  でも表示できます。

設定やファイル、情報を探すときは検索チャームを、スリープ/シャットダウン/再起動、画面の輝度調整などを行うときは、設定チャームをタップします。

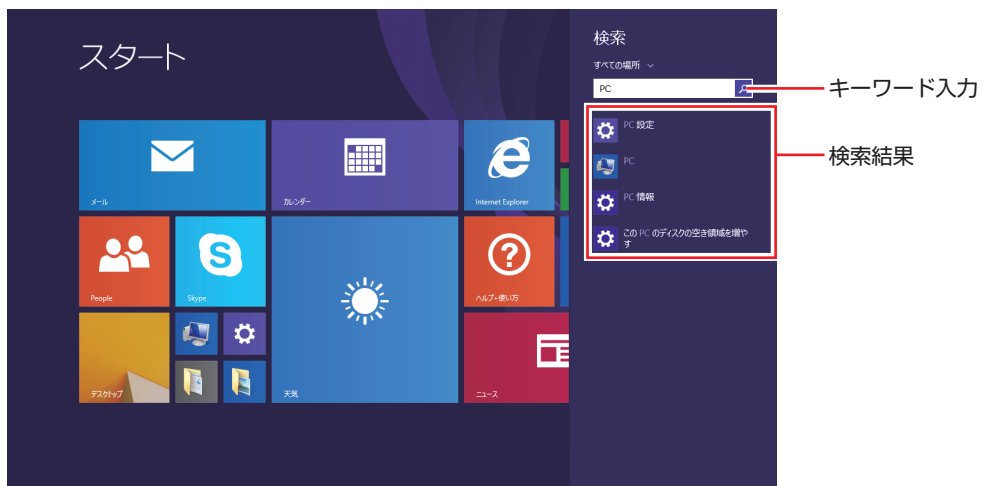
※チャームは、スタート画面だけでなく、各アプリの画面上でも表示されます。



<イメージ>

検索メニュー

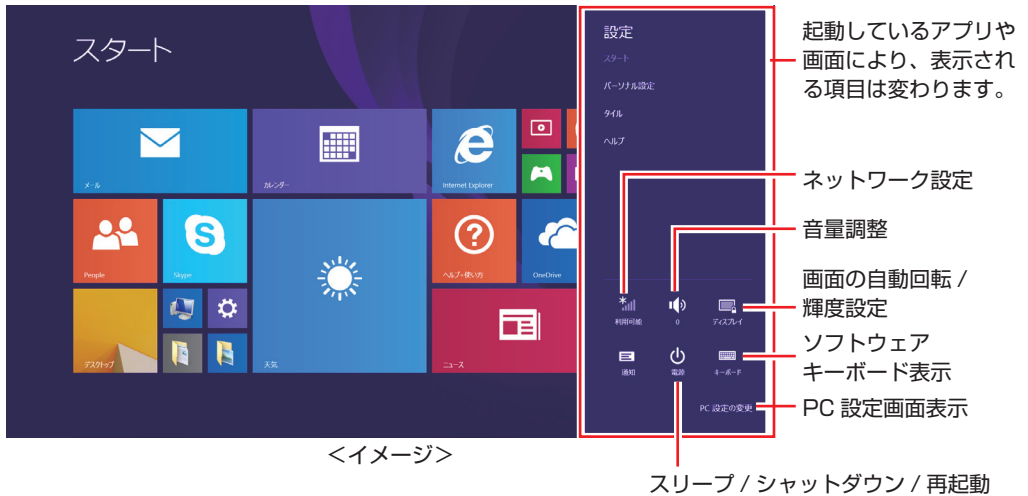
検索チャームをタップすると、検索メニューが表示されます。インターネットに接続している状態で検索を行うと、Bingの検索結果も同時に表示されます。



<イメージ>

設定メニュー

設定チャームをタップすると、設定メニューが表示されます。



アプリ

スタート画面に表示されているタイルをタップすると、アプリが起動します。
アプリには次の2種類があります。

● Windows ストア アプリ

スタート画面上で動作するアプリです。

Internet Explorer、メール、フォト、カレンダーなど

Windows ストア アプリは、Windows ストアからダウンロードすることができます。



● Windows アプリ

デスクトップ上で動作するアプリです。

PC お役立ちナビ、Adobe Reader、Internet Explorer など



各アプリの詳細説明は、次の場所をご覧ください。



【PC お役立ちナビ】 - 【お役立ち】

アプリ一覧を表示する

スタート画面を下から上へスワイプすると、アプリの一覧が表示されます。

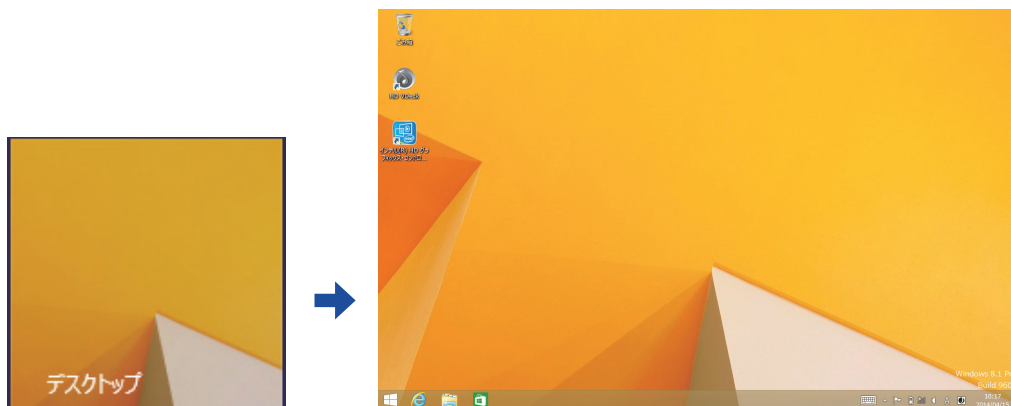


<イメージ>

- 後からインストールしたアプリは、一覧に追加されます。
- アプリは、スタート画面やタスクバーに表示（ピン留め）することができます。アプリアイコン上でタップアンドホールドし、表示されたメニューから設定してください。

デスクトップ

スタート画面でデスクトップタイルをタップすると、Windows のデスクトップが表示されます。デスクトップ画面では、Windows アプリやエクスプローラーを使用することができます。



<イメージ>



参考

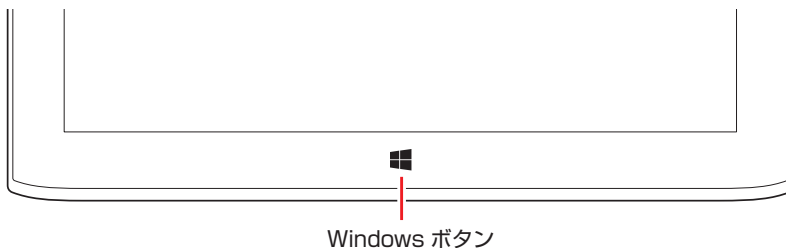
アイコンや文字サイズを大きくする

デスクトップのアイコンや文字サイズを拡大して使用したい場合は、次の場所で設定を行います。

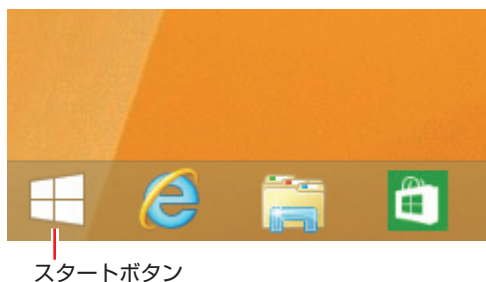
デスクトップ上でタップアンドホールドー「画面の解像度」－「テキストやその他の項目の大きさの変更」

スタート画面に戻る

Windows ボタンを押すと、スタート画面に戻ります。
※ Windows ボタンは、付属のタッチペンでは動作しません。



画面左下のスタートボタンをタップして戻ることもできます。



起動中のアプリを切り替える

いくつかのアプリが起動している場合、次の方法でアプリを切り替えることができます。

●アプリを1つずつ切り替える

画面外左端から右へスワイプするたびに、起動中のアプリが次々と切り替わります。



<イメージ>

● 起動中のアプリ一覧を表示して切り替える

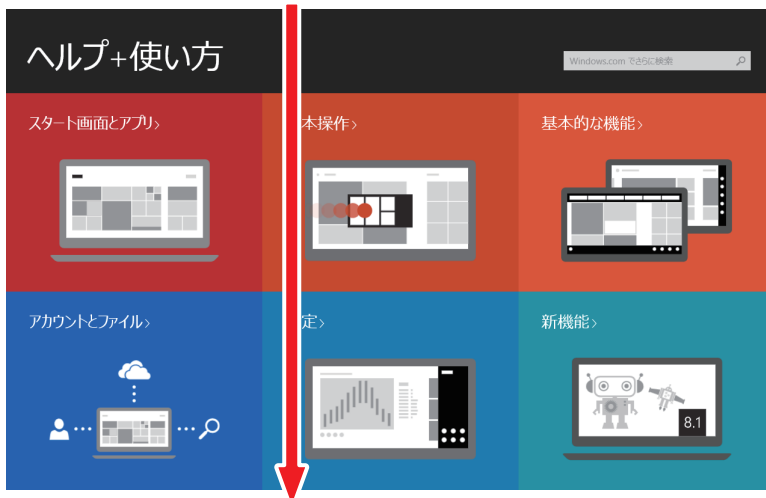
画面外左端から右へ少しだけスワイプして画面左端まで戻すと、起動中のアプリ一覧が表示されます。使用するアプリをタップして切り替えます。



<イメージ>

Windows ストア アプリを終了する

Windows ストア アプリが起動している状態で、すばやく画面外上端から画面外下端までドラッグすると、アプリがスタンバイモードになります。



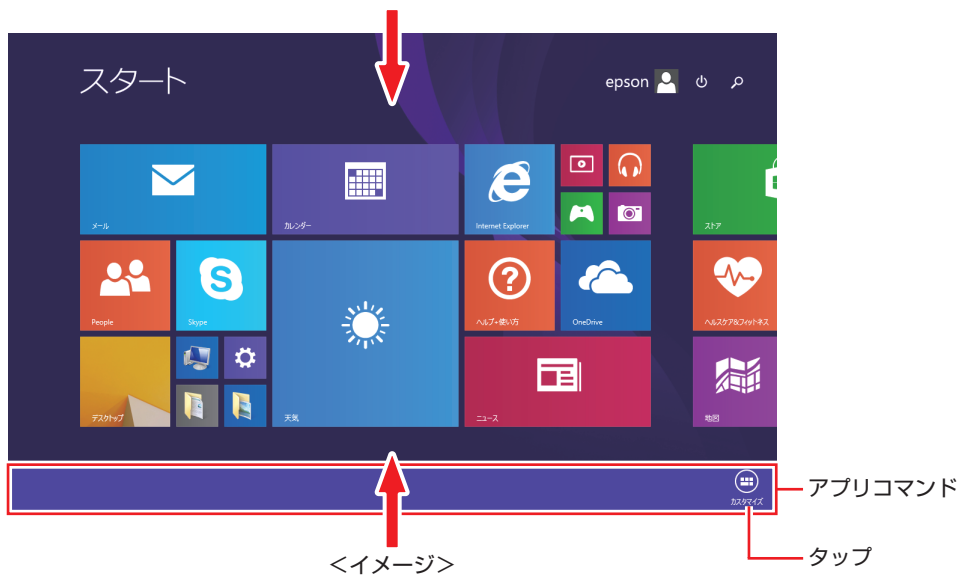
<イメージ>

アプリコマンドを表示する

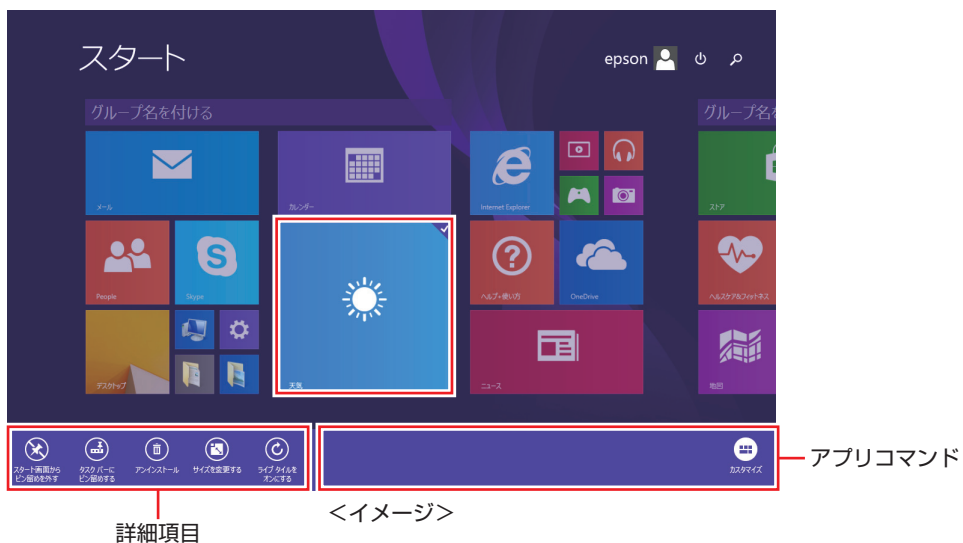
次の操作をすると、画面下部にアプリコマンドが表示されます。

※ 表示される項目は、各アプリにより異なります。

- 1 画面外上端から下へ、または画面外下端から上へスワイプし、「カスタマイズ」をタップします。



- 2 アプリのタイルをタップすると、詳細項目が表示されます。



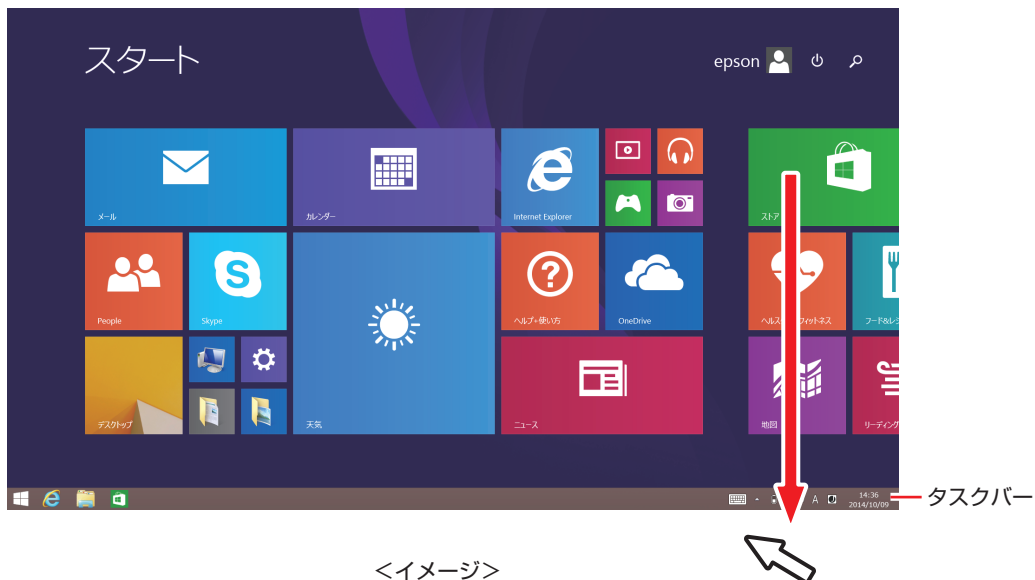
キーボードドック接続時の操作

キーボードドック添付時のみ

キーボードドックを接続している場合は、次の操作ができます。

タスクバー



ポインターを画面下へ動かすと、タスクバーが表示されます。

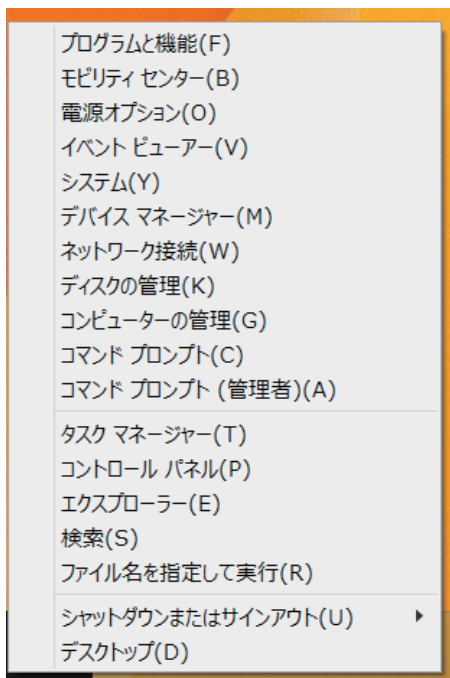


※タスクバーは、デスクトップ画面（p.31）では常に表示されます。

スタートメニュー


画面左下隅で右クリックすると、次のメニューが表示されます。各項目へのアクセス時に便利です。メニューからシャットダウンや再起動も選択できます。

※キーボードの  +  でも表示できます。



キーボードショートカット一覧

スタート画面で使えるキーボードショートカットの一部を紹介します。

キー	動作
	スタート画面表示  p.28
 + 	チャームと時計表示  p.29
 + 	設定メニュー表示  p.30
 + 	アプリ検索  p.28
 + 	設定検索  p.28
 + 	ファイル検索  p.28
 + 	スタートメニュー表示  p.36
 +  + 	起動中アプリ一覧表示  p.32
 + 	起動中アプリの切り替え  p.32

AC アダプターで使う / バッテリーで使う

本機を内蔵のバッテリーで使用したり、AC アダプターを接続して使用方法を説明します。バッテリーは本機（タブレット部）とキーボードドックのそれぞれに搭載されています。

AC アダプターの型番

本機の AC アダプターの型番は、次のとおりです。

- AC アダプター：ADP-40KD

ご購入の際は、当社ホームページの「オプション」から本機の AC アダプターを選択してください。

<http://shop.epson.jp/>

使用時の注意



- 本機には、必ず同梱された AC アダプターと電源コードを使用してください。また、本機の AC アダプターと電源コードは、他の製品に使用しないでください。感電・火傷・火災の原因となります。
- バッテリーを、マニュアルで指示されている以外の方法で充電しないでください。発熱や発火、液漏れによる被害の原因となります。
- 本体を火中に入れたり、火気に近づけたり、加熱したり、高温状態で放置したりしないでください。破裂などで火傷の原因となります。
- 付属の AC アダプターを、分解・改造しないでください。感電や火傷、化学物質による被害の原因となります。分解・改造した AC アダプター（当社での修理対応は除く）での本機の使用は、安全性や製品に関する保証ができません。



- AC アダプターを毛布や布団で覆わないでください。火傷・火災のおそれがあります。
- AC アダプターに強い衝撃や振動を与えたり、乱暴に扱ったりしないでください。また、破損した AC アダプターを使用しないでください。感電・火傷の原因となったり、発熱・発火・破裂のおそれがあります。万一、本機の落下などで強い振動や衝撃が加わり、AC アダプターが破損したり、変形したりした場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ひざの上で長時間使用しないでください。本機底面が熱を持つため、低温火傷の原因となります。
- AC アダプターの温度の高い部分に、長時間触れないでください。低温火傷の原因となります。

本機を使用する場合は、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

● AC アダプターで使用するとき

- AC アダプターを長時間接続して使用すると、AC アダプター本体が少し熱を持ちますが、故障ではありません。
- AC アダプターは頻繁に抜き差ししないでください。

● バッテリーで使用するとき

- 省電力状態のまま長時間使用しない場合は、完全放電しないように気をつけてください。省電力状態でも電力が消費されています。

 p.99 「省電力機能」

- バッテリーだけで使用しているときに、動画再生時にコマ落ちしたり、アプリの動作が遅くなったりする可能性があります。このような場合には、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.101 「時間経過で移行させない」

● 長期間使用しないとき

- 長期間使用していない場合は、バッテリーが完全放電している可能性があります。バッテリーだけで本機を使用するときは必ず充電してから使用してください。
- バッテリーを長期間充電しないと、過放電になる可能性があります。予防のために定期的に充電をしてください。



参考

低温環境でのバッテリー性能

低温の環境では、バッテリーの性能が低下します。これは一時的なものであり、常温の環境に戻すと性能が回復します。

バッテリーの使用可能時間

バッテリーだけで本機を使用できる時間は次のとおりです。ただし本機の使用環境や状態などによって変化します。


バッテリーの使用可能時間* (満充電の場合)	
タブレットのみで使用	連続 4.7 時間
キーボードドック接続時	連続 8.4 時間

* JEITA (電子情報技術産業協会) の測定方法 Ver.2.0 に基づいています。

キーボードドック接続時、キーボードドックに搭載のバッテリーから使用され、その後タブレットに搭載のバッテリーが使用されます。

本機をバッテリーだけで使用している場合は、使用可能時間が制限されます。

省電力の設定を行うと使用可能時間を延ばすことができます。

 p.99 「省電力機能」

バッテリーの充電

バッテリーの充電は、ACアダプター接続時に、本機の電源が入/切どちらの状態でも自動的に行われます。

バッテリー残量が95%未満で充電を開始し、100%で充電完了します。

キーボードドック接続時、タブレットに搭載のバッテリーから充電され、その後キーボードドックに搭載のバッテリーに充電されます。

バッテリー充電ランプの表示

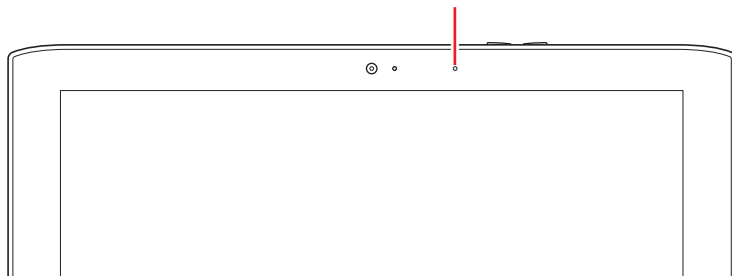
バッテリー充電時のバッテリー充電ランプの表示については、次のとおりです。

タブレットのみの場合

本機の電源切の状態、ACアダプターを接続すると、バッテリー充電ランプが点灯*します。満充電になると消灯します。

* 本機の電源が入っているとき、バッテリー充電ランプは点灯しません。

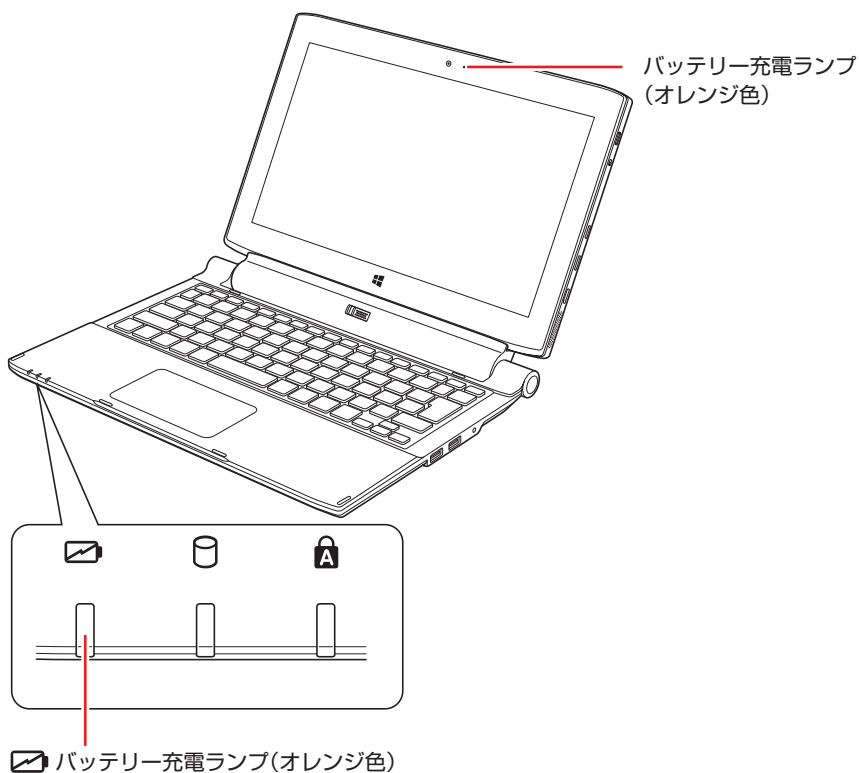
バッテリー充電ランプ (オレンジ色)



キーボードドックを接続している場合

本機の電源切の状態、ACアダプターを接続すると、タブレット前面とキーボードドックのバッテリー充電ランプが点灯*します。満充電になると消灯します。

* 本機の電源が入っているとき、タブレット前面のバッテリー充電ランプは点灯しません。



正常に充電されていない場合の対処

バッテリーが正常に充電されないときは、次の対処を行ってください。

● バッテリーを動作環境で充電する

動作環境（10～35℃）以外では、ACアダプターを接続して10時間以上経過すると、バッテリーが正常に充電できなくなります。

● カスタマーサービスセンターに連絡する

動作環境（10～35℃）で使用し、改善しない場合は、バッテリー異常が考えられます。

別冊『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

充電時間

低バッテリー状態からバッテリーの充電完了までの時間は、次のとおりです。

充電する機器	充電時間
タブレット	2.8 時間
キーボードドック	2.8 時間
タブレット+キーボードドック	4.2 時間

※ 電源が入っている状態では、コンピューターの使用状況により差があります。



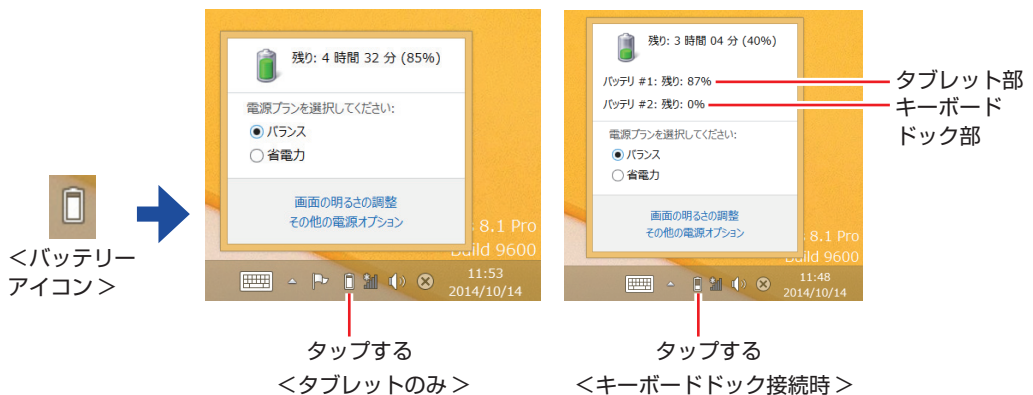
参考

温度条件について

バッテリーは、化学反応を利用した電池です。このため、動作環境(10～35℃)以外では、充電速度が極端に遅くなる場合があります。その状態で10時間以上経っても充電が完了しないと、バッテリーへの充電が中止されます。

バッテリー残量の確認

デスクトップ通知領域の「バッテリー」アイコンをタップすると、バッテリー残量を確認することができます。



バッテリー残量が少なくなったら

バッテリーの残量が低下した際の通知や対処方法などについて説明します。

バッテリー低下の通知

バッテリー残量が少なくなり、「バッテリー低下」の状態になると、本機は次のように通知（警告）します。

バッテリーの残量が非常に少なくなっています (4%)

今すぐコンピューターを電源につないでください。

閉じる(C)

バッテリー残量がさらに低下すると、バッテリー充電ランプ点滅後、本機は休止状態になります。

対処方法

バッテリー残量低下が通知されたら、すぐに次のいずれかの処置を行ってください。完全放電してシャットダウン（電源切断）してしまうと、保存していないデータはすべて失われます。

- AC アダプターを接続する

電源を入れたまま AC アダプターを接続します。

- 電源を切る

作業中のデータを eMMC/HDD に保存して、実行中のアプリを終了させたあと、本機の電源を切ります。

- バッテリーが十分にあるキーボードドックを接続する *

電源を入れたままキーボードドックを接続します。


* キーボードドック添付時のみ



- AC アダプターやキーボードドックを接続しない場合は、直ちに作業中のデータを保存してください。コンピューターがシャットダウンしてしまうと、保存していないデータはすべて失われます。
- 完全放電してシャットダウンした後は、本機に AC アダプターを接続するか、AC アダプターを接続したキーボードドックを接続してください。AC アダプターを接続していないキーボードドックを本機に接続しても、起動できません。

バッテリーの容量がすぐに低下するときは

バッテリーは、消耗品です。満充電にしても、バッテリー容量がすぐに低下する場合は、バッテリーの寿命が考えられます。また、バッテリーの駆動時間が極端に短くなった場合は、内部に使用されている電池の消耗度合いにばらつきが発生している可能性があります。電池の消耗度合いにばらつきがあるバッテリーをそのまま使用し続けると、発熱、発火、破裂の原因となります。

バッテリーが消耗した場合は、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

バッテリーを長くお使いいただくために

バッテリーは消耗品です。バッテリーの劣化は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーの劣化を抑え、使用可能時間を延ばすため、次の事項に注意してください。

- 高温の環境では、バッテリーの劣化が早まります。本機を、炎天下の自動車の中や暖房機の近くなどで使用したり、放置したりしないでください。
- 低温の環境下では、バッテリーの性能が悪化します。これは一時的なものであり、常温の環境下に戻すと性能が回復します。
- コンピューターを使用する、使用しないにかかわらず、常時 AC アダプターを接続した状態は、バッテリーの劣化を早めます。1 ヶ月に 1 回程度、AC アダプターを外してコンピューターを起動してください。そのまま、バッテリー低下のアラームが通知されるまで使用してバッテリーを放電させた後、AC アダプターを接続してご使用ください。
- リチウムイオンポリマーバッテリーの場合、約 300 ～ 500 回の放電で、使用可能時間が初期値の約 50 ～ 70%になります。毎日充放電を繰り返すと、1 年程度で寿命となる場合があります。
- 使用可能時間はご使用環境によって変化し、1 年程度で初期値の 50%以下となる場合もあります。
- 上記数値は充放電回数を保証するものではありません。

タッチパネルを操作する

本機のタッチパネルの操作方法について記載します。

タッチパネルの操作

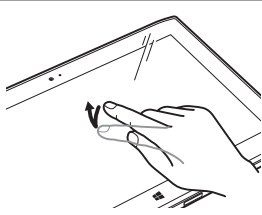
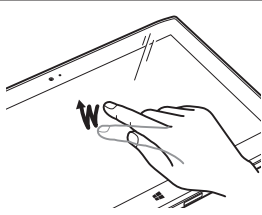
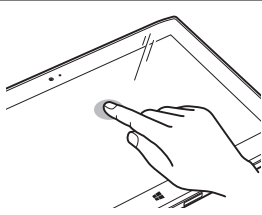
タッチパネル使用時の注意

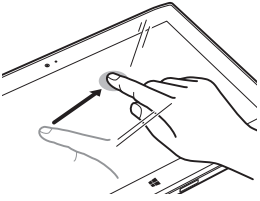

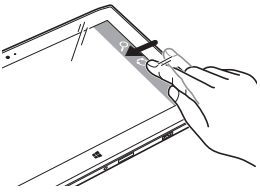




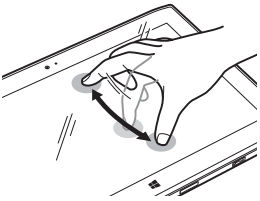
タッチパネルは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- 爪や、手袋を着用した指では、タッチパネルは操作できません。
- タップしたときにほかの場所が選択されたり、タップしても選択ができないような場合は、別の指や手の一部などがタッチパネルに触れていないか、確認してください。
- 使用するアプリによって、タッチパネル機能が使用できないことがあります。
- タッチパネル表面には、強化処理を施したガラスを使用していますが、取り扱いには十分ご注意ください。タッチパネルが割れた場合、ガラスの破片が飛び散ることがあります。
- 高いところから落とすなど、強い衝撃を与えないでください。
- 強くたたいたり、押したり、ボールペンなどの硬いもので触れたり、鋭利なもので傷をつけたりしないでください。傷が原因でガラスが割れることがあります。
- 製品の構造上、タッチパネル表面の温度が上がることがありますが、故障ではありません。

タッチパネルの操作方法

タッチパネルの操作方法は、次のとおりです。

操作名	操作	マウスの場合	使用する場面
タップ	 1回軽くタッチ	クリック	<ul style="list-style-type: none">● スタート画面でタイルからアプリを起動する● 文字の入力位置を指定する● メニューの項目を選択する
ダブルタップ	 2回軽くタッチ	ダブルクリック	<ul style="list-style-type: none">● デスクトップでアイコンからアプリを起動する
タップアンドホールド	 画面をタッチし続ける	右クリック	<ul style="list-style-type: none">● デスクトップで右クリックメニューを表示する

操作名	操作	マウスの場合	使用する場面
ドラッグ	 <p>タッチしたまま動かす</p>	ドラッグ	<ul style="list-style-type: none"> ● タイルやアイコンを移動する ● テキストの範囲を選択する ● Windows ストア アプリを終了する  p.33
スワイプ	 <p>画面上をスッと払うように指を動かす</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> ● チャームを表示する  p.29 ● 起動中のアプリを切り替える  p.32 ● アプリ一覧を表示する  p.31 ● アプリコマンドを表示する  p.34
ズーム	 <p>2本指で画面をつまみ(ピンチ)、開いたり閉じたりする</p>	Ctrl + スクロールボタン	<ul style="list-style-type: none"> ● 画面を拡大する / 画面を縮小する
回転	 <p>2本指でタッチして回す</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> ● オブジェクトを回転する

タッチパッドを使う

キーボードドック添付時のみ

キーボードドックにはタッチパッドが搭載されています。タッチパッドは、マウスと同じようにポインターなどを操作したりクリックしたりするための装置です。

タッチパッド使用時の注意

タッチパッドは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

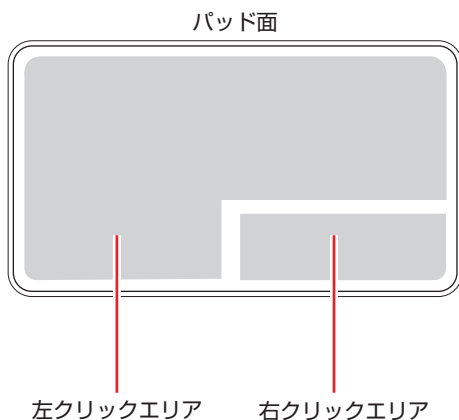
- ・パッド面には指で触れてください。ペンなどで触れると、ポインターの操作ができないだけでなく、パッド面が破損するおそれがあります。
- ・パッド面は、1本の指で操作してください（複数の指で使用可能な機能は除く）。一度に2本以上の指で操作すると、ポインターが正常に動作しません。
- ・手がぬれていたり、汗ばんでいると、ポインターの操作が正しくできないことがあります。
- ・キーボードを操作しているときにパッド面に手が触れると、ポインターが移動してしまうことがあります。
- ・起動時の温度や湿度により、正常に動作しない場合があります。この場合は電源を一度切って入れなおすことにより正常に動作することがあります。
- ・電源を入れたままタブレットを閉じていたり、使用中に本機の温度が上がってくると、正常に動作しない場合があります。この場合は、電源を一度切って入れなおすことにより正常に動作することがあります。

タッチパッドの操作

本機のタッチパッドは次のように操作します。

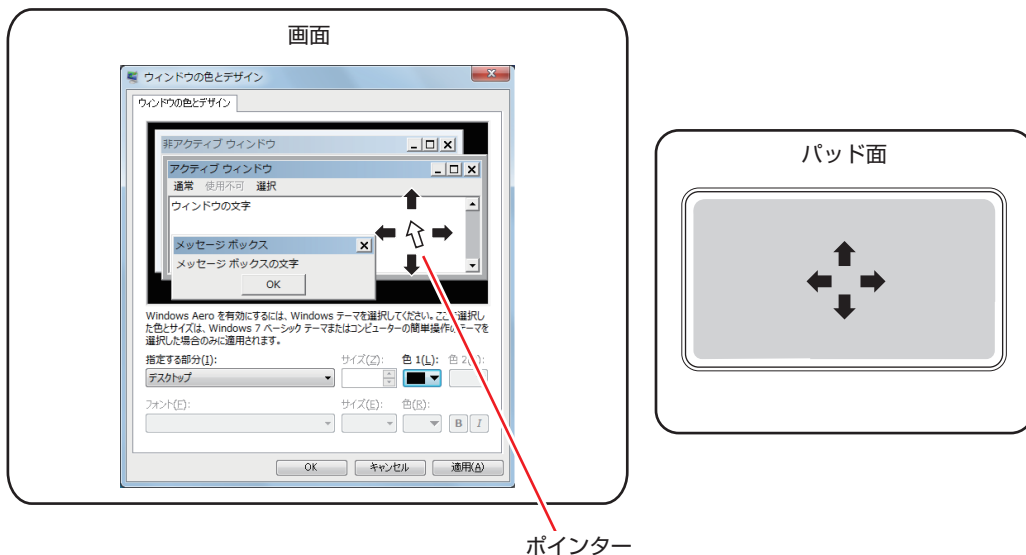
クリック操作

パッド面にはマウスの左クリックボタン / 右クリックボタンと同じ働きをするエリアがあります。それぞれのエリアを押すとカチッと音がします。

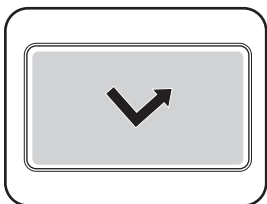


パッド操作

指をパッド面の上で前後左右に動かすと、動かした方向に画面上のポインターが移動します。



● クリック



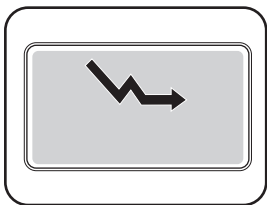
ポインターを画面上の対象に合わせて、パッド面を軽く 1 回たたきます。左クリックボタンを「カチッ」と押すのと同じ操作です。

● ダブルクリック



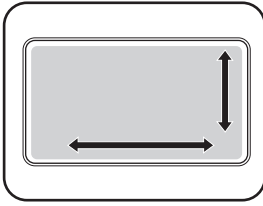
ポインターを画面上の対象に合わせて、パッド面を軽く 2 回たたきます。左クリックボタンを「カチカチッ」と 2 回押すのと同じ操作です。

● ドラッグアンドドロップ



ポインターを画面上の対象に合わせて、ダブルクリックの 2 回目のクリック時に、指をパッド面に触れたまま移動させます。左クリックボタンを押したままの状態でもポインターを移動し、離すのと同じ操作です。

●スクロール




上下のスクロールは、パッドの右端を指で触れて前後に動かします。左右のスクロールは、パッドの下部を指で触れて左右に動かします。

画面のズーム / 回転

本機のタッチパッドでは、画面上の対象を拡大したり、回転したりすることができます。使い方の詳細や機能の停止方法などは、タッチパッドユーティリティの次の項目をご確認ください。

- つまみズーム
- 回転




 p.49 「タッチパッドユーティリティを使う」

タッチパッド機能をオフにする

本機では、タッチパッドの機能をオフにすることができます。

キーボード入力を行うときに、手がタッチパッドにあたってポインターが動いてしまい、入力がしにくい場合があります。このような場合は、タッチパッド機能を一時的にオフにすると便利です。

タッチパッド機能のオン / オフの切り替えには、次のキー操作で行います。


 +  ( / ×)

 p.55 「Fn キーと組み合わせて使うキー」

制限

上記キー操作でタッチパッド機能をオフにした場合、省電力状態からの復帰時にタッチパッド機能が自動的にオンに切り替わります。

オフの状態を保持したいときには、タッチパッドユーティリティで「ELAN」タブ - 「デバイスを停止する」をクリックしてください。

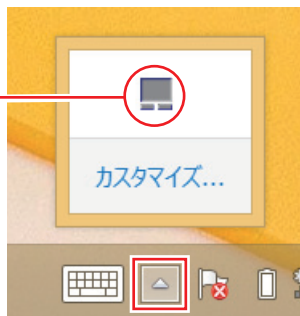
 p.49 「タッチパッドユーティリティを使う」

タッチパッドユーティリティを使う

タッチパッドユーティリティでは、タッチパッドの各種設定を行うことができます。
タッチパッドユーティリティ画面の表示方法は次のとおりです。

- 1 タスクバー右側通知領域の [△] – 「ELAN Pointing Device」アイコンをダブルクリックします。

ELAN Pointing Device
アイコン



- 2 「Elan Smart-Pad」画面が表示されたら、各種設定を行います。

タブを選択して、各種設定を行います。

機能を停止したい場合は、設定項目のチェックを外すか、機能を無効にする項目を選択してください。



ソフトウェアキーボードを使う

タブレットでの文字入力は、ソフトウェアキーボードを使用して行います。

ソフトウェアキーボードを表示する

ソフトウェアキーボードは次の場所から表示します。

- 設定メニューの「キーボード」 - 「タッチキーボードと手書きパネル」

 p.30 「設定メニュー」



- デスクトップ右下のキーボードアイコン

 p.31 「デスクトップ」



- 画面に表示されたテキストボックス



キーの機能

ソフトウェアキーボードの主なキーを説明します。



かな入力のアイコンは、次の設定を行うと有効になります。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「入力」 - 「ハードウェアキーボードに…」を「オン」に設定

キーボードを使う

キーボードドック添付時のみ

キーボードドックには、日本語対応 86 キーボードが搭載されています。


キーの種類と役割

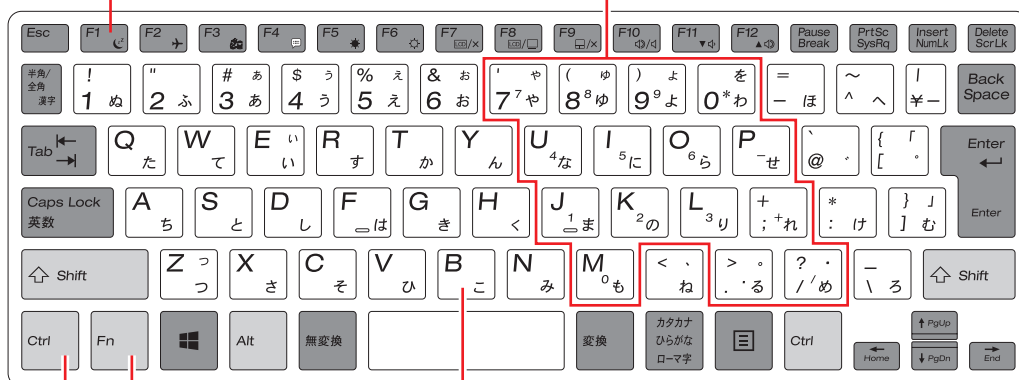
各キーには、それぞれ異なった機能が割り当てられています。

●機能キー

文字を消す、入力位置を変えるなど、特別な役割が割り当てられたキーです。機能キーの役割は、ソフトウェアによって異なります。

●数値キー

文字キーの一部を数値キーとして使用し、数字、演算子などを入力します。
 p.54 「数値入力 of 固定」



●Fnキー

 p.55

●文字キー

英数字、記号の入力や日本語入力システムを利用して漢字やひらがななどの日本語を入力します。

●制御キー


文字キーや機能キーの動きを変化させます。単独では機能しません。

文字を入力するには

文字キーを押すとキートップ（キーの上面）に印字された文字が入力されます。入力モードによって、入力される文字は異なります。

直接入力モード		キートップのアルファベットをそのまま入力します。
日本語入力モード	ローマ字入力	キートップのアルファベットでローマ字を入力し、漢字やひらがなに変換します。
	かな入力	キートップのひらがなをそのまま入力し、漢字やカタカナに変換します。

入力モードの切り替え

 を押すと、直接入力モードと日本語入力モードを切り替えることができます。日本語入力モードのローマ字入力とかな入力の設定は日本語入力システムで行います。

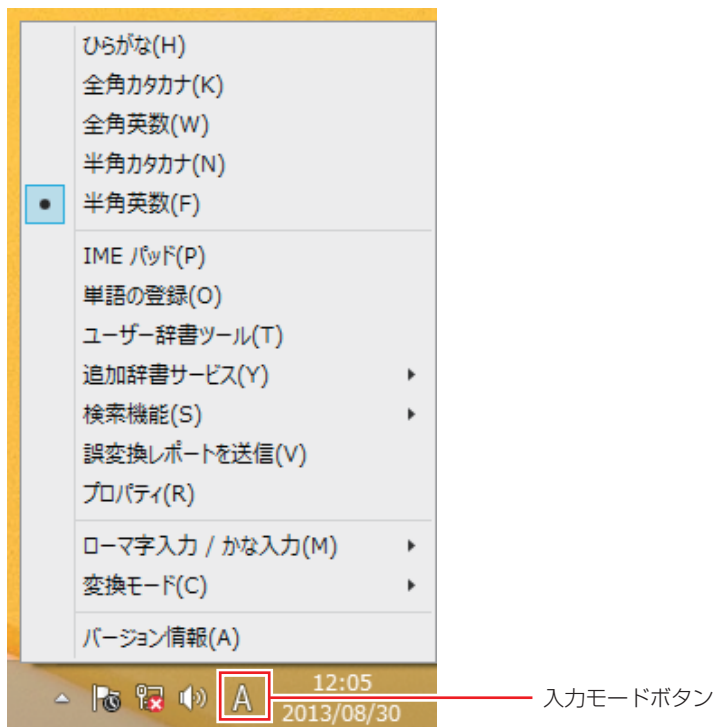
日本語を入力するには

ひらがなや漢字などの日本語の入力は、日本語入力システムを使用します。
本機には日本語入力システム「MS-IME」が標準で搭載されています。

MS-IME

MS-IME の設定は、次の場所で行うことができます。

- PC 設定
チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「時刻と言語」 - 「地域と言語」
- 「日本語」 - 「オプション」 - 「Microsoft IME」 - 「オプション」
- デスクトップ
デスクトップ通知領域の入力モードボタンを右クリックすると、一覧が表示されます。



MS-IME 以外の日本語入力システムを使用する場合は、そのシステムのマニュアルをご覧ください。

キーロック機能


文字や数値キーの入力モードを固定する機能が搭載されています。

アルファベット大文字入力の固定

アルファベットの入力を大文字または小文字に固定することができます。
固定する文字の切り替えは、次のキー操作で行います。

Shift + **Caps Lock**

大文字に固定すると、CapsLock ランプ () が点灯します。

 p.22 「キーボードドック」

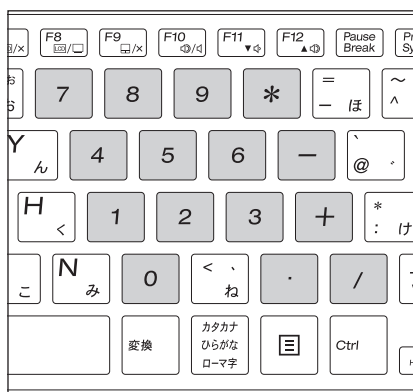
大文字に固定した状態のまま小文字を入力するには、**Shift** を押しながら文字を入力します。

数値入力の固定

文字キーの一部を数値入力キーとして固定することができます。
数値入力固定の切り替えは、次のキー操作で行います。

Fn + **NumLk**

数値入力に固定



もう一度 **Fn** + **NumLk** を押すと、数値入力の固定が解除されます。

Fnキーと組み合わせて使うキー

キートップに青色で印字されている機能キーは **[Fn]** と組み合わせて実行します。

キーの組み合わせ	機能
[Fn] + [F1] 	省電力状態に移行します。購入時の設定では、スリープに移行します。  p.99 「省電力機能」
[Fn] + [F2] 	「機内モード」のオン / オフを切り替えます。 機内モードをオンにすると、本機の無線機能がオフになり、電波を停止することができます。
[Fn] + [F3] 	「電源オプション」画面が表示されます。
[Fn] + [F4] 	PC お役立ちナビを起動します。  p.4 「知りたい情報はこれで検索！ PC お役立ちナビ」
[Fn] + [F5] 	LCD 画面を暗くします。  p.63 「LCD 画面の調整」
[Fn] + [F6] 	LCD 画面を明るくします。  p.63 「LCD 画面の調整」
[Fn] + [F7] 	LCD 画面のバックライトの入 / 切を切り替えます。  p.63 「バックライトの消灯」
[Fn] + [F8] 	外付けの表示装置に接続している場合に、画面表示を切り替えます。  p.69 「画面表示を切り替える」
[Fn] + [F9] 	タッチパッドのオン / オフを切り替えます。  p.48 「タッチパッド機能をオフにする」
[Fn] + [F10] 	スピーカーのミュート（消音）の入 / 切を切り替えます。  p.75 「音量の調節」
[Fn] + [F11] 	スピーカーの音量を小さくします。  p.75 「音量の調節」
[Fn] + [F12] 	スピーカーの音量を大きくします。  p.75 「音量の調節」
[Fn] + [Insert] NumLk	数値入力に固定します。  p.54 「数値入力の固定」
[Fn] + [Delete] ScrLk	ソフトウェアによって機能が異なります。詳しい内容は、ご使用のソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

eMMC/HDD の概要

本機には、記憶装置として eMMC が搭載されています。また、購入時の選択によりキーボードドックには HDD が搭載されています。

！ 制限

- 本機を落としたり、ぶつけたりしてショックを与えると eMMC/HDD が故障するおそれがあります。ショックを与えないように注意してください。また、持ち運ぶときは、電源を切った状態で専用バッグに入れるなどして、保護するようにしてください。
- eMMC/HDD が故障した場合、eMMC/HDD のデータを修復することはできません。
- HDD アクセスランプ点滅中に、本機の電源を切ったり、再起動したりしないでください。アクセスランプ点滅中は、コンピューターが HDD に対してデータの読み書きを行っています。この処理を中断すると、HDD 内部のデータが破損するおそれがあります。

データのバックアップ

eMMC/HDD に記録されている重要なデータは、外付けの USB HDD などにバックアップしておくことをおすすめします。万一 eMMC/HDD の故障などでデータが消失してしまった場合でも、バックアップを取ってあれば、被害を最小限に抑えることができます。

購入時の eMMC 領域

購入時、Windows がインストールされている eMMC の領域は、次のように設定されています。

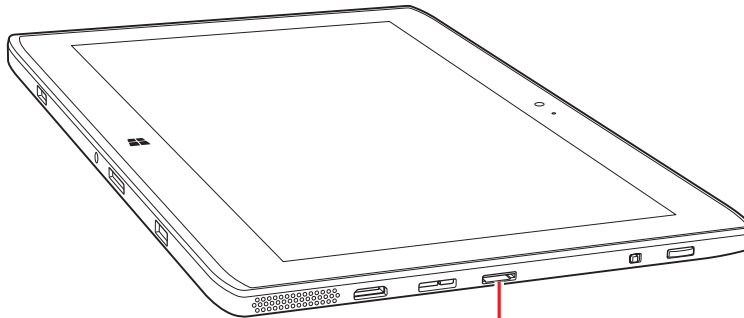
領域	容量
システム	100MB
MSR	128MB
C ドライブ (Windows)	残り
リカバリー	15GB

リカバリー領域

「リカバリー領域」には、PC のリフレッシュのためのデータが設定されています。この領域を削除すると再インストールができなくなりますので、ご注意ください。

メモリーカードを使う

タブレット右側面にはメモリーカードスロットが装備されています。
メモリーカードは、デジタルカメラなどで使用するメディアで、コンピューターとのデータ交換に使われます。



メモリーカードスロット

タブレット右側面

本機で使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、Micro SD メモリーカードです。イラストはイメージです。



Micro SD メモリーカード <SDHC/SDXC 対応 >*

*記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。



制限

著作権保護機能には対応していません。

メモリーカード使用時の注意

メモリーカードは、次の注意事項を確認して正しくお使いください。

- メモリーカードアクセス中に、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。カードのデータが破損するおそれがあります。
- メモリーカードは、データの書き込み中に電源の供給が停止すると不具合が発生する可能性があります。メモリーカードを使用するときは、省電力状態に移行しないように設定してください。

 p.101 「時間経過で移行させない」

- 記録されているデータによっては、読み込み時に専用のアプリが必要になる場合があります。詳しくは、データを作成した周辺機器またはアプリのマニュアルをご覧ください。

メモリーカードのフォーマット

メモリーカードのフォーマットは必ず、メモリーカードを使用するデジタルカメラなどの周辺機器側で行ってください。本機でフォーマットを行うと、周辺機器でメモリーカードが認識されなくなる場合があります。

フォーマットの方法は、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

メモリーカードのセットと取り出し

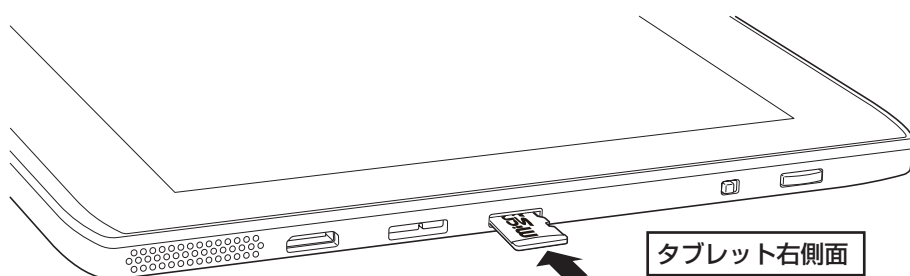
メモリーカードのセットと取り出し方法について説明します。

メモリーカードのセット

メモリーカードのセット方法は、次のとおりです。

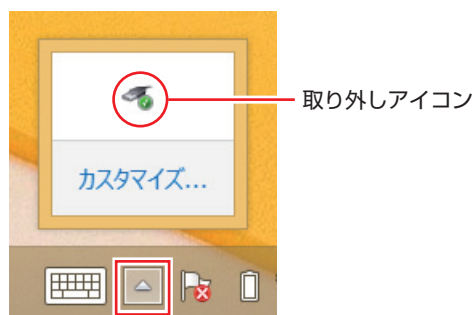
- 1** メモリーカードのラベル面を LCD 画面側（端子面を背面側）にして、メモリーカードスロットに挿入します。

指の先でカードを奥までしっかりと押し込みます。



- 2** 認識されると、メモリーカードが使用できます。

正しくセットされると、デスクトップ通知領域の [△] 内に「取り外し」アイコンが表示されます。



メモリーカードの取り外し

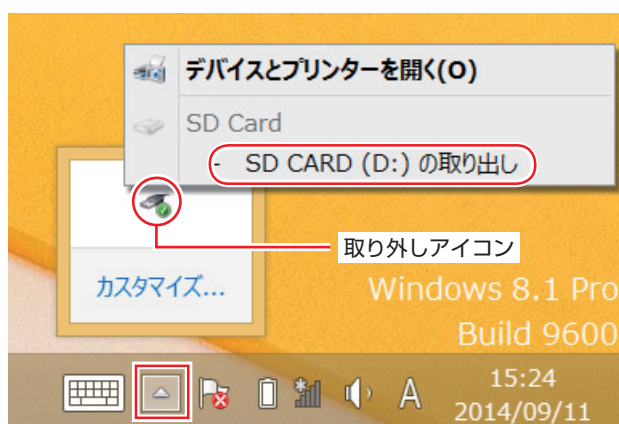
メモリーカードの取り外し方法は、次のとおりです。

1 メモリーカードの終了処理を行います。

本機の電源を切った場合、終了処理は不要です。2に進みます。

- 1 開いているファイルを閉じます。
ファイルを閉じないと、終了処理ができません。
- 2 デスクトップ通知領域の [△] - 「取り外し」アイコンをタップします。
- 3 表示されたメニューから、「(取り出したいメモリーカード) の取り出し」を選択します。

複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、終了処理は完了です。

2 メモリーカードを取り外します。

- 1 指の先でメモリーカードを「カチッ」と音がするまで押します。
- 2 少し出てきたメモリーカードをまっすぐに引き抜きます。

取り出したメモリーカードは、専用のケースなどに入れて大切に保管してください。

USB 機器を使う

本機には次の USB コネクタが搭載されています。

- Micro USB3.0 コネクタ× 1 (タブレット 右側面)
- USB2.0 コネクタ× 2 (キーボードドック 右側面)



制限

接続した USB 機器によっては、本機の電源を切った状態でも、ランプが光り続けます。これは、お使いの USB 機器の仕様です。

USB機器の接続と取り外し

USB 機器の接続・取り外しは、本機の電源が入っている状態で行うことができます。

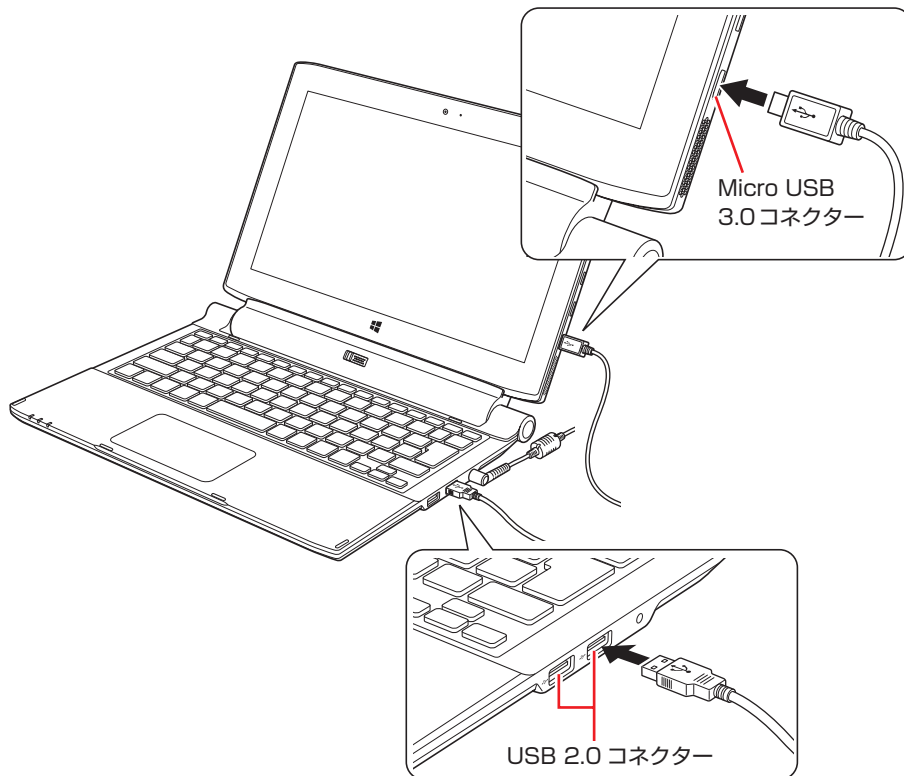
接続

USB 機器の接続方法は、次のとおりです。

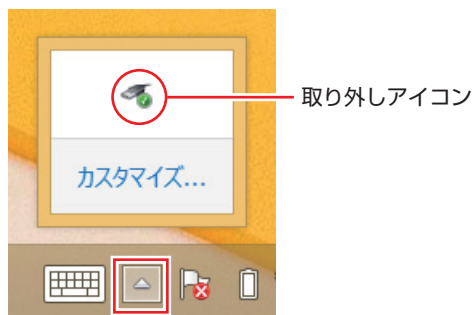
1

USB 機器を、USB コネクタ () に接続します。

接続する機器によっては Micro USB 変換ケーブルを使用してください。



- 2** USB 機器によっては、デスクトップ通知領域の [△] – 「取り外し」アイコンが表示されます。



接続する USB 機器によっては、専用のデバイスドライバーが必要です。詳しくは USB 機器のマニュアルをご覧ください。

取り外し

USB 機器の取り外しは、コンピューターの状態を確認して、次のどちらかの方法で行います。

●そのまま取り外す

デスクトップ通知領域の [△] – 「取り外し」アイコンが表示されていない場合や、本機の電源を切った場合はそのまま取り外せます。

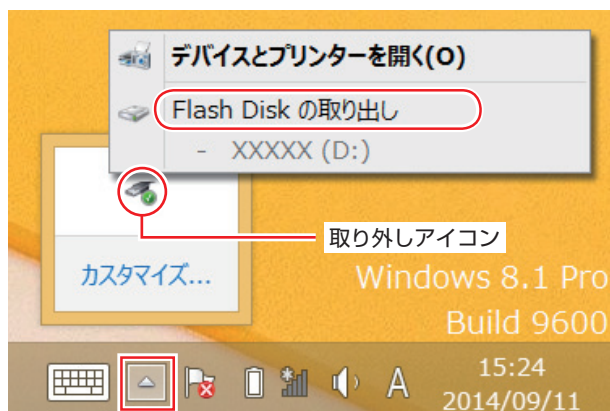
●USB 機器の終了処理をして取り外す

デスクトップ通知領域の [△] – 「取り外し」アイコンが表示されている場合は、終了処理を行います。

USB 機器の終了処理と取り外しの手順は、次のとおりです。

- 1** デスクトップ通知領域の [△] – 「取り外し」アイコン – 「(取り外したい USB 機器)の取り出し」をタップします。


複数の機器が表示される場合は、別の機器を選択しないよう注意してください。



「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたら、終了処理は完了です。

- 2** 機器を本機から取り外します。

画面表示機能

ここでは、本機の LCD 画面での画面表示について説明します。
外付けの表示装置を接続することもできます。
 p.67 「外付けディスプレイを使う」

LCD画面の仕様

本機では次の LCD（液晶ディスプレイ）を搭載しています。

LCD	最大解像度
11.6 型	1920 × 1080

制限

LCD の表示中に、次の現象が起きることがあります。これは、カラー LCD の特性で起きるもので故障ではありません。

- LCD は、高精度な技術を駆使して 100 万以上の画素から作られています。画面の一部に常時点灯または常時消灯する画素が存在することがあります。
- 色の境界線上に筋のようなものが現れることがあります。
- Windows の背景の模様や色、壁紙などによってちらついて見えることがあります。この現象は、背景の模様が市松模様や横縞模様といった特殊なパターンで、背景の色が中間色の場合に発生しやすくなります。

参考

LCD のドット抜け基準値

本機 LCD のドット*抜け基準値は、8 個以下です。これは全ドットの 0.00013% 以下に相当します。

*「ドット」は副画素（サブピクセル）を指します。LCD では、1 個の画素が 3 個の副画素で構成されています。

本書に記載しているドット抜け基準値は、ISO13406-2 に従って、副画素単位で計算しています。

副画素数：6,220,800 個

LCD画面の調整

画面の明るさ調整

本機の画面の明るさ（輝度）の調整は、次の場所で行います。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「ディスプレイ」



キーボードドックを接続している場合は、次のキー操作で輝度を調整できます。ただし、Windows を再起動すると元に戻ります。

キー操作	状態
Fn + F5	☀️ 暗くなります
Fn + F6	☀️ 明るくなります

バックライトの消灯

<キーボードドック添付時のみ>

本機を使用していない間、バックライトを消灯することで消費電力を抑えることができます。

キーボードドックを接続している場合、バックライトの消灯は次のキー操作で行います。

Fn + **F7** (**LED** / **X**)

もう一度 **Fn** + **F7** (**LED** / **X**) を押すとバックライトが点灯します。

p.55 「Fn キーと組み合わせるキー」

タブレットを閉じたときの動作

キーボードドックを接続しているときにタブレットを閉じると、本機は「スリープ」になります。

p.99 「省電力状態の種類」

表示に関する各種設定

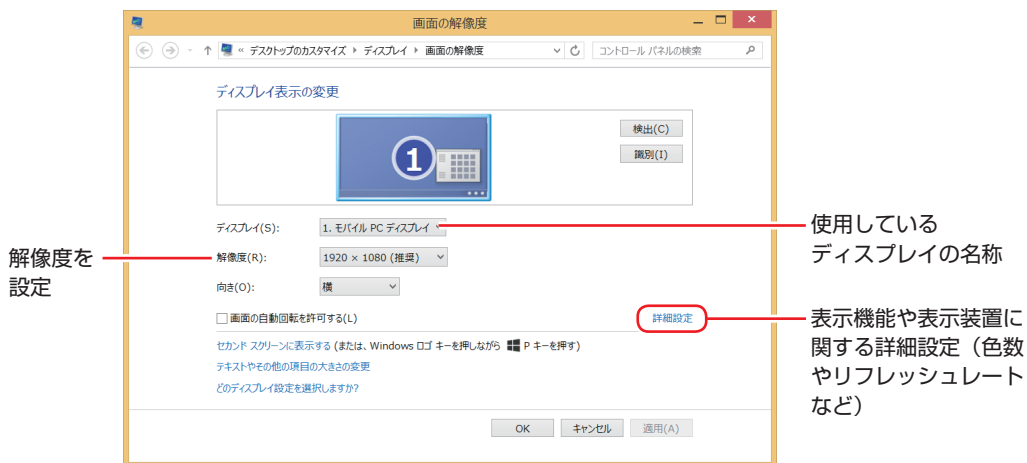
画面表示に関する設定は次の場所で行います。

簡易設定

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「ディスプレイ」

詳細設定

デスクトップ上の何も無いところをタップアンドホールド - 「画面の解像度」

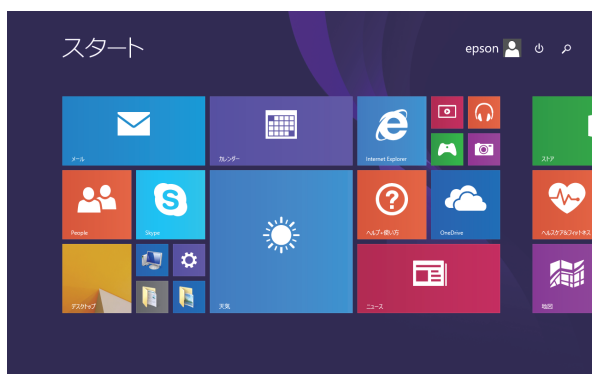


<イメージ>

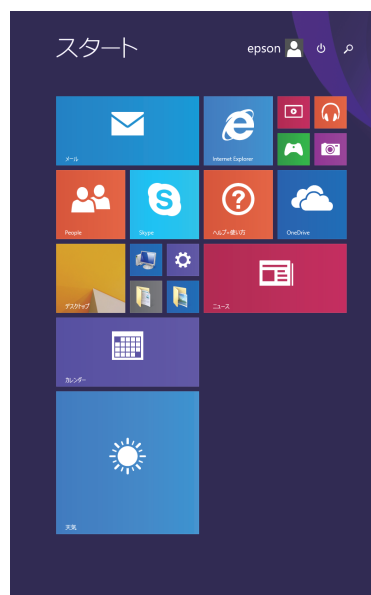
画面を回転する

タブレットのみで使用している場合、本機を回転させると、縦表示と横表示を切り替えることができます。地面方向（重力方向）が画面の下側になります。

- アプリによっては縦表示に対応していない場合があります。正常に動作しない場合は、横表示で使用してください。
- 動画再生中など、アプリを終了せずに回転機能を使うと、保存されていないデータが失われるおそれがあります。
- スクリーンセーバーの起動中に回転機能を使うと、画面が乱れる場合があります。
- キーボードドックや外部ディスプレイを接続している場合は、横表示に固定されます。また、縦表示で使用中にキーボードドックや外部ディスプレイを接続すると、画面は横表示に戻ります。



<横表示>

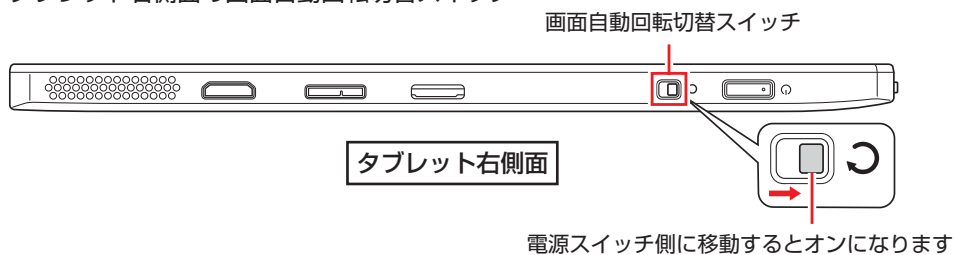


<縦表示>

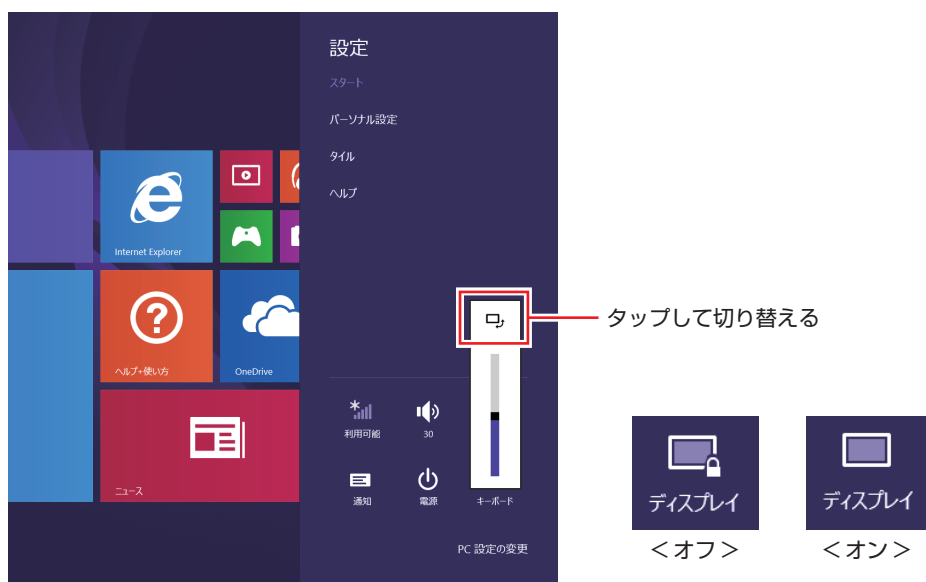
画面自動回転をオンにする

次の両方の設定がオンになっている場合に、画面を回転させることができます。

- タブレット右側面の画面自動回転切替スイッチ



- チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「ディスプレイ」




設定のどちらか一方がオフになっているときや、キーボードドックを接続しているときは、画面の回転はできません。

外付けディスプレイを使う

本機では、外付けディスプレイを接続して、画面を表示することができます。

ディスプレイの接続

タブレット右側面には、Mini HDMI コネクタが搭載されており、外付けディスプレイを接続することができます。

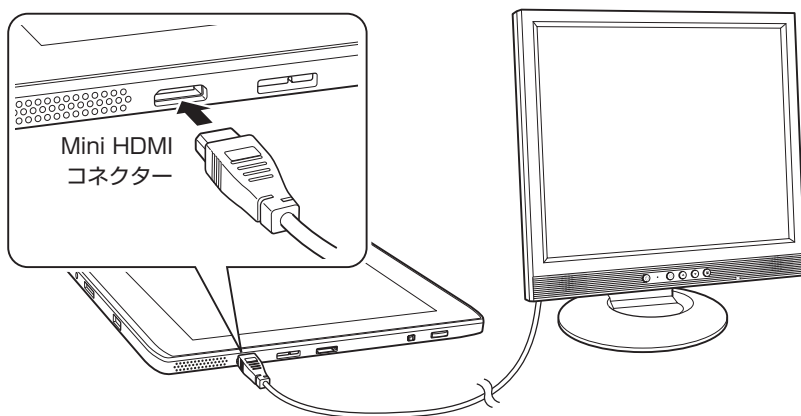
ワイヤレス（無線）での接続もできます。接続方法は  p.73 「ワイヤレスディスプレイを使用する」をご覧ください。

外付けディスプレイの接続

外付けディスプレイの接続方法は、次のとおりです。

- 1** 本機と外付けディスプレイの電源を切ります。
- 2** 外付けディスプレイと Mini HDMI コネクタ（**HDMI**）を、Mini HDMI ケーブル（オプション）で接続します。

HDMI 接続では、デジタル画像と音声を出力します。



- 3** 外付けディスプレイと本機の電源を入れます。



参考

- 画面表示を切り替える

画面表示を切り替える場合は、 p.69 「画面表示を切り替える」をご覧ください。

- 音声出力先を変更する

音声出力先を変更したい場合は、 p.79 「音声出力先の設定」をご覧ください。

- 外付けディスプレイへの表示を終了する

外付けディスプレイへの表示が終了したら、Windows を終了後に必ず接続ケーブルを取り外してください。外付けディスプレイの電源が入っていても、ケーブルを接続しているだけで自動認識され、信号が出力されます。

プロジェクターの接続

プロジェクターの接続方法は、プロジェクターのマニュアルをご覧ください。

画面表示の種類

本機では、次のような画面の組み合わせで表示ができます。

- PC 画面のみ

本機のディスプレイのみに表示します。

- セカンドスクリーンのみ

外付けディスプレイのみに表示します。

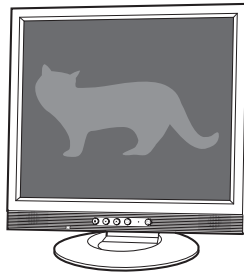
※ 本機にキーボードドックやマウスを接続して操作してください。

- 複製

2つのディスプレイに同じ画面を表示します。プレゼンテーションを行う場合などに便利です。



<本機>

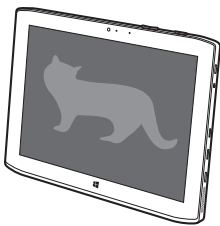


<外付けディスプレイ>

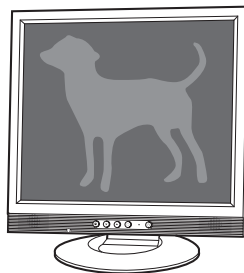
- 拡張

2つのディスプレイに対して、個別に設定をすることができます。複数の画面をコンピューター上に表示する場合に便利です。

※ スタート画面や Windows ストア アプリは 2 画面に表示できません。





<本機>



<外付けディスプレイ>

画面表示を切り替える

画面表示の切り替え方法は、次のとおりです。

- チャームから切り替える  p.69
簡単な操作で画面表示の切り替えができます。
- ユーティリティで切り替える  p.70
画面表示の切り替えと詳細な設定ができます。
- キーボード操作で切り替える
キーボードドック接続時は、**[Fn] + [F8]** (**[Cmd]/[Win]**) を押しても表示方法を変更できます。

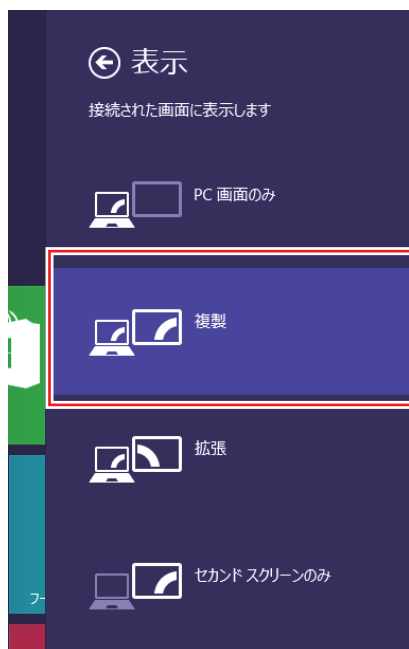


制限

解像度の異なるディスプレイを接続して複製に切り替えると、解像度は低い方の解像度で表示されます。

チャームから切り替える

- 1** チャームを表示 - 「デバイスチャーム」 - 「表示」をタップします。
- 2** 一覧から表示方法を選んでタップします。

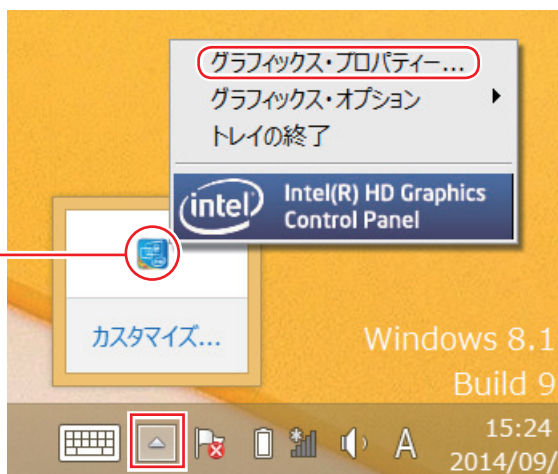


ユーティリティーで切り替える

ユーティリティーでの画面表示の切り替え方法は、次のとおりです。

- 1 デスクトップ通知領域の [△] – 「インテル (R) HD グラフィックス」アイコンをタップし、「グラフィックス・プロパティ…」を選択します。

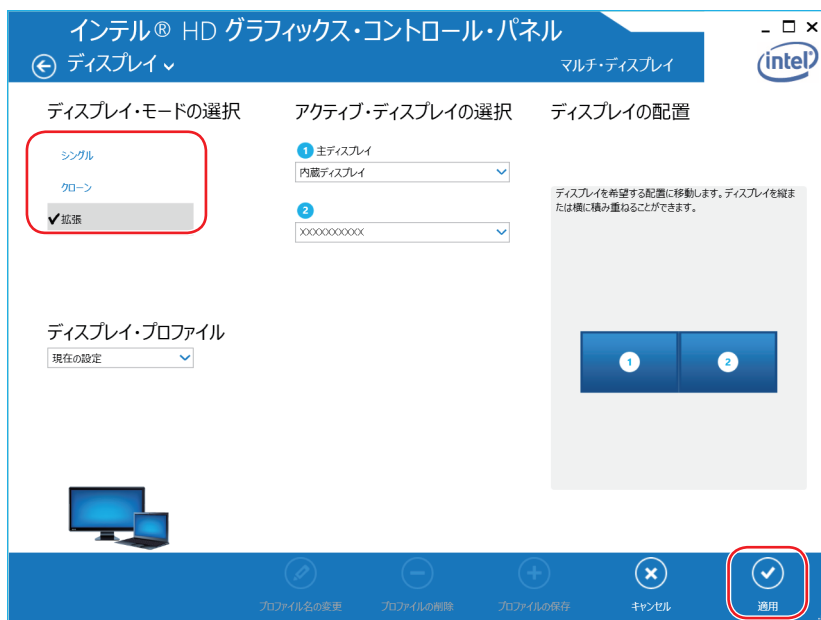
インテル (R)
HD グラフィックス
アイコン



- 2 「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」画面が表示されたら、「ディスプレイ」を選択します。
- 3 「ディスプレイ」タブをタップして、表示された一覧から「マルチ・ディスプレイ」を選択します。



- 4** 「ディスプレイ・モードの選択」でモードを選択し、「適用」をタップします。
「拡張」を選択した場合は、「①主ディスプレイ」を設定します。主ディスプレイに「スタート」メニューやタスクバーが表示されます。



- 5** 「新しい設定が適用されました。これらの設定を保持しますか？」と表示されたら、「はい」をタップします。
これで画面の切り替えは完了です。

- 6** 設定した内容をディスプレイ・プロファイルとして保存する場合は、「プロファイルの保存」をタップして、表示された画面にプロファイル名を入力し、「OK」をタップします。
ディスプレイ・プロファイルとして保存しておけば、プロファイル名を選択し、適用するだけで、設定した画面表示に切り替えることができます。





参考

グラフィックス・オプションから設定する

ディスプレイの表示の切り替えは、次の場所からも行えます。

デスクトップ通知領域の [△] - 「インテル (R) HD グラフィックス」
アイコンをタップ - 「グラフィックス・オプション」 - 「出力先」

外付けディスプレイで表示できる解像度と表示色

外付けディスプレイで表示できる解像度と表示色は、次のとおりです。

● 解像度

1024 × 768
1152 × 864
1200 × 960
1200 × 1920 *
1280 × 720 *
1280 × 768 *
1280 × 800 *
1280 × 960 *
1280 × 1024
1360 × 765 *
1360 × 768 *
1366 × 768 *
1400 × 1050
1440 × 900 *
1600 × 900 *
1600 × 1200
1680 × 1050 *
1920 × 1080 *
1920 × 1200 *

* ワイド表示

● 表示色

32 ビット



制限

- 記載している解像度は、本機に搭載されたビデオコントローラーの出力解像度です。表示画面の種類や接続する外付けディスプレイの仕様によっては、表示できない場合があります。
- 複製表示の場合、実際に表示できる最大解像度は、コンピューター側の最大解像度と外付けディスプレイの最大解像度のうち、どちらか低い方になります。
- 解像度や表示色が高いと、動画再生アプリで動画を再生するときに、正常に表示できないことがあります。そのような場合は、解像度または表示色を調節してみてください。

ワイヤレスディスプレイを使用する

本機はワイヤレスディスプレイに対応しています。
本機の画面や動画などを、無線 LAN を使用して、外部ディスプレイやテレビに表示することができます。

注意事項

ワイヤレスディスプレイを使用する際の注意事項について記載します。

表示に関する注意

表示に関する注意事項は、次のとおりです。

- 同時に使用できる表示装置は、本機の LCD と、ワイヤレスで接続している外部ディスプレイの 2 つまでです。
- ワイヤレスで外部ディスプレイを使用中は、本機にケーブルを使って外付けディスプレイを接続しないでください。ワイヤレスディスプレイとの接続が切断されます。
- UEFI Setup ユーティリティ、Windows 起動中の画面、省電力モードからの復帰中の画面、およびシャットダウン中の画面は外部ディスプレイに表示できません。
- ワイヤレスで接続すると、音声は接続した外部ディスプレイからの出力に切り替わります。
- ワイヤレスで表示した画面では、マウスポインターやウィンドウの移動、入力した文字などの表示に遅延が生じます。

使用に関する注意

使用時の注意事項は、次のとおりです。

- ワイヤレスディスプレイの接続は、無線 LAN 機能を使用するため、ご利用環境によっては、通信速度の低下や通信不能が原因で、テレビや外部ディスプレイに画面が表示されない場合や、画面（画像）が乱れる場合があります。画質は、接続したテレビや外部ディスプレイの仕様により異なります。
- ワイヤレスディスプレイの接続は、無線 LAN 機能を使用しますが、ホームページの閲覧など、通常のインターネット接続も同時に使用できます。
- ワイヤレスディスプレイの接続と無線 LAN で、同時にインターネット接続して使用する場合は、無線 LAN アクセスポイントとの接続が完了してから、ワイヤレスディスプレイの接続を行ってください。
- 無線 LAN 機能がオフの場合は、ワイヤレスディスプレイを使用できません。

ワイヤレスディスプレイの検出・追加

ワイヤレスディスプレイを使用する場合、ワイヤレスディスプレイを検出して、追加をする必要があります。

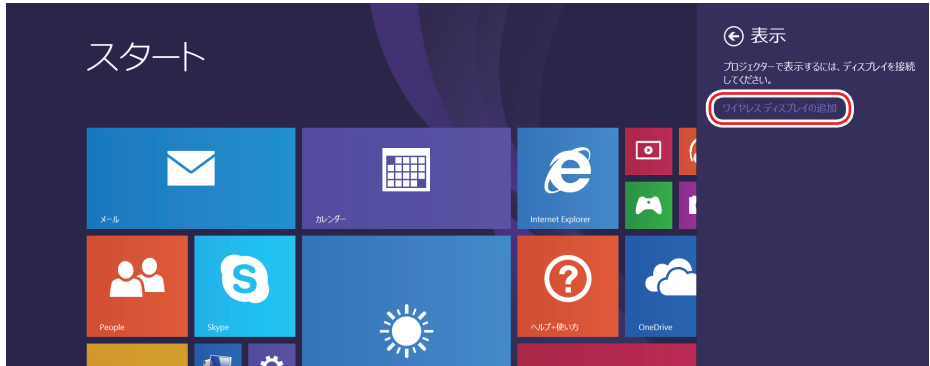
ワイヤレスディスプレイを検出・追加する方法は次のとおりです。

- 1** ワイヤレスディスプレイを本機の近くに設置します。

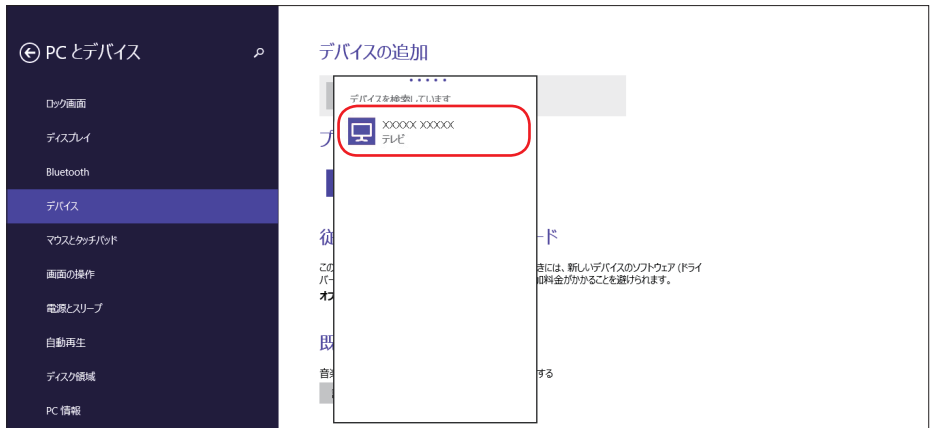


2 ワイヤレスディスプレイを検出し、デバイスに追加します。

- 1 チャームを表示 - 「デバイスチャーム」 - 「表示」 - 「ワイヤレスディスプレイの追加」をタップします。

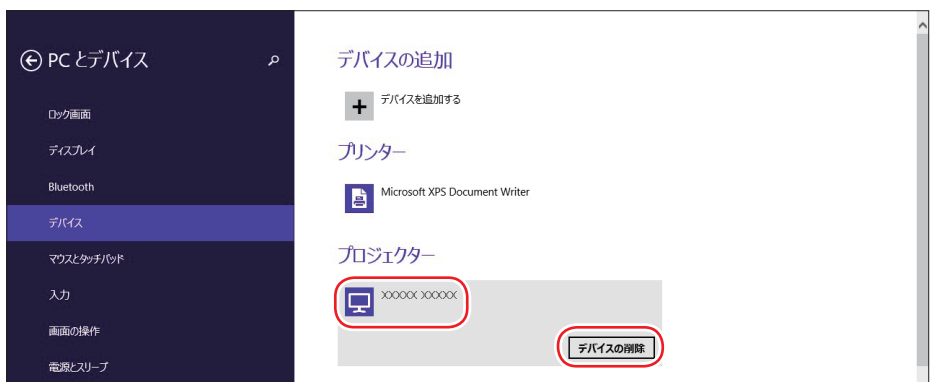


- 2 表示されたワイヤレスディスプレイを選択します。
以降は画面の指示に従って接続してください。



接続を解除する場合

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「デバイス」の一覧に表示されているワイヤレスディスプレイを選択し、[デバイスの削除]をタップします。

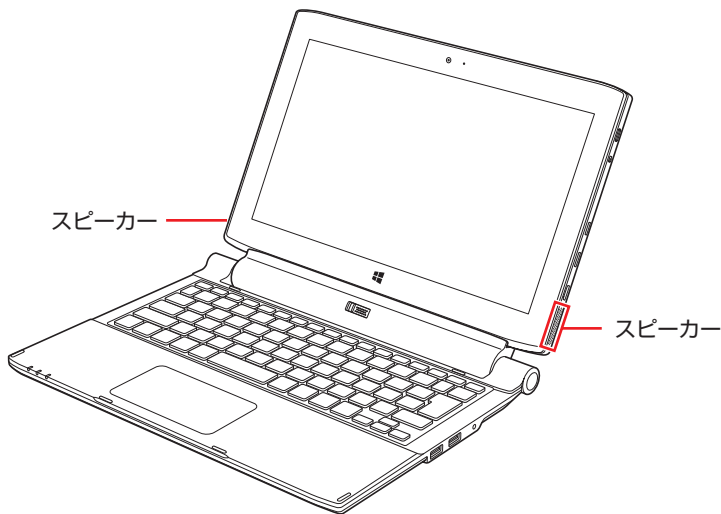


サウンド機能

本機には、サウンド機能が搭載されています。

スピーカー

タブレット側面には、スピーカーが内蔵されており、音源からの音声を出力することができます。



制限

本機のスピーカーから、特定の周波数が継続する音源（警告音やテスト信号音など）を大音量で再生した場合、誤動作や故障の原因となることがあります。

音量の調節

スピーカーの音量は、次の場所で調節します。

- タブレット上面の音量調節ボタン



- 設定メニューのスピーカーアイコン




 p.30 「設定メニュー」



<スピーカーアイコン>

●キー操作

キーボードドックを接続している場合は、次のキー操作で音量を調整できます。

キー操作	状態
Fn + F10 	一度押すとミュート（消音）になります。 もう一度押すとミュートが解除されます。
Fn + F11 	音量が小さくなります。
Fn + F12 	音量が大きくなります。



制限

ソフトウェアによっては、キー操作で音量調節ができないものがあります。詳しくは、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

マイク

本機上面には、マイクが内蔵されており、音声を録音することができます。



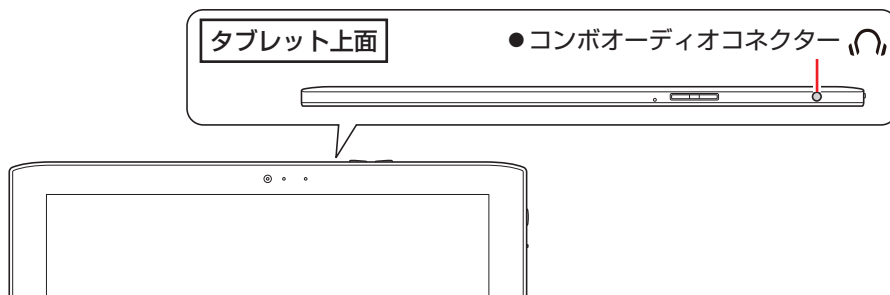
オーディオ機器の接続

タブレット上面には、オーディオ機器（ヘッドホン、スピーカー、マイクなど）を接続するためのコネクタが搭載されています。



注意

ヘッドホンやスピーカーは、ボリュームを最小に調節してから接続し、接続後に音量を調節してください。
ボリュームの調節が大きくなっていると、思わぬ大音量が聴覚障害の原因となります。



Mini HDMI コネクタについては、 p.67 「外付けディスプレイを使う」をご覧ください。

制限

コンボオーディオコネクターには、3 極ミニプラグのヘッドホンや 4 極ミニプラグのスマートフォン用ヘッドホンマイク（CTIA 規格）を接続して使用できません。



< 4 極ミニプラグ >

3 極ミニプラグのマイク（ステレオ、モノラル）は使用できません。

参考

●ヘッドホンやスピーカーを接続したら


コンボオーディオコネクターにヘッドホンやスピーカーを接続すると、自動的に接続した機器が使用可能になり、内蔵スピーカー機能は無効になります。

●マイクを接続したら

コンボオーディオコネクターにマイクを接続すると、自動的に接続したマイクが使用可能になり、内蔵マイク機能は無効になります。

●HDMI 機器を接続したら

HDMI コネクターに機器を接続した場合は、音声出力先の設定が必要です。

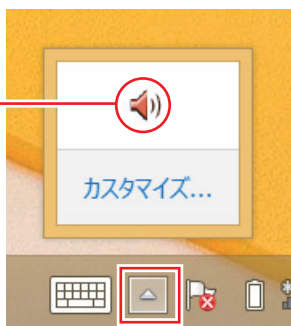
 p.79 「音声出力先の設定」

サウンドユーティリティを使う

サウンドユーティリティを使用すると、スピーカーの設定やマイク音量の設定、音響効果の設定などができます。

サウンドユーティリティを起動するには、タスクバー右側通知領域にある [△] 内の「Realtek HD オーディオマネージャ」アイコン（赤色）をダブルタップします。

Realtek HD オーディオ
マネージャアイコン



次の画面が表示されます。




マイク使用時の音量調節

マイクの音量調節はサウンドユーティリティの「マイク」タブで行います。

マイクで録音・再生時の音量を調節

マイクブーストの設定

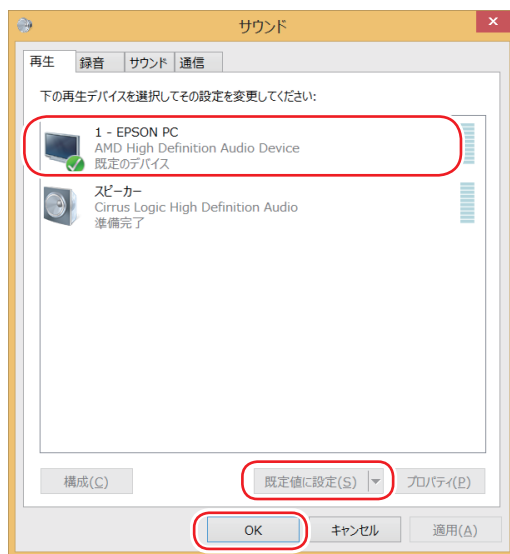


録音時に音量を調節しても音が小さいときは、 をタップしてマイクブーストのつまみを右へスライドさせ、音量を上げてください。

音声出力先の設定

購入時、本機の音声出力先は内蔵スピーカーに設定されています。
HDMI 機器へ音声を出力したい場合は、音声出力先を変更してください。

- 1 [デスクトップ] – 「設定チャーム」 – 「コントロール パネル」 – 「ハードウェアとサウンド」 – 「サウンド」をタップします。
- 2 「サウンド」画面が表示されたら、「再生」タブで HDMI 機器を選択し、[既定値に設定] をタップします。



<イメージ>

音声出力先に設定されると、機器のアイコンにチェックが付きます。

- 3 [OK] をタップします。
これで設定は完了です。HDMI 機器から音声が出力されます。

無線 LAN 機能

本機には無線 LAN アダプターが内蔵されています。
無線 LAN とは、電波を利用して通信を行うネットワークのことです。

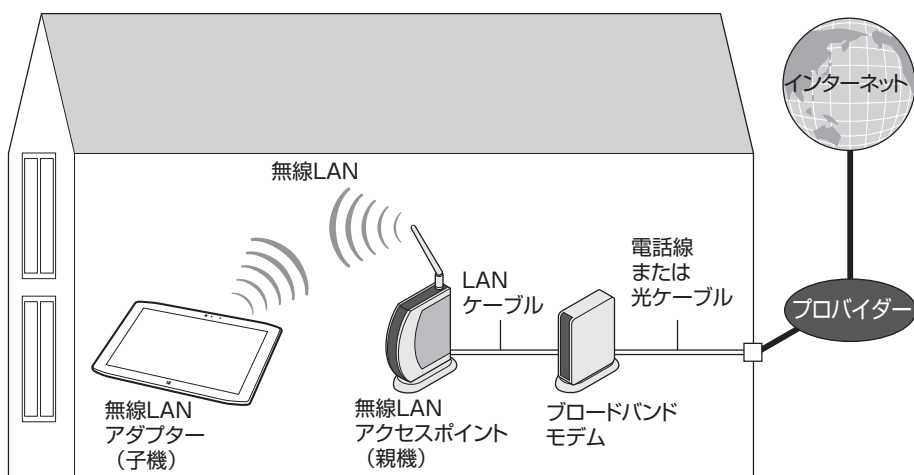
準拠規格

本機に内蔵されている無線 LAN アダプターは、次の規格に準拠しています。

- IEEE802.11 ac/a/b/g/n

無線LANの概要

無線 LAN の概要を図で表すと、次のようになります（図は一例です）。



無線 LAN の用語一覧

無線 LAN 機器のマニュアルにより、使用している用語が本書と異なる場合があります。下記の用語一覧を参考にしてください。

本書での表記	別名
無線 LAN	ワイヤレス LAN、Wi-Fi
無線 LAN アクセスポイント	親機、ワイヤレス LAN ステーション、アクセスポイント、無線 LAN ルーター
無線 LAN アダプター	子機、ワイヤレスステーション、無線 LAN 端末、無線 LAN クライアント
SSID	ESS-ID、ESSID、ネットワーク名、サービスセット識別子


無線LAN使用時の注意

無線 LAN を使用する際は、次の注意事項をよくお読みください。




- 無線 LAN 機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 無線 LAN 機能が搭載されている場合、医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
 - ・手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視室（CCU）には、本機を持ち込まない。
 - ・病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
 - ・本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、無線 LAN 機能を使用するときは、装着部と本機の間を 22cm 以上離してください。
電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。
満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- 無線 LAN 機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

！ 制限

- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、サーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は次のいずれかの方法をとってください。
 - ・再起動する
 - ・省電力状態に移行しないように設定する
 p.101 「時間経過で移行させない」
- ネットワーク上のファイルなどを開いている状態で省電力状態に移行すると、通常の状態に復帰できない場合があります。
- 本機の無線 LAN 機能は、Wakeup On LAN とリモートブートには対応していません。

電波に関する注意

無線 LAN は、次の電波に関する注意事項を確認して正しくお使いください。

- 本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており、5GHz または 2.4GHz の周波数帯を使用します。
- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。なお、日本国内でのみ使用できます。
- 5GHz (W52、W53) の周波数帯は、電波法の規定により屋外では使用できません。
- 2.4GHz の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。
 - 1 本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。
 - 3 電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときには、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

無線LAN機能のオン/オフ方法

無線 LAN 機能のオン / オフ方法について説明します。



警告

無線 LAN 機能が搭載されている場合、航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。また、本機に自動的に電源が入る設定をしている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。



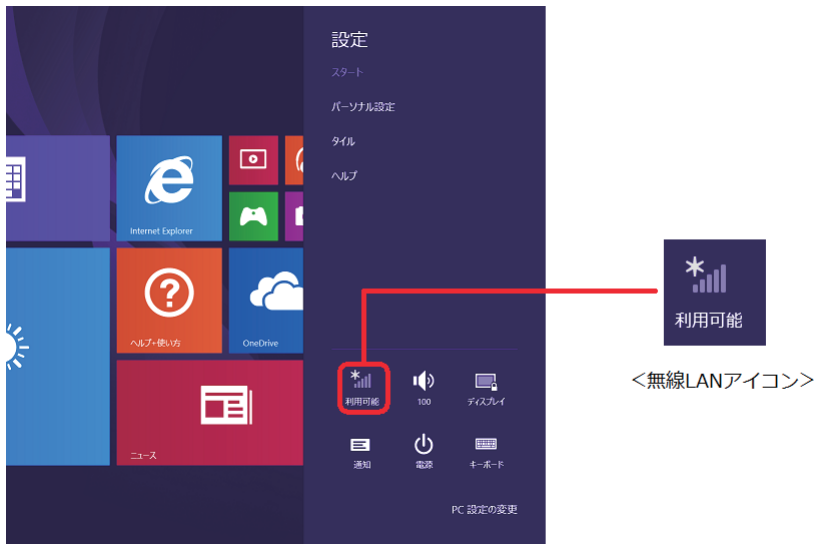
制限

バッテリーのみで本機を使用している場合、無線 LAN 機能がオンになっていると、バッテリー駆動時間が短くなります。無線 LAN を使用しない場合は、無線 LAN 機能をオフにしてください。

無線 LAN 機能のオン / オフは、次の方法で行います。

- 1** 画面外右端から左へスワイプし、チャームを表示します。
- 2** 設定チャームをタップします。

3 設定メニューが表示されたら、「無線 LAN アイコン」をタップします。



※機内モードがオンになっている場合は、次のアイコンが表示されています。



<機内モードアイコン>

4 ネットワークメニューが表示されたら、「Wi-Fi」のバーをタップします。

バーをタップするたびに無線 LAN 機能のオン / オフが切り替わります。



参考

機内モード

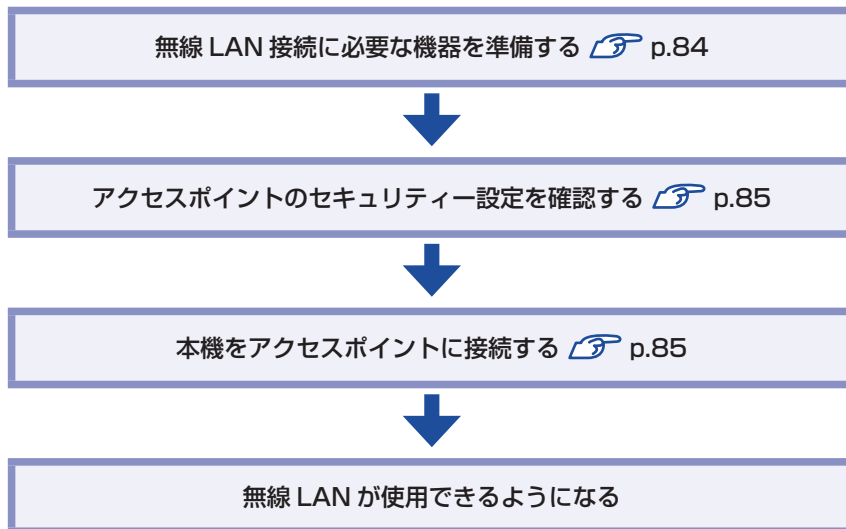
機内モードをオンにすると、すべての無線機能（無線 LAN 機能、Bluetooth 機能）がオフになります。

無線LAN接続の設定をする

ここでは無線 LAN アクセスポイント（以降、アクセスポイント）と本機を無線でつなげる方法（無線 LAN 接続方法）について説明します。

インターネットへの接続は、無線 LAN 接続完了後に、プロバイダーから提供されたマニュアルをご覧ください。

無線 LAN 接続の設定の流れは、次のとおりです。



参考

かんたん接続機能

アクセスポイントによっては、かんたん接続機能で無線 LAN 接続できる場合があります。まずは、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

無線 LAN 接続に必要な機器を準備する

無線 LAN 接続に必要な機器を用意します。

●ブロードバンドモデム（ADSL 用や光ファイバー用の通信装置）

インターネットに接続する場合に必要です。多くの場合、プロバイダーと契約すると貸与されます。

●無線 LAN アクセスポイント

本機と無線で通信するための機器です。本機の対応規格に合ったものを用意してください。ブロードバンドモデムに無線 LAN アクセスポイント機能が内蔵されている場合は不要です。

アクセスポイントとブロードバンドモデムを LAN ケーブルで接続して、電源を入れてください。詳しくは、各機器に添付のマニュアルを参照してください。

アクセスポイントのセキュリティー設定を確認する

無線 LAN は電波を使用して通信するため、第三者に侵入されたり、通信データを盗み見されたりする可能性があります。また、他人のアクセスポイントに誤って本機を接続してしまう可能性もあります。これらのことを防ぐため、アクセスポイントのセキュリティー設定を、本体側にも設定します。

アクセスポイントのマニュアルを参照し、セキュリティー設定(暗号化キー)を確認してください。セキュリティー設定がされていない場合は、マニュアルの手順に従って、設定を行ってください。

本機をアクセスポイントに接続する

アクセスポイント側に設定されている暗号化キーを本機側にも入力し、本機をアクセスポイントに接続します。

この作業は初めて接続するときのほかに暗号化キーを変更したときや、Windows の再インストールをした場合にも行います。

1 本機の無線 LAN 機能をオンにします。

 p.82 「無線 LAN 機能のオン / オフ方法」

2 アクセスポイントに接続します。

- 1 チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「無線 LAN アイコン」 をタップします。



<無線 LAN アイコン>

- 2 ネットワークメニューが表示されたら、接続するアクセスポイントの SSID を選択し、[接続] をタップします。

※ 接続するアクセスポイントの SSID が表示されない場合は、アクセスポイントの状態を確認してください。



<イメージ>

- ③ ネットワークセキュリティキーの入力ボックスが表示されたら、アクセスポイントに設定されている暗号化キーを入力し、[次へ] をタップします。
- ※ PIN 入力画面が表示された場合は、アクセスポイントのラベルに印字された PIN を入力してください。



これで接続作業は完了です。

ネットワークプロファイル

ここで設定した無線 LAN は、「ネットワークプロファイル」として自動的に保存されます。ネットワークプロファイルが作成されていると、次回からは設定を行わずに簡単に無線 LAN に接続することができます。

ネットワーク切替えツールを使う

会社や自宅など、複数のネットワーク環境で本機をご使用の場合、「ネットワーク切替えツール」を使って、接続するネットワークの設定を簡単に切り替えることができます。購入時、ネットワーク切替えツールはインストールされていません。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

アプリ一覧 (p.31) の「おすすめアプリケーションのインストール」

プロファイルの登録

ネットワーク切替えツールでは、ネットワーク環境の設定をプロファイルとして管理します。複数のネットワーク環境をプロファイルに登録して使用します。

※複数の無線 LAN 環境設定を登録できますが、アクセスポイントの切り替えを行うことはできません。

プロファイルを登録する手順は、次のとおりです。
プロファイルの登録は、登録するネットワークに接続した状態で行ってください。

- 1 登録するネットワークに接続します。

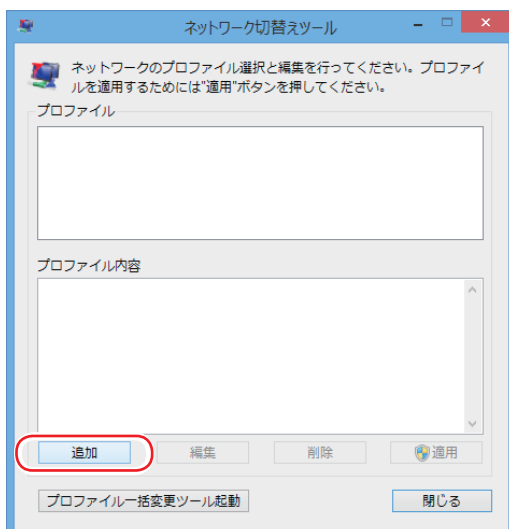
- 2** アプリ一覧 (p.31) の [ネットワーク切替えツール] をタップします。



- 3** 「プロフィールが登録されていません。…」と表示されたら、[OK] をタップします。
プロフィールがない場合にのみ表示されます。

- 4** 「便利な使い方」と表示されたら、記載された手順に従ってデスクトップのタスクバーにアイコン表示を固定させるための作業を行い、[OK] をタップします。

- 5** 「ネットワーク切替えツール」画面が表示されたら、[追加] をタップします。
以降は、画面の指示に従って、プロフィールを登録してください。



プロフィールの切り替え

必要なプロフィールを登録した後は、ネットワークの接続先に応じて、「ネットワーク切替えツール」でプロフィールを切り替えます。
切り替え手順は、次のとおりです。

- 1 切り替えたいネットワークに接続します。
- 2 アプリ一覧 (p.31) の [ネットワーク切替えツール] か、デスクトップにピン留めした「ネットワーク切替えツール」アイコンをタップして、「ネットワーク切替えツール」画面を表示したら、接続したネットワークのプロファイルを選択して、[適用] をタップします。



<タスクバーのネットワーク切替えツールアイコン>

タスクバーの「ネットワーク切替えツール」アイコンをタップアンドホールドして、表示された一覧からプロファイルを選択することもできます。

- 3 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をタップします。
選択したプロファイルのネットワーク設定への切り替えが開始されます。
- 4 「ネットワーク設定の切り替えを完了しました。」と表示されたら、[OK] をタップします。

プロフィール一括変更ツール

ネットワーク切替えツールに登録したプロフィールの情報を一括で変更することができます。「プロフィール一括変更ツール」は、ネットワーク切替えツールに登録したプロフィールの情報を一括で変更するツールです。
「プロフィール一括変更ツール」の起動方法は次の2つです。

- 「ネットワーク切替えツール」を起動して、画面の [プロフィール一括変更ツール起動] をタップ
- 「ネットワーク切替えツール」画面が表示されていないことを確認して、「ネットワーク切替えツール」アイコンをタップアンドホールドして表示された一覧から「プロフィール一括変更ツール」をタップ

プロフィール一括変更ツールが起動したら、画面の指示に従って、プロフィール設定の一括変更を行ってください。

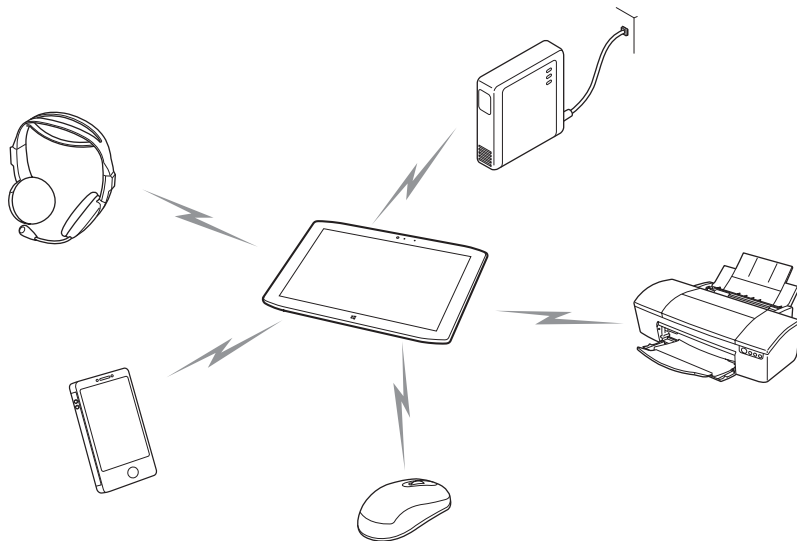


制限

「ネットワーク切替えツール」画面を表示した状態では、プロフィール一括変更ツールを使用できません。

Bluetooth 機能

本機には Bluetooth 機能が搭載されています。
Bluetooth とは、無線の通信方式の 1 つです。Bluetooth 機能を使用して、本機に Bluetooth に対応した周辺機器を接続することができます。



仕様

本機に搭載されている Bluetooth 機能の仕様は、次のとおりです。

規格	周波数帯
Bluetooth 標準規格 Ver. 4.0 + EDR	2.4GHz

Bluetooth機能をお使いの前に



- 航空機や病院など、電波の使用を禁止された区域に本機を持ち込むときは、本機の電源を切るか電波を停止してください。
電波が電子機器や医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。
また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切ってください。
- 医療機関の屋内で本機を使用するときは、次のことを守ってください。
 - ・ 手術室・集中治療室 (ICU)・冠状動脈疾患監視室 (CCU) には、本機を持ち込まない。
 - ・ 病棟内では、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・ 病棟以外の場所でも、付近に医療用電気機器がある場合は、本機の電源を切るか電波を停止する。
 - ・ 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
 - ・ 自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、本機の電源を切る。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合、Bluetooth機能を使用するときは、装着部と本機の間を22cm以上離してください。
電波が、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を及ぼす場合があります。
満員電車など、付近に心臓ペースメーカーを装着している人がいる可能性がある場所では、本機の電源を切るか電波を停止してください。
- Bluetooth機能は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

電波に関する注意

Bluetooth機能は、次の電波に関する注意事項を確認して正しくお使いください。

- ・ 本機の Bluetooth 機能は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。そのため、本機の Bluetooth 機能を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- ・ 本機の Bluetooth 機能は、技術基準適合証明を受けていますので、本機を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- ・ 2.4GHz 付近の電波を通信している無線装置などの近くで通信すると、双方の処理速度が落ちる場合があります。電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところでは、使用しないでください（環境により電波が届かない場合があります）。
- ・ 本機の Bluetooth 機能の使用する電波が、次の機器や無線局と電波干渉するおそれがあります。
 - ・ 産業・科学・医療用機器
 - ・ 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - 1 構内無線局（免許を要する無線局）
 - 2 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

万一、本機の Bluetooth 機能と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または運用を停止（電波の発信を停止）してください。

- Bluetooth と無線 LAN は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、Bluetooth 機能、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。
- 本製品は電波を利用したワイヤレス機器です。本製品を使用する環境によっては通信速度の低下や、接続が一時的に切断されるなどの現象が発生する場合がありますが、故障ではありません。

通信可能な距離



制限

通信可能距離は通信機器間の障害物や電波状況、磁場、静電気、電波障害の発生する場所、使用するアプリ、OS、通信する機器の受信感度、アンテナ性能などによって、変化する可能性があります。通信できない場合は、通信する機器を本機の近くに設置してください。

通信時の確認事項

Bluetooth 機能を使用して通信する際は、次の事項を確認してください。

- 使用する機器が Bluetooth に対応していることを確認してください。
- 本機と使用する機器が通信可能な距離にあることを確認してください。
- 本機と使用する機器が接続可能な状態になっていることを確認してください。
- 本機と使用する機器の Bluetooth 機能が有効になっていることを確認してください。
- 本機と複数の Bluetooth 機器で通信する場合、通信速度が低下する場合があります。

Bluetooth機能のオン/オフ方法

Bluetooth 機能のオン / オフ方法について説明します。

Bluetooth 機能のオン / オフは、PC 設定の画面で行います。

- 1 チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「Bluetooth」をタップし、右側に表示された「Bluetooth」のバーをタップします。バーをタップするたびに Bluetooth 機能のオン / オフが切り替わります。



参考

機内モード

機内モードをオンにすると、すべての無線機能（無線 LAN 機能、Bluetooth 機能）がオフになります。

Bluetooth対応の周辺機器を使用する

マウスやヘッドセットなど、Bluetooth 対応の周辺機器を使用する方法を説明します。

周辺機器の検出・追加

新規で周辺機器を使用する場合、周辺機器を検出して、追加をする必要があります。



参考 パスコード

周辺機器によっては、設定中に、パスコードの入力を促す画面が表示される場合があります。この場合は、周辺機器に添付のマニュアルを参照の上、パスコードを入力してください。

周辺機器を新規で検出・追加する方法は次のとおりです。

- 1 周辺機器を本機の近くに設置します。
- 2 本機と周辺機器の Bluetooth 機能を「オン」にします。



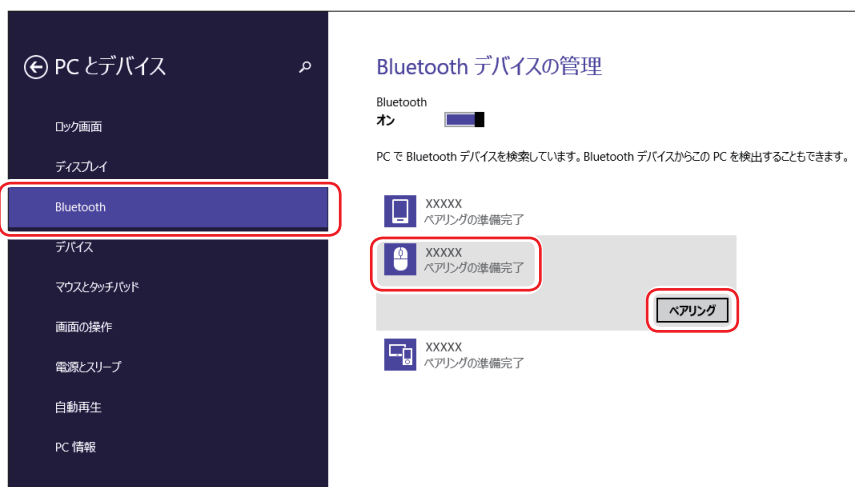
p.91 「Bluetooth 機能のオン / オフ方法」

周辺機器の Bluetooth 機能をオンにする方法は、周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。

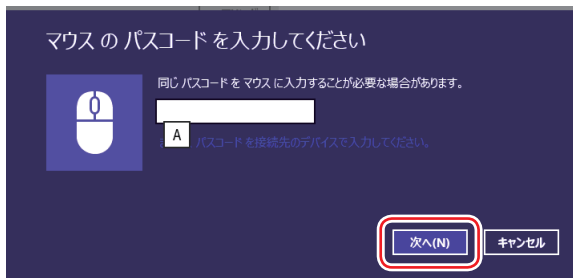
- 3 周辺機器を検出し、デバイスに追加します。

ここでは Bluetooth マウスを例に説明します。

- 1 チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「Bluetooth」 をタップします。
- 2 表示されたデバイス（マウス）を選択し、[ペアリング] をタップします。



- ③ パスコードの入力画面が表示された場合は入力して「次へ」をタップします。
マウス側の設定はマウスのマニュアルをご覧ください。



デバイスに Bluetooth マウスが追加されます。

これで周辺機器の検出・追加は完了です。

周辺機器を使用する

追加が完了すると、周辺機器を使用できるようになります。
一度追加を行うと、次回以降は自動的に周辺機器に接続します。

接続を解除する場合

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「PC とデバイス」 - 「Bluetooth」の一覧に表示されているデバイスを選択し、「デバイスの削除」をタップします。



インターネットを使用する際のセキュリティー対策

本機には、インターネットに接続した際に起こりうる、コンピューターウイルス感染や不正アクセスなどの危険に対する、セキュリティー機能が備えられています。

ここでは、このセキュリティー機能について説明します。インターネットに接続する場合は、コンピューターの安全を守るため、必ずセキュリティー対策を行ってください。

Windows Update

「Windows Update」は、本機の Windows の状態を確認し、Windows の更新プログラムをインターネットからダウンロードしてインストールする機能です。

Windows を最新の状態にするため、Windows Update を行ってください。

自動更新の設定

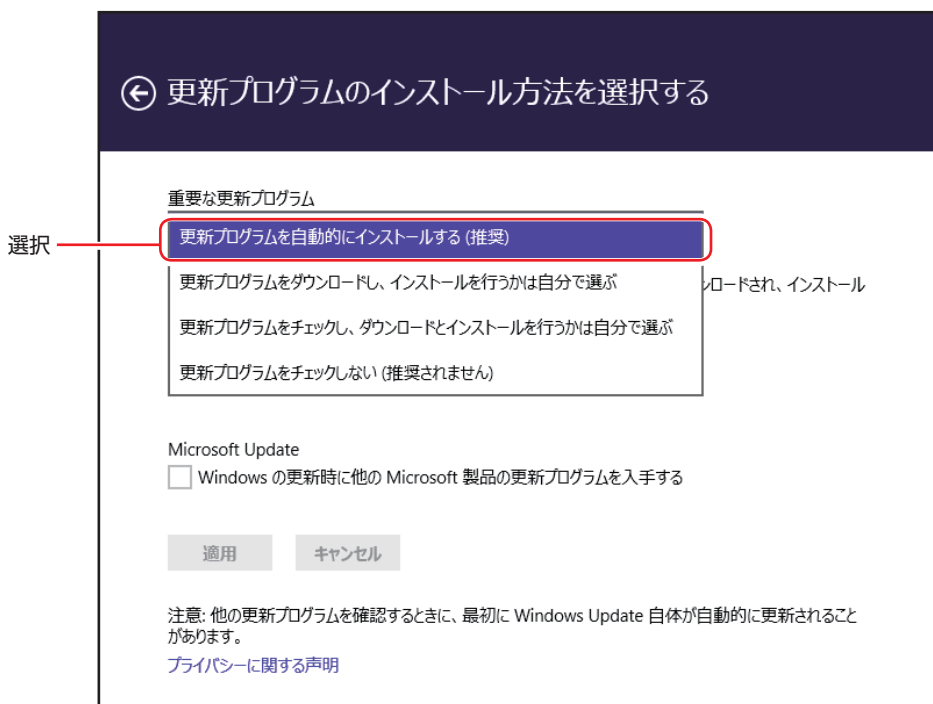
本機を使用する際は、自動で Windows Update が行われるように、自動更新の設定をすることをおすすめします。

自動更新の設定がされていると、更新プログラムのダウンロードとインストールが自動で行われます。

初期状態では、自動更新の設定がされています。そのまま使用してください。

自動更新の設定は、次の場所で行います。

チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「保守と管理」 - 「Windows Update」 - 「更新プログラムのインストール方法を選択する」



「コントロール パネル」で設定することもできます。

【デスクトップ】 - 「設定チャーム」 - 「コントロール パネル」 - 「システムとセキュリティー」 - 「Windows Update」 - 「設定の変更」

セキュリティーアプリ

インターネットに接続する場合は、コンピューターウイルス感染や不正アクセスを防ぐため、セキュリティーアプリを必ず使用してください。

ウイルスバスター クラウド 90 日版を使う

本機には、セキュリティーアプリとして、「ウイルスバスター クラウド 90 日版」が添付されています。

ウイルスバスター クラウド 90 日版のインストール

購入時、ウイルスバスター クラウド 90 日版はインストールされていません。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

アプリ一覧 (p.31) の「おすすめアプリケーションのインストール」

市販のセキュリティーアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、ウイルスバスタークラウド 90 日版をインストールしないでください。

ウイルスバスター クラウド 90 日版の使用方法

ウイルスバスター クラウド 90 日版は、デスクトップの「ウイルスバスター クラウド」アイコンから起動します。



<ウイルスバスター クラウドアイコン>

使用方法は、「ヘルプ」をご覧ください。



ウイルスバスター クラウド 90 日版を一時的に無効にするには

お使いのアプリなどで、ウイルスバスター クラウド 90 日版を「無効」にするよう指示があった場合は、一時的にウイルスバスター クラウド 90 日版の機能を「無効」にします。

機能を「無効」にすると、セキュリティーが確保されなくなります。安全を十分に確認した上で設定し、作業が終わったら、必ず「有効」に戻してください。

ウイルスバスター クラウド 90 日版のアンインストール

市販のセキュリティーアプリを使用する場合や、お使いのソフトウェアなどで指示があった場合には、ウイルスバスター クラウド 90 日版をアンインストールします。

アンインストール方法は、次のとおりです。

1 「デスクトップ」 - 「設定チャーム」 - 「コントロール パネル」 - 「プログラムのアンインストール」をタップします。

2 「プログラムのアンインストールまたは変更」と表示されたら、「ウイルスバスタークラウド」を選択して「アンインストール」をタップします。

以降は画面の指示に従ってアンインストールを行ってください。

90 日の期限が来たら

本機に添付のウイルスバスター クラウドには、一定の有効期間（製品使用開始から 90 日間）が設定されています。

有効期限が切れた場合は、定義ファイルの更新やアプリの自動バージョンアップが行われなくなるため、最新のウイルスやスパイウェアなどの脅威に対応することができなくなり、大変危険です。

90 日の期限が切れた場合は、使用を継続するための更新手続きを行うことをおすすめします。更新は有償になります。更新手続きを行うことにより、最新の脅威に対応することができるようになります。

ウイルスバスター クラウド 90 日版のサポート

正しく動作しない場合など、ウイルスバスター クラウド 90 日版に関するご相談については、下記へお問い合わせください。

※下記のサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

● 電話でのお問い合わせ 受付時間 365 日（年中無休）9:30 ～ 17:30

1. 操作、障害などのお問い合わせ

（インストール / バージョンアップ操作、設定方法、ウイルス、各種トラブル）

0570-019-610

2. ユーザー登録、契約更新のお問い合わせ

（契約更新、入金情報、ユーザー登録情報の確認や変更）

0570-064566

※ 一部の IP(光) 電話や PHS、海外からの発信など、ナビダイヤルをご利用になれない場合はこちらの番号におかけください。03-6738-6063

※ 通話料金はお客さまのご負担となります。

※ 番号のおかけ間違いにご注意ください。

● メールでのお問い合わせ 受付時間 365日(年中無休) 24時間

以下の各種お問い合わせフォームよりお問い合わせください。

- 操作・設定・トラブル バージョンアップ、操作、設定方法、各種トラブル、エラーに関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-ts-step1.aspx>

- ウイルス検出・駆除 ウイルス検出や駆除方法、その他ウイルス情報に関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-ve-step1.aspx>

- 契約更新・登録情報 契約更新、入金情報、ユーザー登録情報の確認や変更に関するお問い合わせ

<https://esupport.trendmicro.com/submitcaseonline/consumer/srf-cs-step1.aspx>

● チャットでのお問い合わせ 受付時間 365日(年中無休) 9:00～21:00

以下のチャットお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

- チャットお問い合わせフォーム


<https://esupport.trendmicro.com/jpprechatform/consumer/chatlogin.aspx>

● トレンドマイクロサポートWEB

<http://tmqa.jp/vbtop/>

市販のセキュリティアプリを使う

市販のセキュリティアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、ウイルスバスタークラウド90日版をアンインストール(削除)してください。

 p.96 「ウイルスバスタークラウド90日版のアンインストール」

Webフィルタリングアプリ

Webフィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを表示しないようにするための技術です。Webフィルタリングを行うと、有害サイトへのアクセスを自動的に制限することができます。

i-フィルター 30日版を使う

本機には、Webフィルタリング機能を持つ「i-フィルター 30日版」が添付されています。家庭内でお子様がコンピューターを使用する際に、有害なサイトへアクセスするのを制限したいときなどは、i-フィルター 30日版を使用することをおすすめします。

i-フィルター 30日版のインストール

購入時、i-フィルター 30日版はインストールされていません。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

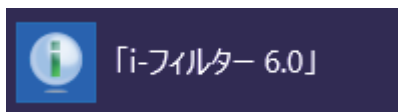
アプリ一覧 (p.31) の「おすすめアプリケーションのインストール」

市販のWebフィルタリングアプリを使用する場合は、アプリ同士の競合を防ぐため、i-フィルター 30日版はインストールしないでください。

i-フィルター 30 日版の申し込み

i-フィルター 30 日版を使用するには、申し込みが必要です。
申し込みはインターネットに接続した状態で行います。

アプリー覧 (p.31) の [i-フィルター 6.0] をタップし、表示された画面の指示に従って、申し込みを行ってください。



参考

ファイアウォール機能による警告画面が表示された場合は

セキュリティーアプリのファイアウォール機能を有効にしている場合、インターネット閲覧時に「i-フィルター 30 日版」でのインターネットアクセスに関する警告が表示されることがあります。

この場合は、「i-フィルター 30 日版」の使用を許可してください。

i-フィルター 30 日版のサポート

i-フィルター 30 日版のサポートは、デジタルアーツ社で行います。
よくあるご質問と回答・サポート窓口・継続利用手続き・サービスページなどについては、デジタルアーツ社の次のホームページをご覧ください。
なお、このサポート情報は、予告なく変更される場合があります。

<http://www.daj.jp/cs/support.htm>

省電力機能



ここでは、本機の省電力機能について説明します。

省電力状態

本機を使用していない間、省電力状態にしておくと、電力の消費を抑えることができます。

省電力状態へ移行する際の注意

省電力状態に移行する際には、次のような注意事項があります。移行する前に確認して正しくお使いください。

- 省電力状態に移行する場合は、万一正常に復帰しない場合に備え、使用中のデータ（作成中の文書やデータなど）は保存しておいてください。
- 次のような場合は、省電力状態に移行しないことがあります。
 - ・ 周辺機器を接続している
 - ・ アプリを起動している
- 次のような場合に省電力状態に移行すると、不具合が発生する可能性があります。省電力状態に移行しないように設定してください。
 -  p.101 「時間経過で移行させない」
 - ・ サウンド機能で録音、再生時：録音や再生が途中で切断される可能性
 - ・ メモリーカードや外部接続記憶装置（USB HDD など）へのデータ書き込み時：データ破損の可能性
 - ・ ネットワーク機能を使っでの通信時：通信が切断される可能性
 - ・ 動画再生時：コマ落ちしたりアプリの動作が遅くなるなどの現象が発生する可能性
- 次のような場合は、省電力状態から正常に復帰できないことがあります。
 - ・ 省電力状態で、周辺機器などの抜き差しを行った場合
 - ・ ネットワーク上のファイルなどを開いたまま省電力状態に移行した場合
- ネットワークに接続している場合に、省電力状態に移行すると、省電力状態からの復帰時にサーバーから切断されてしまうことがあります。
このような場合は、次のいずれかの方法をとってください。
 - ・ 再起動する
 - ・ 省電力状態に移行しないように設定する
 -  p.101 「時間経過で移行させない」

省電力状態の種類

省電力状態には、主に次のようなものがあります。

- ディスプレイの電源を切る
省電力の効果はスリープより低いですが、通常の状態にすぐに復帰できます。

●スリープ

作業内容をメモリーに保存し、コンピューターを低電力の状態にします。通常の状態へは数秒で復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

スリープの状態を設定した時間経過した場合、またはバッテリー残量が設定したパーセンテージまで低下した場合は、自動的にメモリーの内容が eMMC に書き込まれ、本機は「休止状態」になります。

●休止状態

作業内容を eMMC に保存し、コンピューターを低電力の状態にします。シャットダウン状態からよりも早く通常の状態へ復帰できます（使用環境により復帰時間は異なります）。

省電力状態に移行する方法

本機を省電力状態にするには、時間経過で移行する方法と直ちに移行する方法があります。

時間経過で移行する

コンピューターを操作しない状態で時間が経過すると、本機は自動的に省電力状態に移行します。初期値ではまずディスプレイの電源が切れ、そのまま操作しないと続いてコンピューターがスリープになります。

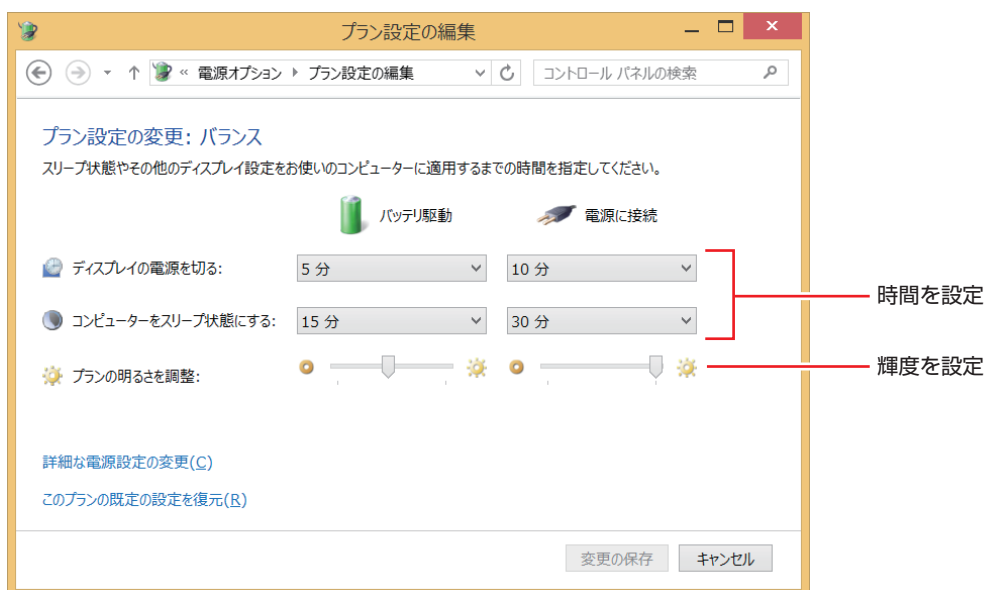
省電力状態に移行する（ディスプレイの電源を切る、コンピューターをスリープ状態にする）までの時間は、次の場所を変更することができます。

簡易設定

チャームを表示 → 「設定チャーム」 → 「PC 設定の変更」 → 「PC とデバイス」 → 「電源とスリープ」

詳細設定

【デスクトップ】 → 「設定チャーム」 → 「コントロール パネル」 → 「システムとセキュリティ」 → 「電源オプション」 → 各プランの「プラン設定の変更」












<イメージ>

時間経過で移行させない

外付け USB HDD に大量のデータを書き込む場合などは、時間経過で省電力状態に移行する設定を無効にします。時間をすべて「なし」に設定してください。

直ちに移行する

次の操作をすると、本機はすぐに省電力状態に移行します。

操作	省電力状態の種類
 +  ( / ) を押す * ¹	ディスプレイの電源切
電源スイッチ () を押す	スリープ
 +  () を押す * ¹	
タブレットを閉じる * ¹	スリープ、休止状態 * ²
スタート画面右上の  から項目を選択する	
チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「電源」から項目を選択する	
画面左下隅でタップアンドホールド - 「シャットダウンまたはサインアウト」から項目を選択する	

*¹ キーボードドック接続時のみ

*² 購入時は、「休止状態」が表示されません。表示させるには、次の設定を行います。

[デスクトップ] - 「設定チャーム」 - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「電源オプション」 - 「電源ボタンの動作を選択する」 - 「現在利用可能ではない設定を変更します」 - 「シャットダウン設定」の「休止状態」にチェック [変更の保存] をタップ

省電力状態からの復帰方法

本機を省電力状態から通常の状態に復帰させる方法は、次のとおりです。

省電力状態	復帰方法
ディスプレイの電源切	<ul style="list-style-type: none">● 画面にタッチする● キーボードを操作する *
スリープ	<ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチを押す● キーボードを操作する *● タブレットを開く *
休止状態	電源スイッチを押す

* キーボードドック接続時のみ

Endeavor電源プラン設定ツール

本機には節電設定を行うための「Endeavor 電源プラン設定ツール」が添付されています。Endeavor 電源プラン設定ツールでは、3つのおすすめ電源プランや、お客様ご自身で新規に作成するプランの中から、使い方に合った節電プランを設定することができます。詳しくは、次の場所をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 21091

インストール

Endeavor 電源プラン設定ツールを使用するには、インストールが必要です。使用する場合は、次の場所からインストールしてください。

アプリ一覧 (p.31) の「おすすめアプリケーションのインストール」

プランの変更方法

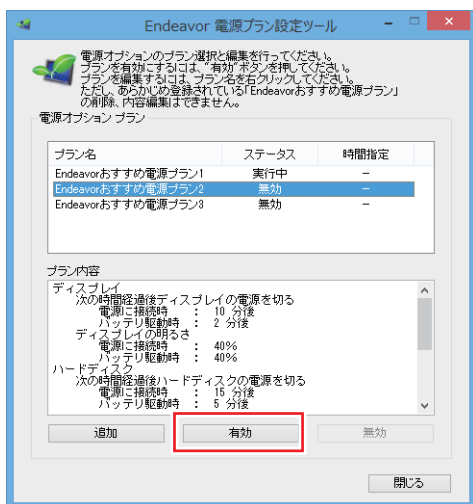
Endeavor 電源プラン設定ツールをインストールすると、「Endeavor おすすめ電源プラン1」が有効になります。必要に応じて、「Endeavor 電源プラン設定ツール」画面で設定を変更してください。

変更方法は、次のとおりです。

- 1 アプリ一覧 (p.31) の [Endeavor 電源プラン設定ツール] をタップします。



- 2 変更したいプランを選んで [有効] をタップします。



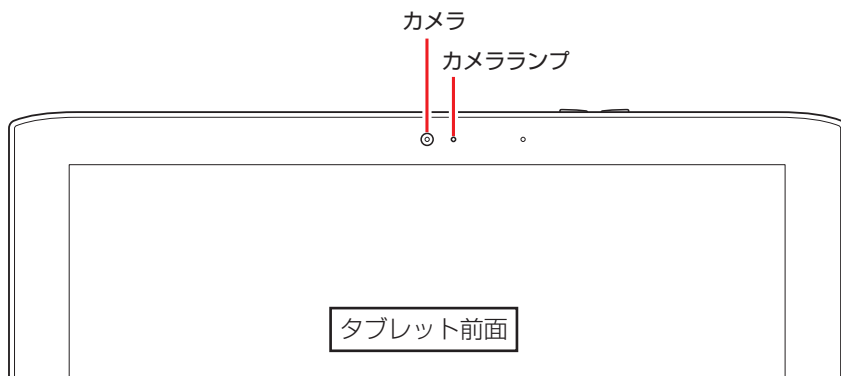
おすすめプランの内容や新規プラン作成方法は、次の場所をご覧ください。



[PC お役立ちナビ] - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 21091

カメラを使う

タブレット前面には、カメラが搭載されており、写真や動画を撮影することができます。カメラアプリを起動して、カメラがオンになると、カメラランプが点灯します。



制限

- カメラのレンズ周辺には触れないでください。汚れや傷がつくと、撮影する画像が劣化します。
- カメラを太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。電源切状態でも向けないでください。

カメラアプリを使う

本機には、カメラ機能を使用するアプリとして、次の2つが添付されています。

●カメラ

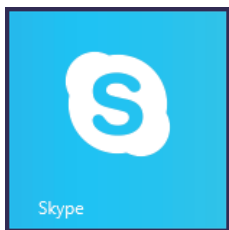


カメラで撮影を行うためのアプリです。起動して画面上をタップすると、撮影ができます。

※ 省電力状態からの復帰時などに表示されるロック画面(p.26)を下にスワイプして起動することもできます。

撮影した写真や動画は、「ピクチャ」の「カメラロール」に保存されます。

●Skype



Skype はインターネット経由で通話やチャットができるアプリです。

Skype の使用方法の詳細は、Skype のヘルプをご覧ください。



2

UEFI の設定

コンピュータの基本状態を管理しているプログラム「UEFI」の設定を変更する方法について記載しています。

UEFI の設定を始める前に.....	106
UEFI Setup ユーティリティーの操作.....	107
UEFI Setup ユーティリティーの設定項目.....	118

UEFI の設定を始める前に



当社製以外の UEFI を使用すると、Windows が正常に動作しなくなる場合があります。当社製以外の UEFI へのアップデートは絶対に行わないでください。

UEFI は、コンピューターの基本状態を管理しているプログラムです。このプログラムは、マザーボード上に ROM として搭載されています。

UEFI の設定は「UEFI Setup ユーティリティ」で変更できますが、購入時のシステム構成に合わせて最適に設定されているため、通常は変更する必要はありません。UEFI の設定を変更するのは、次のような場合です。

- 本書やお使いの装置のマニュアルで指示があった場合
- パスワードを設定する場合
- マザーボード上の機能を有効 / 無効にする場合

UEFI の設定値を間違えると、システムが正常に動作しなくなる場合があります。設定値をよく確認してから変更を行ってください。

UEFI Setup ユーティリティで変更した内容は CMOS RAM と呼ばれる特別なメモリー領域に保存されます。このメモリーは電池によってバックアップされているため、本機の電源を切ったり、再起動しても消去されることはありません。

動作が不安定になったら

設定値を変更して本機の動作が不安定になった場合は、設定値を戻すことができます。

 p.112 「Load Optimized Defaults (UEFI の初期値に戻す)」

 p.112 「Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)」

UEFI Setup ユーティリティの操作

ここでは、「UEFI Setup ユーティリティ」の次の操作方法について説明します。

- 基本操作（起動、操作、終了）
- 設定値を元に戻す
- パスワードを設定する
- HDD アクセス制限

UEFI Setupユーティリティの起動

本機の電源を入れる前に、音量調整ボタン（p.75）の **—** の位置を確認してください。**2** では、すばやく **—** を押す必要があります。キーボードで操作する場合は、キーボードの **[F2]** の位置を確認してください。

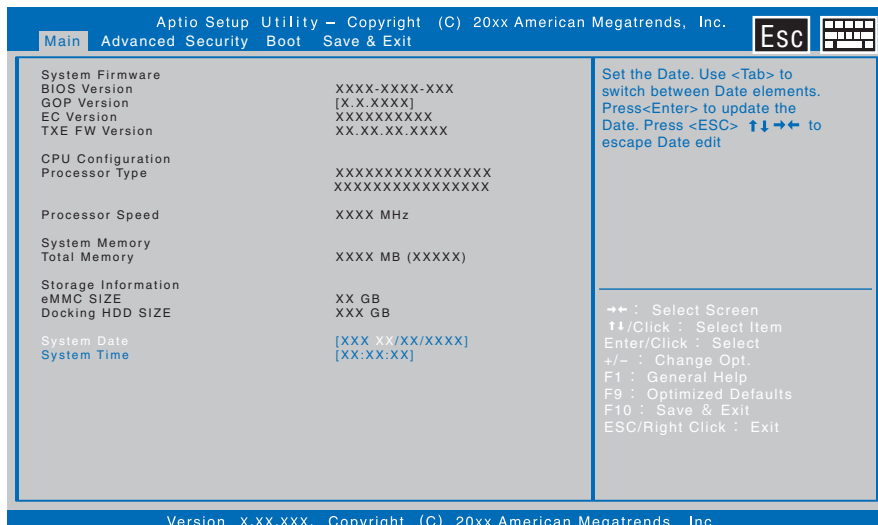
1 本機の電源を入れます。

すでに Windows が起動している場合は、再起動します。

2 本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐに音量調節ボタンの **—** を押し続けてください。

キーボードで操作する場合は、本機の起動直後、黒い画面の中央に「EPSON」と表示されたら、すぐに **[F2]** を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。

3 「UEFI Setup ユーティリティ」が起動して「Main」メニュー画面が表示されたら、音量調節ボタンを離します。



< UEFI Setup ユーティリティ画面 (イメージ) >

UEFI Setupユーティリティーの操作

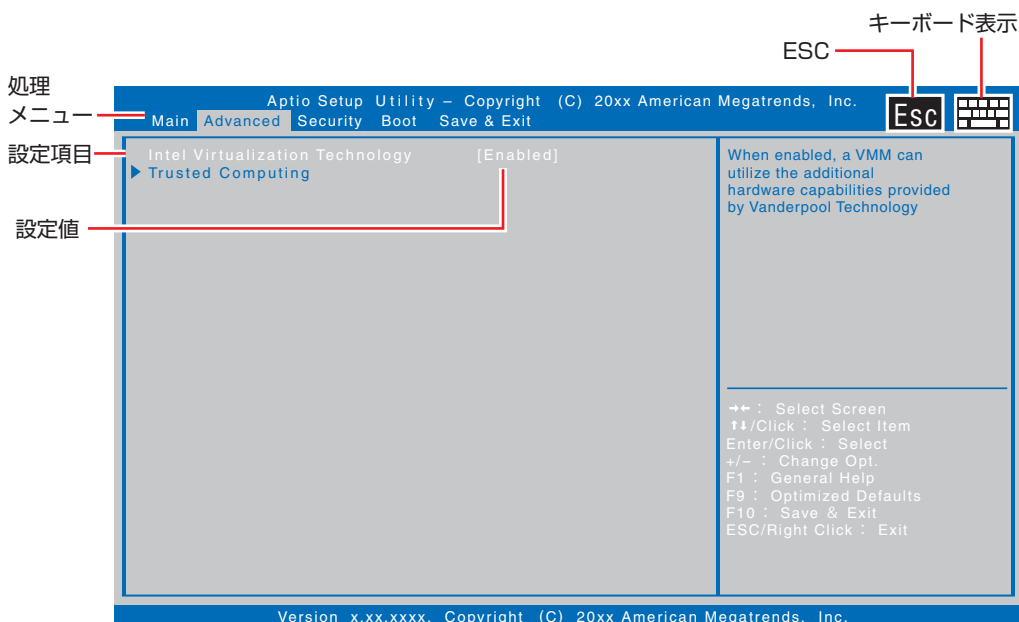
「UEFI Setup ユーティリティー」の操作方法を説明します。

ここで説明している画面はイメージです。実際の設定項目とは異なります。

各メニュー画面と設定項目の説明は、[👉 p.118 「UEFI Setup ユーティリティーの設定項目」](#)をご覧ください。

画面の構成

UEFI Setup ユーティリティーには、処理メニューに表示された「メニュー画面」と、設定項目によって表示される「サブメニュー画面」、設定値を変更する際に表示される「選択ウィンドウ」があります。



<メニュー画面>

画面右上のアイコンをタップすると、画面にキーボードを表示できます。

[ESC] をタップすると、前の画面に戻ります。

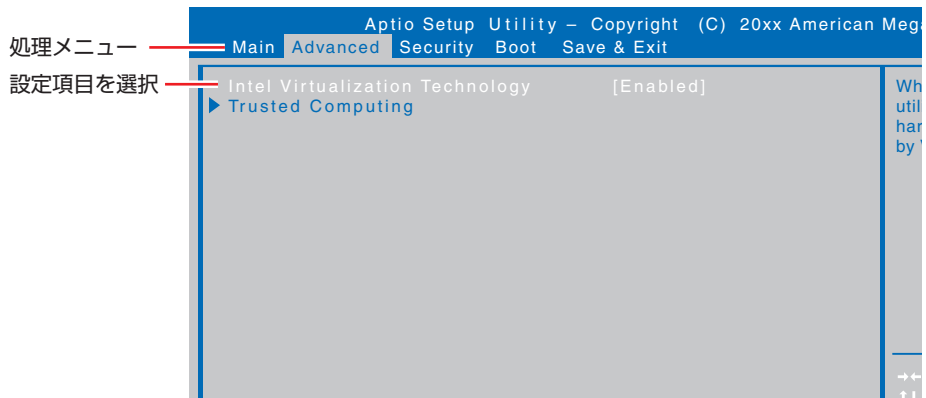
操作方法

UEFI Setup ユーティリティの操作方法是次のとおりです。

画面右上のアイコンからキーボードを起動して操作することもできます。また、キーボードドックでも操作可能です。


- 1 変更したい設定項目のあるメニューを、処理メニューから選択（タップ）し、設定項目を選択（タップ）します。

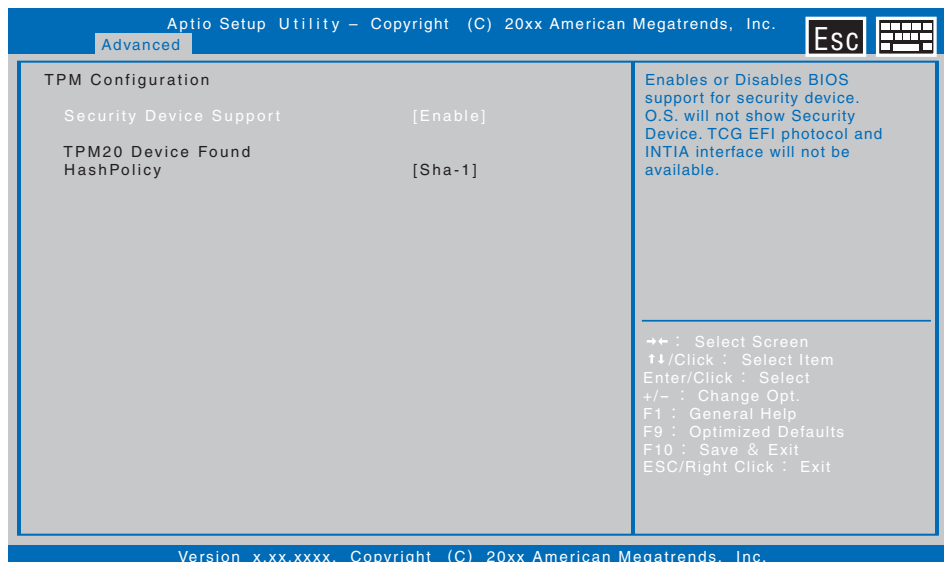
キーボードで操作する場合は、    で項目を選択し、 で決定します。



<メニュー画面>

サブメニュー画面

設定項目によっては、項目をタップすると、サブメニュー画面が表示される場合があります。キーボードの場合は、項目を選択し、 を押すと、表示されます。



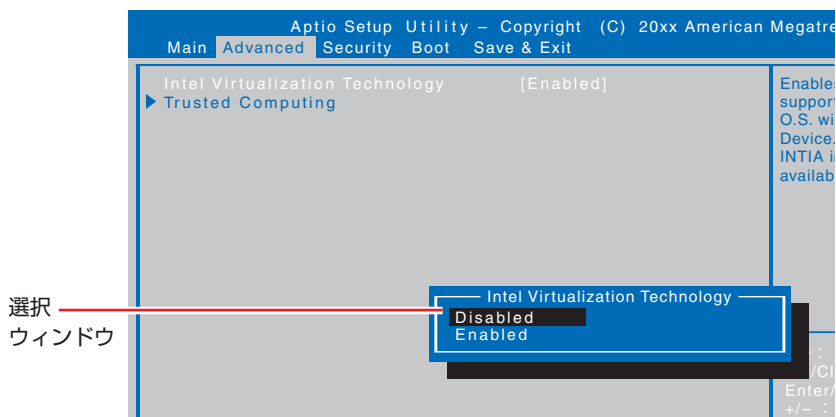
<サブメニュー画面>

サブメニュー画面からメニュー画面に戻るには、画面右上の [ESC] をタップします。














2 設定値を選択するウィンドウが表示されたら、選択（タップ）して決定します。

キーボードの場合は、  で項目を選択し、 を押します。



キーボードでの操作

キーボードドックを接続して画面操作する場合の、キーの機能は次のとおりです。

キー	操作できる内容
	<ul style="list-style-type: none">変更した内容を破棄し、終了します。サブメニュー画面からメニュー画面に戻ります。
 , 	設定を変更する項目を選択します。
 , 	処理メニューを選択します。
 , 	項目の値を変更します。
	<ul style="list-style-type: none">サブメニュー画面を表示します。選択項目の選択ウィンドウを表示します。設定値を選択します。
	ヘルプを表示します。
	全設定項目の値を、UEFI の初期値に戻します。
	変更した設定値を保存して終了します。

UEFI Setupユーティリティの終了

「UEFI Setup ユーティリティ」を終了するには、次の2つの方法があります。

Save Changes and Reset (変更した内容を保存し終了する)

変更した設定値を保存して、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 - 「Save Changes and Reset」を選択 (タップ) すると、次のメッセージが表示されます。

キーボードの場合は、**[F10]** を押します。

Save & reset	
Save configuration and reset?	
Yes	No

- 2 **[Yes]** を選択 (タップ) します。

キーボードの場合は、**[Yes]** を選択し、**[↵]** を押します。

「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

Discard Changes and Reset (変更した内容を破棄し終了する)

変更した設定値を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 - 「Discard Changes and Reset」を選択 (タップ) すると、次のメッセージが表示されます。

キーボードの場合は、**[Esc]** を押します。

Reset Without Saving	
Reset without saving?	
Yes	No

- 2 **[Yes]** を選択 (タップ) します。

キーボードの場合は、**[Yes]** を選択し、**[↵]** を押します。

「UEFI Setup ユーティリティ」が終了し、Windows が起動します。

設定値を元に戻す

「UEFI Setup ユーティリティ」の設定を間違えてしまい、万一、本機の動作が不安定になってしまった場合などには、設定値を UEFI の初期値や前回保存した値に戻すことができます。

Load Optimized Defaults (UEFI の初期値に戻す)

設定値を UEFI の初期値に戻す方法は、次のとおりです。

※「Security」メニュー画面のパスワードに関する項目を UEFI の初期値に戻すことはできません。

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 - 「Load Optimized Defaults」を選択 (タップ) すると、次のメッセージが表示されます。

キーボードの場合は、 を押します。

Load optimized Defaults	
Load Optimized Defaults?	
Yes	No

- 2 [Yes] を選択 (タップ) します。

キーボードの場合は、[Yes] を選択し、 を押します。

これで設定値が「UEFI の初期値」に戻ります。

Discard Changes (前回保存した設定値に戻す)

設定値を前回保存した値に戻す方法は、次のとおりです。

- 1 「Save & Exit」メニュー画面 - 「Discard Changes」を選択 (タップ) すると、次のメッセージが表示されます。

Load Previous Values	
Load Previous Values?	
Yes	No

- 2 [Yes] を選択 (タップ) します。

キーボードの場合は、[Yes] を選択し、 を押します。

これで設定値が「前回保存した値」に戻ります。

パスワードを設定する

「Security」メニュー画面でパスワードを設定すると、UEFI や Windows の起動時にパスワードを要求されるようになります。パスワードの設定は、次のような場合に行います。

- 本機を使用するユーザーを制限したいとき
- パスワードを設定しないと使用できない機能を使いたいとき
(HDD アクセス制限など)

パスワードの種類

パスワードには次の 2 種類があります。

- Administrator Password (管理者パスワード)
コンピューターの管理者用のパスワードです。管理者パスワードで UEFI にログオンした場合は、すべての項目の閲覧と変更が可能です。
- User Password (ユーザーパスワード)
一般ユーザー用のパスワードです。ユーザーパスワードで UEFI にログオンした場合は、項目の閲覧や変更が制限されます。

パスワードの設定方法

パスワードの設定方法を説明します。



設定したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。パスワードを忘れると、UEFI の設定変更や、設定によっては Windows の起動ができなくなります。

管理者パスワードの設定

管理者パスワードの設定方法は、次のとおりです。
管理者パスワードを設定すると、ユーザーパスワードが設定できるようになります。



- 1** 「Security」メニュー画面 - 「Set Administrator Password」を選択 (タップ) すると、次のメッセージが表示されます。

Create New Password

- 2** パスワードを入力します。
「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。パスワードとして使用できるのは英数字だけです。パスワードは 16 文字まで入力可能です。
キーボードドックを使用しているときは、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。



- 3** **Ent** をタップすると、次のメッセージが表示されます。もう一度同じパスワードを入力し、**Ent** をタップします。


キーボードの場合は、 を押します。次のメッセージが表示されたら、もう一度同じパスワードを入力し、 を押します。

Confirm New Password

同じパスワードを入力しないと、「ERROR」というメッセージが表示されます。[Ok] をタップし、**1** からやりなおしてください。

パスワードの設定が完了すると、ユーザーパスワードなどの新しい設定項目が表示されます。

ユーザーパスワードの設定

ユーザーパスワードは、 p.113「管理者パスワードの設定」- **1** で「Set User Password」を選択し、管理者パスワードと同じ手順で設定します。

パスワードの削除方法

パスワードの削除方法は、次のとおりです。

管理者パスワードを削除する場合は、管理者パスワードでUEFIにログオンしてください。

※ユーザーパスワードを設定している場合、管理者パスワードを削除すると、自動的にユーザーパスワードも削除（解除）されます。

- 1** 「Security」メニュー画面- 「Set Administrator Password」を選択（タップ）すると、次のメッセージが表示されます。


ユーザーパスワードを削除する場合は、「Set User Password」を選択します。

Enter Current Password

- 2** 設定しているパスワードを入力して **Ent** をタップすると、次のメッセージが表示されます。

キーボードの場合は、設定しているパスワードを入力して  を押します。

Create New Password

- 3** 何も入力せずに **Ent** をタップすると、次のメッセージが表示されます。
キーボードの場合は  を押します。

WARNING	
Clear Old Password. Continue?	
Yes	No

- 4** [Yes]をタップして決定します。

HDDアクセス制限

キーボードドックに HDD が搭載されている場合、HDD へのアクセス制限を設定することができます。

HDD アクセス制限を設定すると、次の状態になります。

- UEFI や Windows 起動時、休止状態からの復帰時にパスワードを要求される
- HDD をほかのコンピューターに接続した場合、認識されなくなる

HDD への無断アクセスや、万が一 HDD が盗難にあった場合の情報流出を防ぎたいときは、HDD アクセス制限を設定します。

HDD アクセス制限の設定 / 解除方法

HDD アクセス制限の設定 / 解除方法を説明します。

！ 制限

- パスワードを忘れてしまうと、アクセス制限を設定した HDD は使用できなくなります。登録したパスワードは絶対に忘れないようにしてください。
- HDD アクセス制限が設定されている状態でキーボードドックを取り外すと、再度接続した際に HDD が認識されなくなります。この場合は、キーボードドックを接続した状態で再起動してください。

設定方法

HDD アクセス制限の設定方法は次のとおりです。

- 1** 本機の電源を切ります。

一度電源を切らないと、HDD アクセス制限は正常に設定できません。
必ず電源を切ってから設定を行ってください。

Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。通常の「シャットダウン」で終了すると、機器が認識されなくなる場合があります。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」 - 「保守と管理」 - 「回復」 - 「PC の起動をカスタマイズする」の [今すぐ再起動する] をタップします。
- 2** 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択（タップ）します。
Windows が終了します。





- 2 本機の電源を入れ、「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。
- 3 「Security」メニュー画面 – 「Docking HDD Security Configuration」 – 「Set HDD Password」を選択（タップ）すると、次のメッセージが表示されます。

 p.119 「Security メニュー画面」

— Create New Password —

- 4 パスワードを入力します。
「*」が表示されない文字は、パスワードとして使用できません。パスワードとして使用できるのは英数字だけです。パスワードは 32 文字まで入力可能です。
キーボードドックを使用しているときは、キーボードの入力モードに注意してください。たとえば、数値キー入力モードでパスワードを設定し、起動時に数値キー入力モードではない状態でパスワードを入力するとエラーになります。
- 5 **Ent** をタップすると、次のメッセージが表示されます。もう一度同じパスワードを入力し、**Ent** をタップします。

キーボードの場合は、 を押します。次のメッセージが表示されたら、もう一度同じパスワードを入力し、 を押します。

— Confirm New Password —

同じパスワードを入力しないと、「ERROR」というメッセージが表示されます。[OK] をタップし、**3** からやりなおしてください。

- 6 UEFI Setup ユーティリティを終了します。
- 7 Windows が起動したら、本機の電源を切ります。

最後に電源を切らないと、設定が有効になりません。
Windows を終了するときは、必ず **1** の方法で行ってください。

解除方法

HDD アクセス制限の解除方法は次のとおりです。

- 1 本機の電源を切ります。
一度電源を切らないと、HDD アクセス制限は正常に設定できません。
必ず電源を切ってから設定を行ってください。

Windows を終了するときは、必ず次の方法で行ってください。通常の「シャットダウン」で終了すると、機器が認識されなくなる場合があります。

- 1 チャームを表示 – 「設定チャーム」 – 「PC 設定の変更」 – 「保守と管理」 – 「回復」 – 「PC の起動をカスタマイズする」の [今すぐ再起動する] をタップします。
- 2 表示されたメニューで「PC の電源を切る」を選択（タップ）します。
Windows が終了します。

2 本機の電源を入れ、「UEFI Setup ユーティリティ」を起動します。

3 「Security」メニュー画面 – 「Docking HDD Security Configuration」 – 「Set HDD Password」を選択（タップ）すると、次のメッセージが表示されます。

 p.119 「Security メニュー画面」


Enter Current Password

4 設定しているパスワードを入力して **Ent** をタップすると、次のメッセージが表示されます。

キーボードの場合は、設定しているパスワードを入力して  を押します。

Create New Password

5 何も入力せずに **Ent** をタップすると、次のメッセージが表示されます。

キーボードの場合は  を押します。

WARNING	
Clear Old Password. Continue?	
Yes	No

6 [Yes] をタップして決定します。

7 UEFI Setup ユーティリティを終了します。

8 Windows が起動したら、本機の電源を切ります。

最後に電源を切らないと、設定が有効になりません。

Windows を終了するときは、必ず **1** の方法で行ってください。

UEFI Setup ユーティリティの設定項目

ここでは、UEFI Setup ユーティリティで設定できる項目と、設定方法などについて説明します。UEFI Setup ユーティリティのメニュー画面には、次の5つのメニューがあります。

- Main メニュー画面
日付、時間の設定を行います。
- Advanced メニュー画面
セキュリティーチップ (TPM) に関する設定をします。
- Security メニュー画面
パスワードに関する設定や、セキュアブートの設定を行います。
- Boot メニュー画面
システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。
- Save & Exit メニュー画面
UEFI Setup ユーティリティを終了したり、UEFI の設定値を初期値に戻します。

Mainメニュー画面

「Main」メニュー画面では、日付、時間などの設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

*は項目表示のみ

System Firmware	*BIOS Version	UEFI のバージョン
	*GOP Version	GOP (グラフィックス出力プロトコル) ドライバーのバージョン
	*EC Version	EC ファームウェアのバージョン
	*TXE FW Version	TXE ファームウェアのバージョン
CPU Configuration	*Processor Type	本機に搭載されている CPU のタイプを自動的に表示します。
	*Processor Speed	本機に搭載されている CPU の周波数を自動的に表示します。
System Memory	*Total Memory	メモリー容量を起動時に自動的に計算して表示します。
Storage Information	*eMMC SIZE	本機に搭載されている eMMC の容量を表示します。
	*Docking HDD SIZE	キーボードドックに搭載されている HDD の容量を表示します。
System Date		日付を設定します。(曜日 月/日/年) の順で表示されています。
System Time		時刻を設定します。(時:分:秒) の順で表示されています。

Advancedメニュー画面

「Advanced」メニュー画面では、セキュリティーチップ（TPM）の設定を行います。設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
*は項目表示のみ

Intel Virtualization Technology		Intel Virtualization Technology の有効 / 無効を設定します。 Disabled: 無効にします。 Enabled: 有効にします。
Trusted Computing		セキュリティーチップ（TPM）に関する設定をします。
TPM Configuration	Security Device Support	セキュリティーチップ（TPM）を使用するかどうかを設定します。 Disable: 使用しません。 Enable: 使用します。
	TPM20 Device Found HashPolicy	購入時の設定 [Sha-1] のままで使用します。


Securityメニュー画面

「Security」メニュー画面では、パスワードに関する設定や、セキュアブートの設定を行います。パスワードの設定方法は、[p.113](#) 「パスワードを設定する」をご覧ください。

設定項目は、次のとおりです。

■ は初期値
*は項目表示のみ

Set Administrator Password	管理者パスワードの設定や変更、削除を行います。
*Administrator Password/ User Password	Administrator Password(管理者パスワード)と User Password(ユーザーパスワード) が設定されているかどうかを表示します。 NOT INSTALLED: パスワードが設定されていません。 INSTALLED: パスワードが設定されています。
Password Check ※ 管理者パスワードを設定すると表示されます。	パスワード入力を要求するタイミングを設定します。 Always: UEFI や Windows 起動時、休止状態から復帰時にパスワード入力を要求します。 Setup: UEFI 起動時にパスワード入力を要求します。
Secure Boot menu	セキュアブートに関する設定をします。
*System Mode	システムモードの状態が表示されます。 User: セキュアブートのキーが適用されています。 Setup: セキュアブートのキーが適用されていません。
*Secure Boot	セキュアブートの状態が表示されます。
Secure Boot	セキュアブートの設定をします。購入時の設定[Enabled]のままで使用します。
Secure Boot Mode	セキュアブートのモード設定をします。 [Custom] に設定すると、詳細設定を行うことができます。 ※ 設定は PC 管理者の指示に従って行ってください。指示がない場合は設定を変更せずにそのままお使いください。
Key Management	セキュアブートのキーを管理します。 ※ 「Secure Boot Mode」を [Custom] にすると設定できます。

Docking HDD Security Configuration		HDD へのアクセス制限を設定します。  p.115 「HDD アクセス制限」
※ キーボードドックに HDD が搭載されている場合に表示されます。		
Docking HDD Security Configuration	*Security Supported	搭載されている HDD がハードディスクセキュリティ機能に対応しているかを表示します。
	*Security Enabled	HDD へのアクセス制限が設定されているかを表示します。
	*HDD Password Status	HDD Password (ハードディスクパスワード) が設定されているかどうかを表示します。 NOT INSTALLED : パスワードが設定されていません。 INSTALLED : パスワードが設定されています。
Set HDD Password		HDD Password (ハードディスクパスワード) の設定や変更、削除を行います。

Bootメニュー画面

「Boot」メニュー画面では、システムの起動 (Boot) に関する設定を行います。
設定項目は、次のとおりです。

Boot Option Priorities	Boot Option #1	1 番目に起動するデバイスを設定します。 初期値は「Windows Boot Manager (eMMC)」です。
------------------------	----------------	--

Save & Exitメニュー画面

「Save & Exit」メニュー画面では、UEFI Setup ユーティリティを終了したり、設定を初期値に戻したりします。
設定項目は、次のとおりです。

Save Changes and Reset	変更した内容 (設定値) を保存してから、UEFI Setup ユーティリティを終了します。
Discard Changes and Reset	変更した内容 (設定値) を保存せずに、UEFI Setup ユーティリティを終了します。
Discard Changes	変更した設定値を前回保存した設定値に戻します。
Load Optimized Defaults	設定を、初期値に戻します。 ※ 「Security」メニュー画面のパスワードに関する項目は、初期値に戻すことができません。

UEFIの設定値

UEFI Setup ユーティリティで設定を変更した場合は、変更内容を下表に記録しておく便利です。購入時の設定は必ず記録してください。

Advanced メニュー画面

項 目		購入時の設定		変更内容	
Intel Virtualization Technology		Disabled	Enabled	Disabled	Enabled
Trusted Computing	Security Device Support	Disable	Enable	Disable	Enable

Security メニュー画面

項 目	購入時の設定	変更内容
Administrator Password		
User Password		
HDD Password		

Boot メニュー画面

項 目		購入時の設定	変更内容
Boot Option Priorities	Boot Option #1		



3



再インストール

Windows やドライバー / アプリを再インストールする手順について説明します。

再インストールの前に	124
PC をリフレッシュする	125
すべてを削除して Windows を再インストールする ...	126

再インストールの前に

再インストールとは、Windows やドライバー / アプリを入れなおすことを言います。
再インストール方法は、次の 2 つです。目的や状況に応じた方法を選択してください。

	名称	こんなときに実行します	実行後に残るデータ	実行後に削除されるデータ
1	PC をリフレッシュする  p.125	<ul style="list-style-type: none">● Windows の動作が不安定になったとき● Windows が正常に起動しないとき	<ul style="list-style-type: none">● 購入時にインストールされていたドライバー、Windows アプリ、Windows ストア アプリ● 購入後にダウンロードした Windows ストア アプリ● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）● 個人用設定● Windows Update でダウンロードした更新プログラム	<ul style="list-style-type: none">● 購入後にインストールした Windows アプリ
2	すべてを削除して Windows を再インストールする  p.126	<ul style="list-style-type: none">● 1 を行っても問題が改善しない場合● インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、購入時の状態に戻りたい場合	<ul style="list-style-type: none">● 購入時にインストールされていたドライバー、Windows アプリ、Windows ストア アプリ	<ul style="list-style-type: none">● 購入後にダウンロードした Windows ストア アプリ● 個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）● 個人用設定● 購入後にインストールした Windows アプリ● Windows Update でダウンロードした更新プログラム

1、2 を実行できない、実行しても問題が改善されない場合は、回復ドライブを使用して Windows の再インストールを行うことができます。

※ 事前に外付け USB 機器に回復ドライブを作成していた場合のみ実行できます。

※ キーボードドックに HDD が搭載されている場合、データ消去を防ぐため、回復ドライブ作成時はキーボードドックを取り外してください。

回復ドライブから Windows の再インストールを行う方法については、次の場所をご覧ください。



【PC お役立ちナビ】 - 画面下 【ユーザーサポート】 - FAQ 番号：27621

PC をリフレッシュする

Windows が正常に起動できないときや動作が不安定になった場合には、PC をリフレッシュします。

PCをリフレッシュする方法

PC をリフレッシュする場合は、状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。
※リフレッシュは、AC アダプターを接続して行ってください。

Windows が起動できる場合

Windows が起動できる場合は、設定メニューで PC をリフレッシュしてください。

- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」をタップします。
- 2** 「PC 設定」画面が表示されたら、左側の「保守と管理」 - 「回復」をタップし、右側に表示された「PC をリフレッシュする」の【開始する】をタップします。
- 3** 「PC のリフレッシュ」と表示されたら、【次へ】をタップします。
- 4** 「再インストールする必要があるアプリ」と表示された場合は、【次へ】をタップします。
- 5** 「PC をリフレッシュする準備ができました」と表示されたら、【リフレッシュ】をタップします。

本機が再起動し、リフレッシュが開始されます。リフレッシュには約 20 分かかります。
リフレッシュが終了すると、スタート画面が表示されます。
必要に応じて、削除された Windows アプリをインストールしてください。

Windows が起動できない場合

Windows が起動できない場合は、eMMC 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で PC をリフレッシュしてください。

 p.138 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」

すべてを削除して Windows を再インストールする

次のような場合は、すべてを削除して Windows を再インストールします。

- 「PC をリフレッシュする」を行っても問題が改善しない場合
- インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、購入時の状態に戻りたい場合

バックアップを取る

C ドライブの設定やデータは、Windows の再インストールを行うと消えてしまいます。可能な場合は、再インストールの前に、設定を書き写したり、バックアップを行ってください。

すべてを削除して Windows を再インストールする方法

すべてを削除して Windows を再インストールする場合は、状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

※ 再インストールは、AC アダプターを接続して行ってください。

Windows が起動できる場合

Windows が起動できる場合は、設定メニューで再インストールを行ってください。


- 1** チャームを表示 - 「設定チャーム」 - 「PC 設定の変更」をタップします。
- 2** 「PC 設定」画面が表示されたら、左側の「保守と管理」 - 「回復」をタップし、右側に表示された「すべてを削除して Windows を再インストールする」の「開始する」をタップします。
- 3** 「PC を初期状態に戻す」と表示されたら、[次へ] をタップします。
- 4** 「PC に複数のドライブがあります」と表示された場合は、「Windows がインストールされているドライブのみ」を選択します。
- 5** 「ドライブを完全にクリーンアップしますか?」と表示されたら、「ファイルの削除のみ行う」を選択します。
- 6** 「PC を初期状態に戻す準備ができました」と表示されたら、[初期状態に戻す] をタップします。
本機が再起動し、再インストールが開始されます。再インストールには約 10 分かかります。再インストール中はキーボードやタッチパッドを操作しないでください。
- 7** 「ライセンス条項」と表示されたら、画面に表示された内容を確認し、[同意します] をタップします。

- 8** 「パーソナル設定」と表示されたら、色を選択、PC 名を入力し、[次へ] をタップします。
※ PC 名は半角英数字を入力してください。
- 9** 「オンラインに接続」と表示された場合は、接続するネットワークを選択して、[次へ] をタップします。
※ 無線 LAN 接続を行わない場合は、「この手順をスキップする」をタップしてください。
- 10** 「設定」と表示されたら、[簡単設定を使う] をタップします。
- 11** 以降は画面表示に従って、アカウントの設定を行ってください。

再インストールが終了すると、スタート画面が表示されます。
必要に応じて、削除されたアプリをインストールしたり、設定を行ったりしてください。

Windows が起動できない場合

Windows が起動できない場合は、eMMC 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で再インストール (PC を初期状態に戻す) を行ってください。

 p.138 「Windows 回復環境 (Windows RE) を使う」



4

困ったときは

困ったときの確認事項や対処方法などについて説明します。

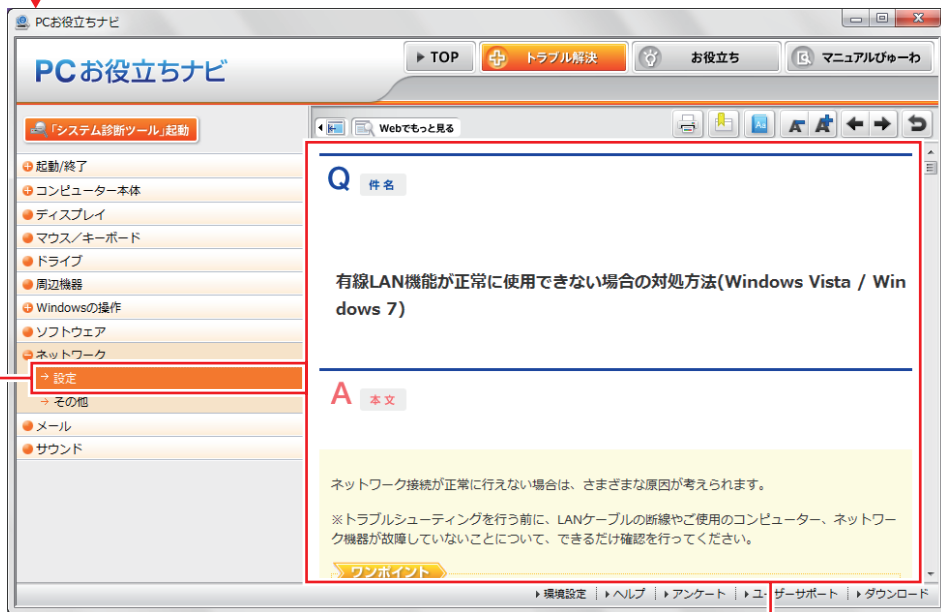
トラブルが発生したら.....	130
起動・画面表示できないときは.....	132
トラブル時に効果的な対処方法.....	136

トラブルが発生したら

困ったとき、トラブルが発生したときは、次のように対処方法を探してください。

起動・画面表示できる場合…PCお役立ちナビで調べる

コンピューターを起動、画面表示できる場合は、[PC お役立ちナビ] の [トラブル解決] で対処方法を探してください。



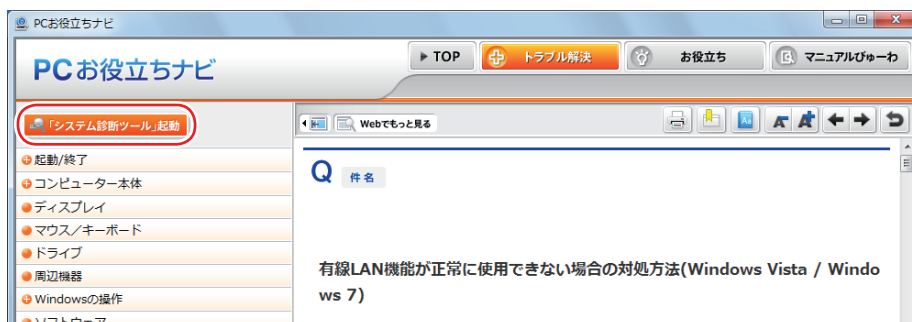
トラブルの種類を選択します

候補の中から見たい項目を選択すると、内容が表示されます

システム診断ツール

[PC お役立ちナビ] の [トラブル解決] には、システム診断ツールが搭載されています。

 p.139 「システム診断ツールを使う」



Windows のトラブルシューティングツール


Windows 8.1 にはトラブルシューティングツールを集めたコーナーが用意されています。

[デスクトップ] - 「設定チャーム」 - 「コントロール パネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング」



トラブルシューティングツールの一覧が表示されたら、トラブルに応じたツールをタップして、トラブルシューティングを行ってください。


起動・画面表示できない場合

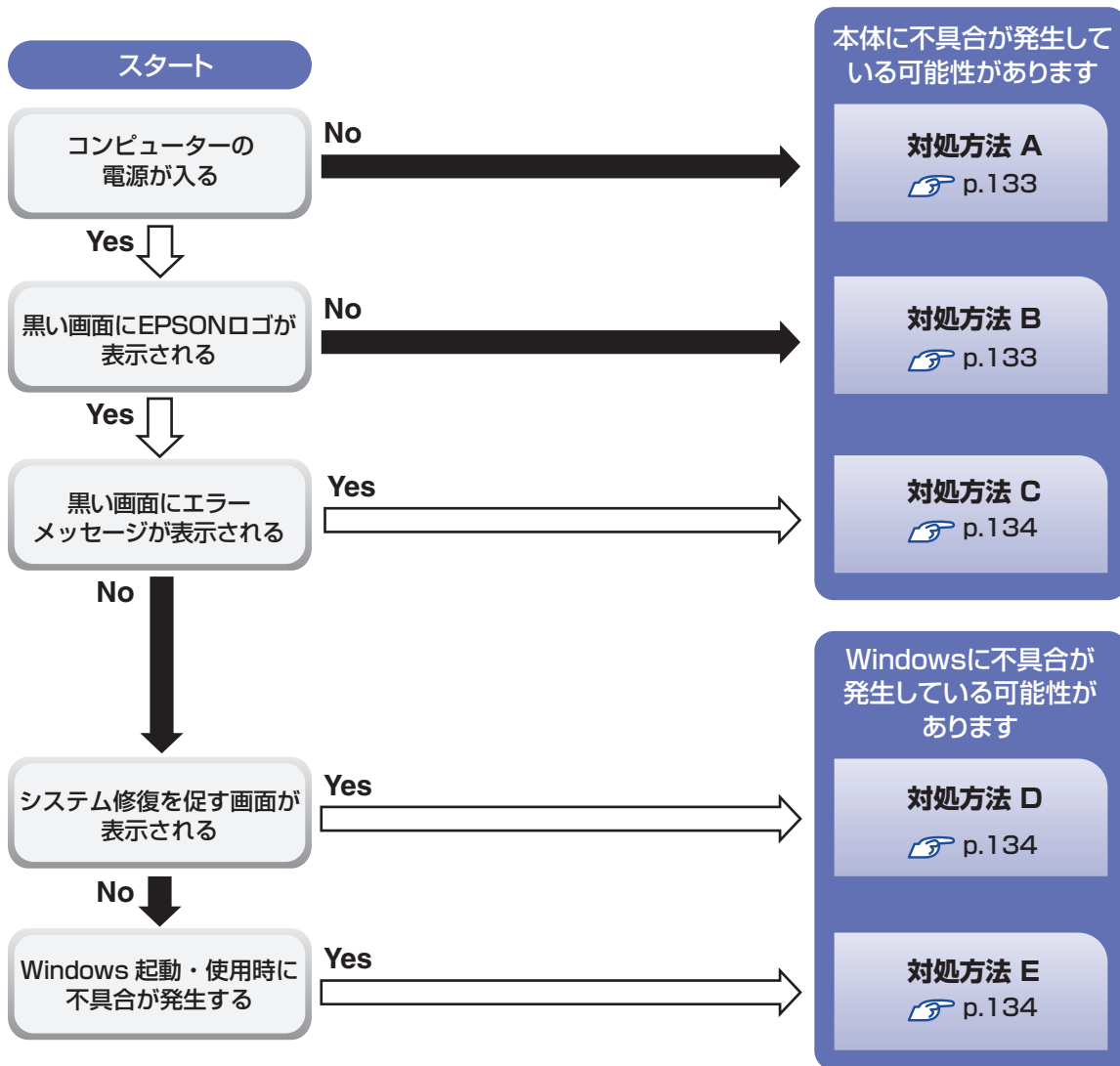
コンピューターを起動、画面表示できない場合は、 p.132「起動・画面表示できないときは」をご覧ください。

起動・画面表示できないときは


コンピューターを起動、画面表示できない場合は、診断を行い、各診断結果に応じた対処をしてください。

診断をする

次の診断を行ってください。対処方法が決まったら、 p.133「対処をする」へ進んでください。



対処をする

コンピューターを起動、画面表示できないときの対処方法は、次のとおりです。
対処後も不具合が解消しない場合は、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください、サポート窓口までお問い合わせください。

対処方法 A

次の対処を順番に行ってみてください。

1 コンピューターの電源を入れなおす

電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。

2 電源コード/AC アダプターを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから電源コード、AC アダプターを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

バッテリーのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

3 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

対処方法 B

次の対処を順番に行ってみてください。

1 電源コード/AC アダプターを接続しなおす

コンピューターへの電源供給に問題がある可能性があります。コンピューターの電源を切ってから電源コード、AC アダプターを外して 1 分程度放置し、再度電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。

バッテリーのみで使用している場合は、完全放電している可能性があります。AC アダプターを接続して使用してみてください。

2 周辺機器を取り外す

本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。


対処方法 C

次のとおり対処してみてください。

- 1 UEFI Setup ユーティリティでブートデバイスの設定を確認する**
「Reboot and Select…」というエラーメッセージが表示された場合は、「Boot」メニュー画面 - 「Boot Option Priorities」で、システムの入ったデバイスを割り付けてください。
- 2 周辺機器を取り外す**
本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。



対処方法 D

次のとおり対処してみてください。

- 1 表示された画面の指示に従ってシステムを修復する**
- 2 再インストールする**
eMMC 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。PC のリフレッシュを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。
 p.123 「再インストール」

対処方法 E

次の対処を順番に行ってみてください。

- 1 コンピューターの電源を入れなおす**
電源を入れなおす場合は、20 秒程度の間隔を空けてから電源を入れてください。20 秒以内に電源を入れなおすと、電源が異常と判断され、システムが正常に起動しなくなる場合があります。
- 2 周辺機器を取り外す**
本機をご購入後に、プリンターやスキャナーなどお客様ご自身で増設された装置がある場合は、周辺機器や装置を取り外した状態で電源を入れ、問題が解決されるかどうか確認してください。
- 3 常駐アプリを停止したり、システムの復元を行う**
常駐アプリ（システム稼働中、常に稼働しているアプリ）を一時的に停止させることで問題が解決するかを確認してください。
 p.137 「常駐アプリの停止」
常駐アプリが原因ではなかった場合は、「システムの復元」を行ってみてください。以前のコンピューターの状態に戻すことで、問題が解決できる可能性があります。
 p.138 「システムの復元」

4 UEFI の設定を初期値に戻す

UEFI の不整合が原因で問題が発生している可能性があります。UEFI の設定を初期値に戻し、問題が解決されるか確認してください。初期値に戻す前に UEFI の設定をメモしておいてください。

 p.112 「Load Optimized Defaults (UEFI の初期値に戻す)」







5 再インストールする

eMMC 内に記録されている、起動部分のプログラムが破損している可能性があります。PC のリフレッシュを行って、問題が解決されるかどうか確認してください。

 p.123 「再インストール」

トラブル時に効果的な対処方法

トラブル時に効果的な対処方法を紹介します。

機能	こんなときに
再起動  p.136 本機を再起動します。	・ 使用しているアプリで指示があった場合 ・ アプリや Windows の動作が不安定になったとき
アプリの強制終了  p.137 アプリを強制終了します。	・ アプリが反応しなくなったとき
強制的に電源を切る  p.137 強制的に本機の電源を切ります。	・ Windows やアプリが入力を受け付けず、反応しなくなったとき
常駐アプリの停止  p.137 不具合のある常駐アプリを停止します。	・ Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
システムの復元  p.138 Windows を以前に作成した復元ポイントの状態に戻します。	・ Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
UEFI の初期化  p.112 UEFI の設定を初期値に戻します。	・ UEFI の設定を誤って本機が起動しなくなったとき、動作が不安定になったとき
本機を購入時の状態に戻す  p.123 PC のリフレッシュまたは Windows の再インストールを行って、不具合を改善します。	・ Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき（上記項目の対処をしても起動できないとき）
Windows 回復環境 (Windows RE)  p.138 Windows を修復します。	・ Windows が正常に起動できないとき、動作が不安定になったとき
システム診断ツール  p.139 ハードウェアに不具合があるかどうかを診断します。	・ 不具合の原因がハードウェアにあるかどうかを調べたいとき

再起動

電源が入っている状態で、本機を起動しなおすことを「再起動」と言います。次のような場合には、本機を再起動する必要があります。

- Windows の動作が不安定になった場合
- Windows Update を行った場合
- ドライバーやアプリをインストールした場合
- アプリで再起動の指示が表示された場合

本機の再起動方法は、次のとおりです。

1 スタート画面右上の  - 「再起動」をタップします。

再起動しても状態が改善されない場合は、本機の電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。


アプリの強制終了

アプリが反応しなくなった場合は、強制終了を行います。
アプリの強制終了方法は、次のとおりです。

- 1** デスクトップのタスクバー上をタップアンドホールドし、表示された場面から「タスクマネージャー」を選択します。
- 2** 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、一覧からアプリを選択し、[タスクの終了]をタップします。
アプリが終了します。

強制的に電源を切る

本機の反応がない場合は、強制的に本機の電源を切ります。
強制的に本機の電源を切る方法は、次のとおりです。

- 1** 本機の電源スイッチ（)を5秒以上押し続けます。
本機の電源が切れます。

常駐アプリの停止

常駐アプリ（システム稼働中、常に稼働しているアプリ）が原因で本機に不具合が発生していることもあります。一時的に常駐アプリを停止してみてください。
常駐アプリを停止する手順は次のとおりです。

- 1** デスクトップのタスクバー上をタップアンドホールドします。
- 2** 表示された項目から「タスクマネージャー」をタップします。
- 3** 「タスクマネージャー」画面が表示されたら、詳細表示にして「スタートアップ」タブをタップし、一覧から問題の原因となっている可能性のある項目（常駐アプリ）を選択し、[無効にする]をタップします。
常駐アプリが原因ではなかった場合、外したチェックは元に戻してください。

システムの復元

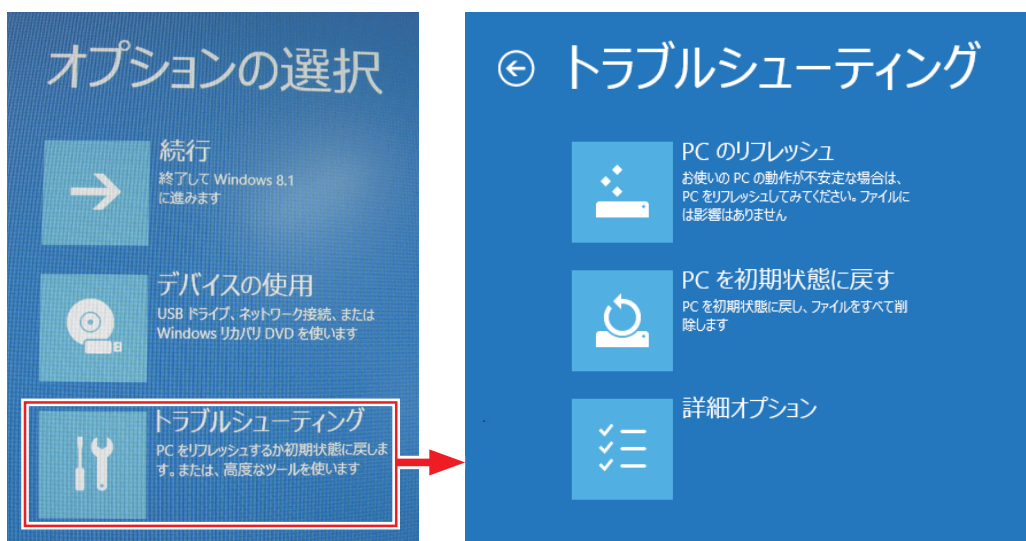
本機の動作が不安定になった場合、「システムの復元」を行って Windows を以前の状態（復元ポイントを作成した時点の状態）に戻すことで、問題が解決できることがあります。復元ポイントは通常、アプリのインストールなどを行った際に自動的に作成されます。システムを復元ポイントの状態に戻す方法は次のとおりです。

- 1** [デスクトップ] – 「設定チャーム」 – 「コントロール パネル」 – 「システムとセキュリティ」 – 「システム」 – 「システムの保護」 – [システムの復元] をタップします。
- 2** 「システム ファイルと設定の復元」と表示されたら、[次へ] をタップします。
- 3** 復元ポイントの一覧が表示されたら、復元ポイントを選択し、[次へ] をタップします。
- 4** 「復元ポイントの確認」と表示されたら、内容を確認し、[完了] をタップします。
- 5** 「いったんシステムの復元を開始したら…」と表示されたら、[はい] をタップします。
本機が再起動します。
- 6** デスクトップを表示し、「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、[閉じる] をタップします。
これでシステムの復元は完了です。

Windows回復環境 (Windows RE) を使う

本機の eMMC 内には、「Windows 回復環境 (Windows RE)」が設定されています。Windows RE を使用して、修復を行ってみてください。


Windows RE は、本機にトラブルが起きると、自動的に起動します。



Windows RE の項目

Windows RE には、次の項目があります。

- PC のリフレッシュ

 p.125 「PC をリフレッシュする方法」

- PC を初期状態に戻す

本機を出荷時の状態に戻します。本機をリサイクルするときや、最初の状態から完全にやりなおすときに行います。

 p.126 「すべてを削除して Windows を再インストールする方法」

- 詳細オプション

- システムの復元

 p.138 「システムの復元」

- イメージでシステムを回復

事前にシステムのイメージを保存しておいた場合は、Windows やアプリを、イメージ保存時の状態まで一度にリカバリーすることができます。※個人用ファイルは削除されます。

- 自動修復

Windows を起動できない問題を自動的に修正します。Windows が起動できないときは、まず自動修復を行ってみてください。

- コマンドプロンプト

コマンドプロンプトウィンドウを開きます。


システム診断ツールを使う

システム診断ツールを使うと、ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断することができます。

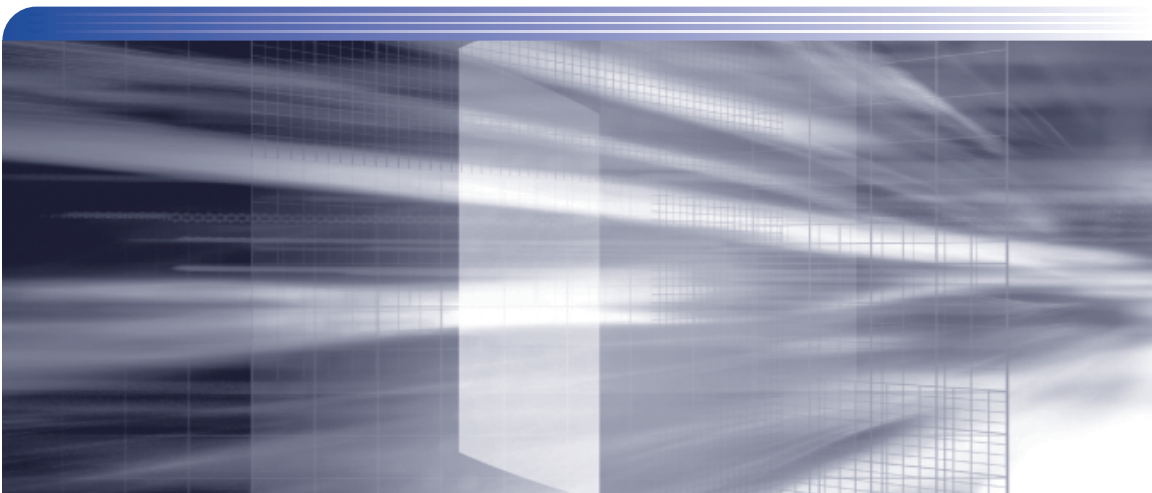
システム診断を実行する

PC お役立ちナビからシステム診断を行います。

実行方法は、次のとおりです。

- 1** 「PC お役立ちナビ」 - 「トラブル解決」 - 「システム診断ツール」 をタップします。
- 2** 「ユーザーアカウント制御」 画面が表示された場合は、[はい] をタップします。
- 3** システム診断ツールが起動したら、診断したい項目をタップします。
該当項目の診断が開始されます。
- 4** 診断が終了したら、診断結果を確認します。
「Passed」と表示された場合、ハードウェアは正常に動作しています。
「Failed」と表示された場合は、該当項目に不具合がある可能性があります。
 **別冊** 『サポート・サービスのご案内』 をご覧になり、テクニカルセンターまでご連絡ください。





付録

本機をご使用になる際に役に立つ情報や、本機の仕様などについて説明します。

お手入れ	142
コンピューターを廃棄するときは.....	143
機能仕様一覧	145

お手入れ

本機は精密な機械です。取り扱いに注意して、定期的にお手入れを行ってください。



お手入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

本機のお手入れ

本機のお手入れ方法について説明します。

外装

コンピューター本体の外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布で、軽く拭き取ってください。



- 本機をたたいたり、硬いものでこすったりしないでください。変形やキズ、破損の原因となります。
- ベンジン、シンナーなどの溶剤を使わないでください。変色や変形の可能性があります。

LCD 画面

LCD 画面は添付のクロスや乾いた柔らかい布などで拭いてください。水や洗剤などは使わないでください。

コンピューターを廃棄するときは

本機を廃棄する際の注意事項や、eMMC/HDD のデータ消去方法について説明します。
パソコン回収サービスについては、下記ホームページをご覧ください。

<http://shop.epson.jp/guide/recycle/>

コンピューターの廃棄・譲渡時のeMMC/HDD上のデータ消去に関するご注意

コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中の eMMC または HDD という記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。

ところが、この eMMC/HDD 内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ① データを「ごみ箱」に捨てる
- ② 「削除」操作を行う
- ③ 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ④ アプリで初期化（フォーマット）する
- ⑤ 再インストールを行い、工場出荷状態に戻す

などの作業を行うと思います。

まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OS のもとでファイルを復元する事ができてしまいます。更に ②～⑤ の操作をしても、eMMC/HDD 内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのアプリを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このコンピューターの eMMC/HDD 内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用される恐れがあります。

コンピューターユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、eMMC/HDD 上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、eMMC/HDD に記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用アプリあるいはサービス（有償）を利用するか、eMMC/HDD 上のデータを物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、eMMC/HDD 上のソフトウェア（OS、アプリなど）を削除することなくコンピューターを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますため、十分な確認を行う必要があります。

eMMC/HDDのデータを消去する

本機を廃棄する前に eMMC/HDD のデータを消去してください。
当社サポートページで「HDD データ消去プログラム」を提供しています。HDD データ消去プログラムを使用すると、eMMC/HDD 内のデータをすべて消去することができます。

消去を開始すると、eMMC/HDD のデータは元には戻りません。必要に応じてデータをバックアップしてください。

※作業には、キーボードドックまたは外付けの USB キーボードが必要です。



制限

データ消去の結果について、当社および開発元の Ultra-X 社は責任を負いません。
eMMC/HDD のデータ消去・廃棄は、お客様の責任において行ってください。

HDD データ消去プログラムのダウンロードや使用方法については、次の場所をご覧ください。




<http://www.epsondirect.co.jp/support/>



「PC お役立ちナビ」 - 画面右下 [ダウンロード] - FAQ 番号 : 28677

USB 記憶装置からプログラムを起動するために、UEFI の設定を変更する

USB に保存した HDD データ消去プログラムを起動するために、UEFI の設定を変更します。
UEFI の設定を変更する手順は、次のとおりです。

- 1** UEFI Setup ユーティリティを起動します。
 p.107 「UEFI Setup ユーティリティの起動」
- 2** UEFI の設定を変更します。
 p.108 「UEFI Setup ユーティリティの操作」
「Security」メニュー画面 - 「Secure Boot menu」 - 「Secure Boot」 :
[Disabled]
- 3** UEFI の変更した内容を保存し、UEFI Setup ユーティリティを終了します。
 p.111 「Save Changes and Reset (変更した内容を保存し終了する)」

HDD データの消去プログラムを使用して、eMMC/HDD のデータを消去する方法は、次の場所の「4.HDD データ消去プログラムを使用して HDD データを消去する」をご覧ください。F11 を Esc に読み替えて作業をしてください。



「PC お役立ちナビ」 - 画面右下 [ダウンロード] - FAQ 番号 : 28677

機能仕様一覧

型番	TN30E	
CPU	インテル Celeron プロセッサ N2940	
チップセット	SoC CPU 内蔵	
システムファームウェア	AMI UEFI	
メインメモリー *1	規格	PC3L-12800 (DDR3L-1600 SDRAM)
	容量	4GB
ビデオコントローラー	インテル HD グラフィックス	
ビデオメモリー (メインメモリーと共用)	1792MB (最大)	
液晶タイプ、表示解像度 (最大)	11.6 型フルHD 液晶 1920 × 1080、静電式タッチパネル (10 点マルチタッチ対応)、True Color32 ビット (約 1,677 万色) *2	
外部ディスプレイ表示解像度 (最大) *3	1600 × 1200、1920 × 1200 (ワイドディスプレイ接続時のみ)	
記憶装置	eMMC 64GB	
メモリーカードスロット	1 : Micro SD メモリーカード <SDHC/SDXC 対応> *4	
サウンド機能	チップセット内蔵 ハイ・デフィニション・オーディオ対応コントローラー REALTEK 製 ALC269-VC、ステレオスピーカー (出力 2.0W × 2)、モノラルマイク	
無線 LAN / Bluetooth	Chicony 製 C706NO-A2	
カメラ	約 103 万画素	
インタフェース	USB	Micro USB 3.0 × 1 (右側面)
	サウンド	コンボオーディオ × 1 (ヘッドホン / マイク兼用)
	ディスプレイ	Mini HDMI 19 ピン × 1 (右側面)
キーボードドック *5	キーボード	日本語対応 86 キー
	ポインティングデバイス	タッチパッド
	インタフェース	USB2.0 × 2 (右側面)
	HDD (オプション)	シリアル ATA300MB/s 対応 2.5 型 HDD
セキュリティーチップ (TPM)	TPM 2.0 対応 SLB9665 コントローラー	
電源	AC アダプター *6 (ADP-40KD)	入力 : AC100V ~ 240V ± 10% (50/60Hz)、1.2A 出力 : DC19V、2.1A、40W 質量 : 約 230g (電源コード含む)
	内蔵バッテリー	容量 タブレット : 3700mAh リチウムイオンポリマー 7.4V キーボードドック *5 : 4460mAh リチウムイオンポリマー 7.4V 駆動時間 *7 タブレット : 4.7 時間 キーボードドック接続時 *5 : 8.4 時間
本体寸法 (幅×奥行き×高さ)	タブレット	300 × 194 × 11mm (突起部除く)
	キーボードドック接続時 *5	300 × 222 × 26mm (突起部除く)
本体質量	タブレット	約 720g
	キーボードドック接続時 *5	約 1.6kg
消費電力 (AC 側)	最大定格出力時 (理論値) : 46.9W	
動作環境	動作温度 : 10 ~ 35℃ 動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)	

*1 新規メモリー追加や最大搭載可能容量変更の可能性あり (当社ホームページ参照)。

*2 ビデオコントローラーのデザイン機能により約 1,677 万色を実現。True Color 32 ビット。

*3 本機搭載のビデオコントローラー出力解像度 (実際の表示は接続するディスプレイの仕様による)。

*4 記載は対応規格であり、すべてのカードでの動作を保証するものではありません。

*5 購入時の選択により、添付されていない場合があります。

*6 標準添付の電源コードは、AC100V 用 (日本仕様)。本製品は国内専用のため、海外での使用は保証対象外。

*7 動作時間は JEITA 測定方法 Ver.2.0 に基づく測定値 (システム構成や使用環境により異なる)。最小構成時。

本書に記載している仕様は製品発売時の情報です。最新情報は次の場所をご覧ください。



「PC お役立ちナビ」 - 画面下 [ユーザーサポート] - FAQ 番号 : 17845

無線機能

本機の無線機能について記載します。

Bluetooth

本機の Bluetooth* の仕様は次のとおりです。

準拠規格	Bluetooth 標準規格 V4.0+EDR
転送速度(規格値)	3Mbps

* 本製品には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名 : RTL8821AENF

認証番号 : 201-135229

無線 LAN

無線 LAN*¹ の仕様は次のとおりです。

準拠規格	IEEE802.11ac/a/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T71 IEEE802.11b/g/n 無線 LAN 標準プロトコル、ARIB STD-T66
データ転送速度 (規格値) * ²	IEEE802.11a/g : 54Mbps IEEE802.11b : 11Mbps IEEE802.11n : 300Mbps (2x) IEEE802.11ac : 433Mbps (1x)
変調方式	DS-SS 方式、OFDM 方式
伝送距離 (理論値) * ³	IEEE802.11a (54Mbps) : 12m、IEEE802.11b (11Mbps) : 40m、 IEEE802.11g (54Mbps) : 25m
セキュリティ * ⁴	IEEE802.11a/b/g : WEP、WPA、WPA2、IEEE802.1x 認証に対応 IEEE802.11ac/n : WPA (AES のみ)、WPA2 (AES のみ)、IEEE802.1x 認証に対応
使用無線 チャンネル	IEEE802.11ac/a/n : 36/40/44/48ch (W52)、52/56/60/64ch (W53)、100/104/ 108/112/116/120/124/128/132/136/140ch (W56) IEEE802.11b/g/n : 1 ~ 13ch

*¹ 本機には、電波法の規定により、工事設計認証を取得した無線設備を内蔵しています。

認証製品名 : RTL8821AENF

認証番号 : 201-135229

*² 無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

*³ 屋内におけるアクセスポイントとの通信距離です。実際の距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーション、Windows などの使用条件によって短くなります。

*⁴ IEEE802.1x について、Windows Server 2012 との IEEE802.1x Radius Server (EAP-TLS 対応認証サーバー) + WPA (TKIP) の組み合わせによる認証において動作を確認しています。すべての環境下での動作を保証するものではありません。

電波に関するご注意

本機には認証を取得した無線設備が内蔵されており、5GHz または 2.4GHz の周波数帯を使用します。


- 本機の無線設備は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として技術基準適合証明を受けているため、本機を分解／改造しないでください。また、本機の無線設備は日本国内でのみ使用できます。

- 5GHz (W52、W53) の周波数帯は、電波法の規定により屋外では使用できません。

- 2.4GHz の周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と称す）が運用されています。

(1) 本機の無線設備をご使用になる前に、近くで「他の無線局」が使用されていないことを確認してください

(2) 万一、本機の無線設備と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所または使用無線チャンネルを変えるか、運用（電波の発射）を停止してください。

(3) 電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、『サポート・サービスのご案内』をご覧ください。テクニカルセンターまでお問い合わせください。

<Bluetooth>



変調方式として GFSK 方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。使用無線チャンネルは変更できません。

<無線LAN>



変調方式として DS-SS および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

エプソンダイレクト ユーザーサポートページ

www.epsondirect.co.jp/support/